



図162 捨て場区域 出土遺物16



図163 捨て場区域 出土遺物17

0 5cm 10cm



図164 捨て場区域 出土遺物18



图165 捨て場区域 出土遺物19



図166 捨て場区域 出土遺物20



图167 捨て場区域 出土物21



図168 捨て場区域 出土遺物22

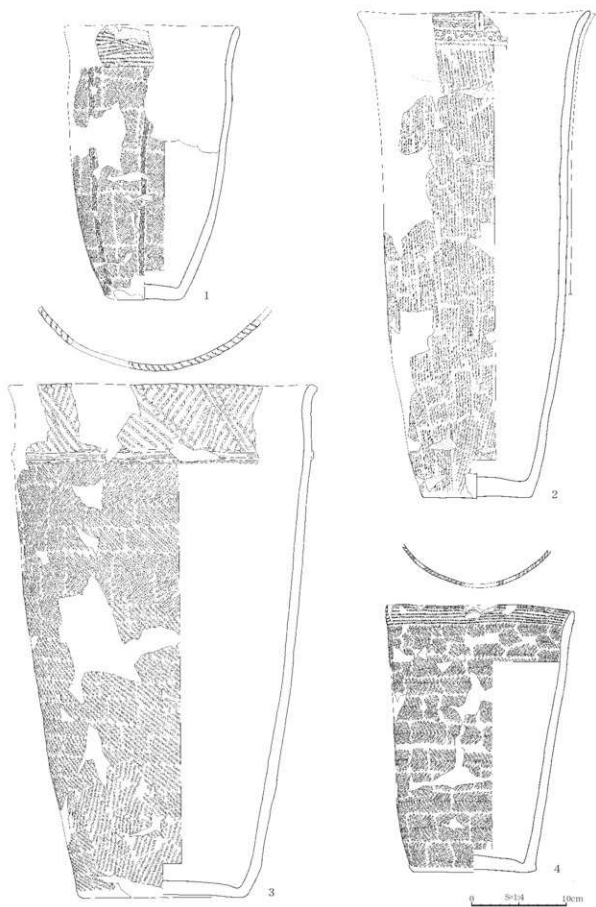


图169 捨て場区域 出土遺物23

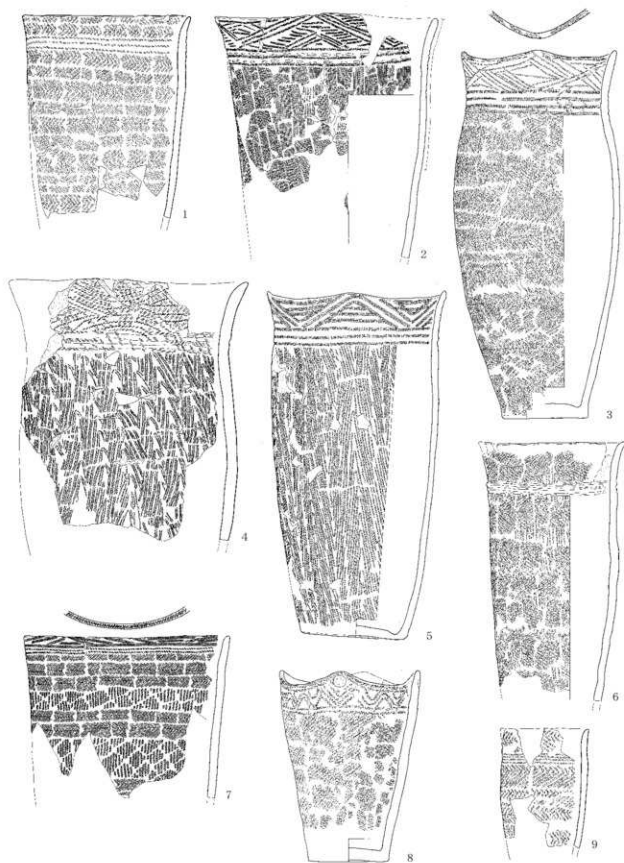


図170 捨て場区域 出土遺物24



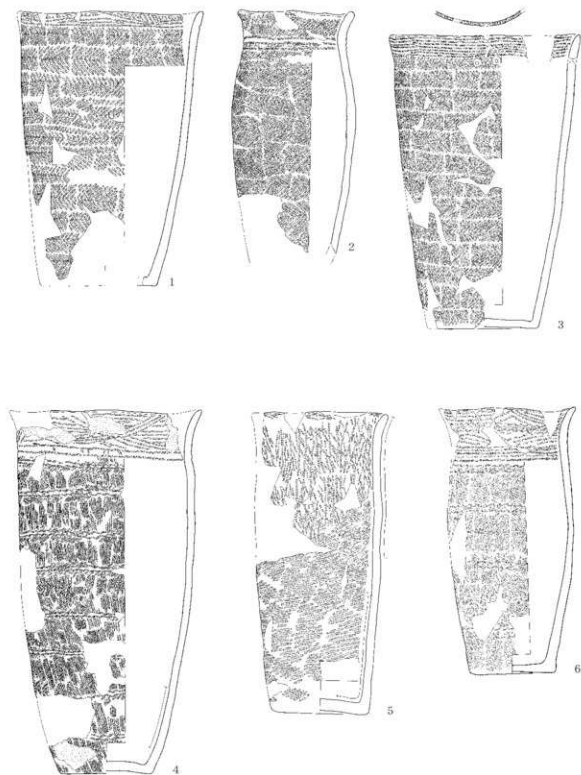
図171 捨て場区域 出土遺物25

0 S-14 10cm



図172 捨て場区域 出土遺物26

0 S-14 10cm



0 S-14 10cm

図173 捨て場区域 出土遺物27

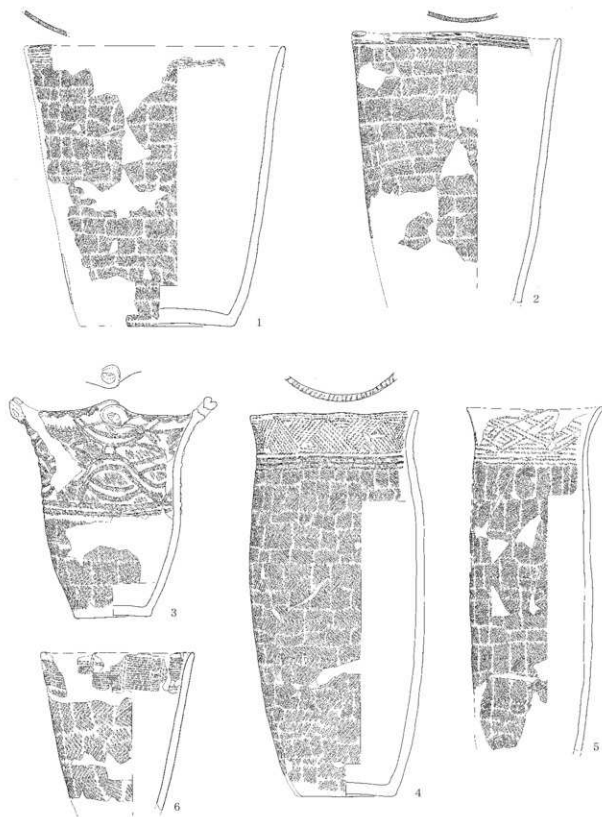


図174 捨て場区域 出土遺物28

0 5 10 cm

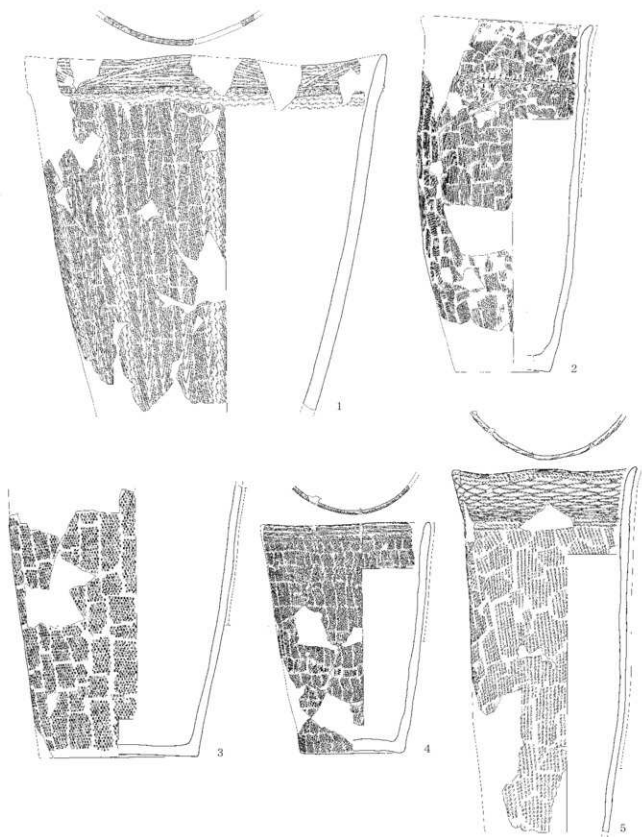


図175 捨て場区域 出土遺物29



図176 捨て場区域 出土遺物30

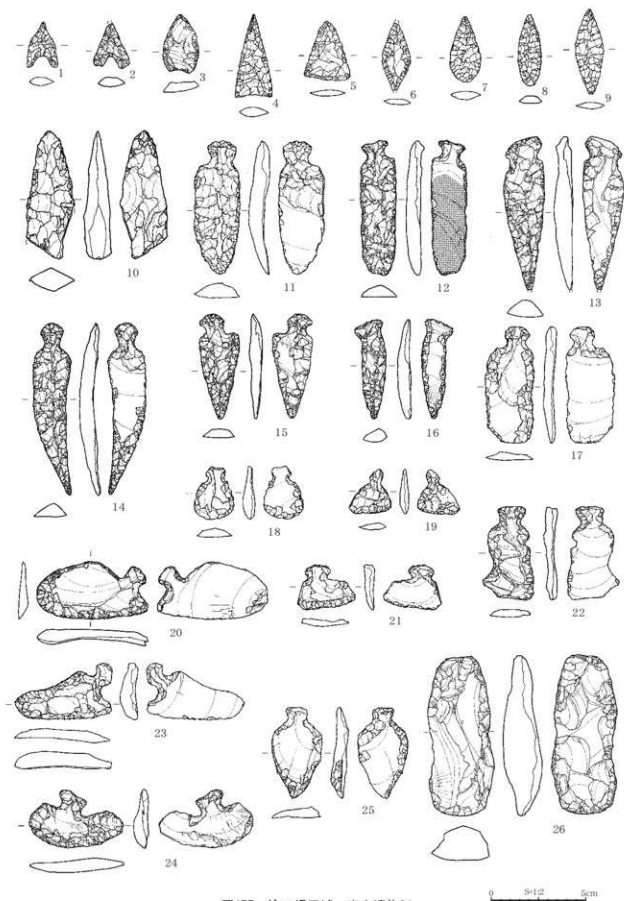


图177 捨て場区域 出土遺物31

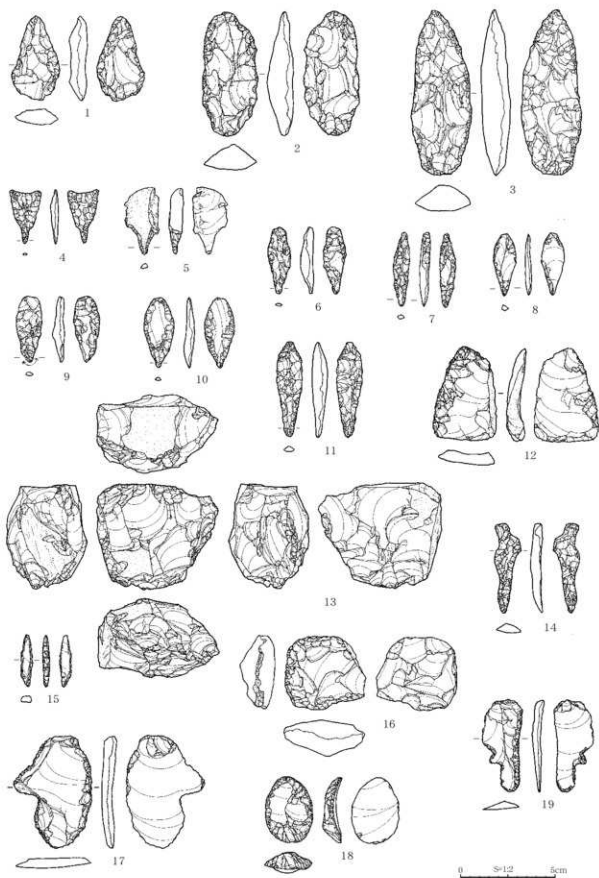


図178 捨て場区域 出土遺物32

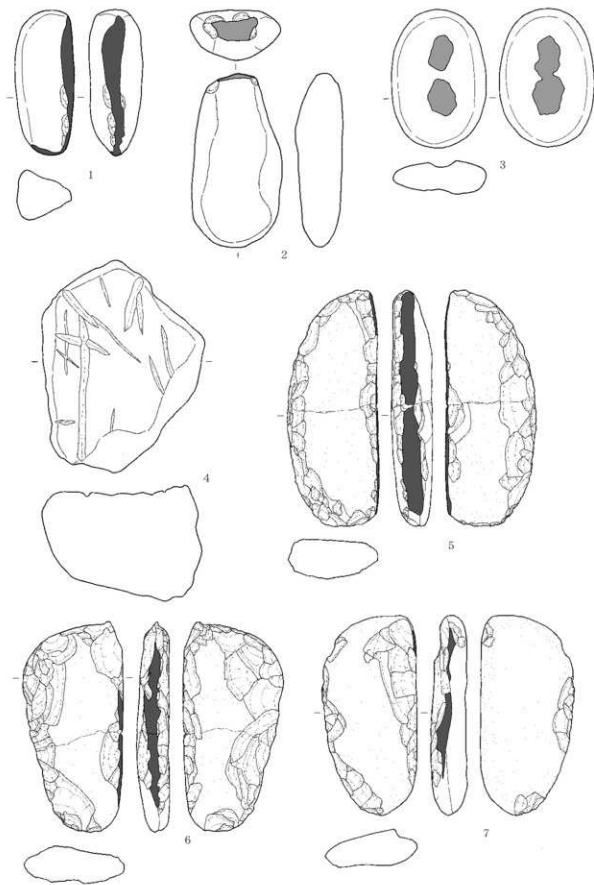


图179 捨て場区域 出土遺物33

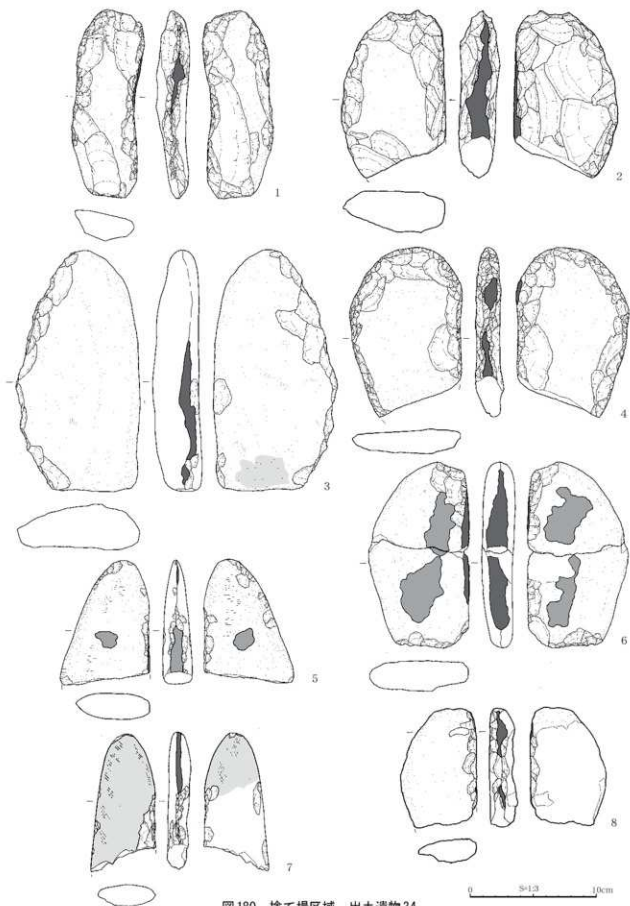


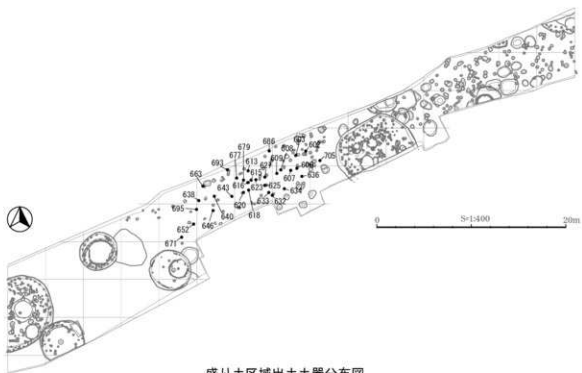
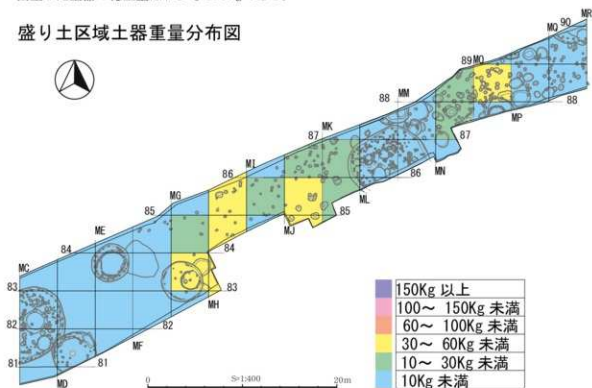
図180 捨て場区域 出土遺物34

第5節 盛り土区域の出土遺物

調査区の中央部から西側にみられる盛り土は、住居跡などの遺構を構築する際に掘った土と一緒に出土した遺物が堆積し、盛り土が作られていると考えられる。主に円筒下層 d 式～円筒上層 a 式土器を中心として出土しており、前期末葉から中期初頭に形成されたと思われる。

出土した土器の総重量はおよそ600kgである。

盛り土区域土器重量分布図



盛り土区域出土土器分布図



図181 盛り土区域 出土遺物1



图182 盛冢土区域 出土遺物2

0 5-14 10cm

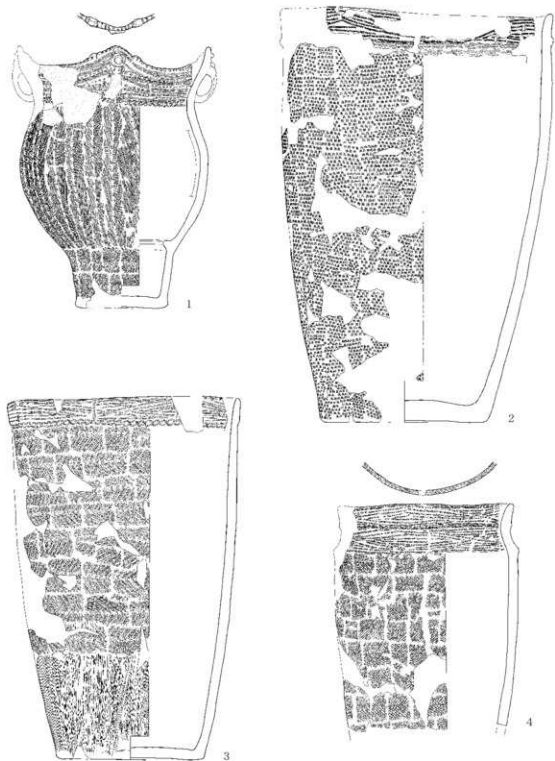


図183 盛り土区域 出土遺物3



图184 盛冢土区域 出土遺物4

0 S-14 10cm

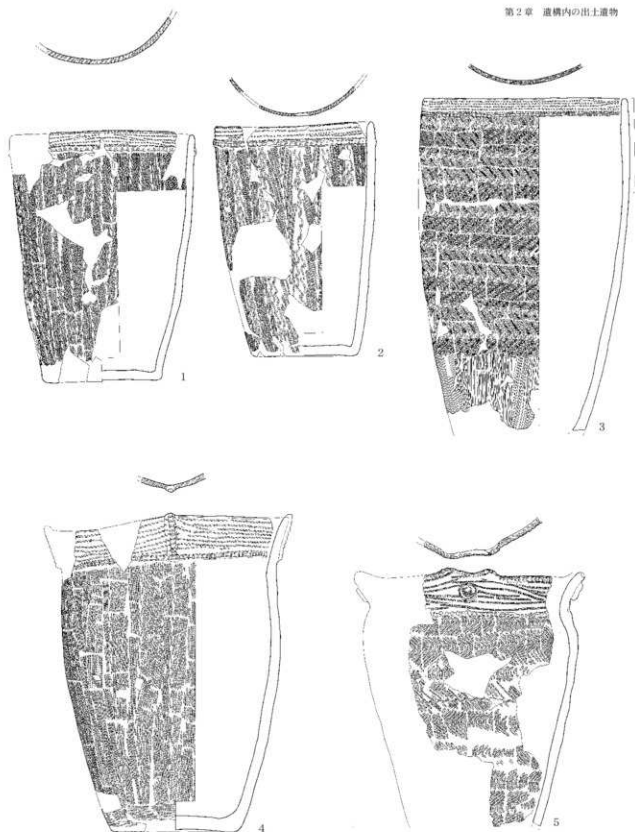


図185 盛り土区域 出土遺物5

0 S-14 10cm



图186 盛圪土区域 出土遺物6

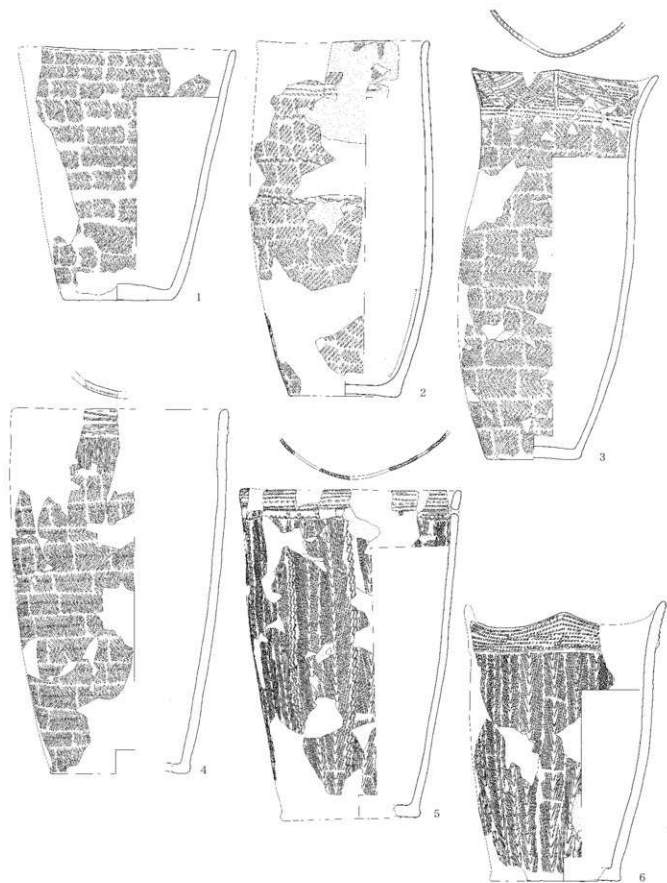


図187 盛り土区域 出土遺物7

0 S-14 10cm

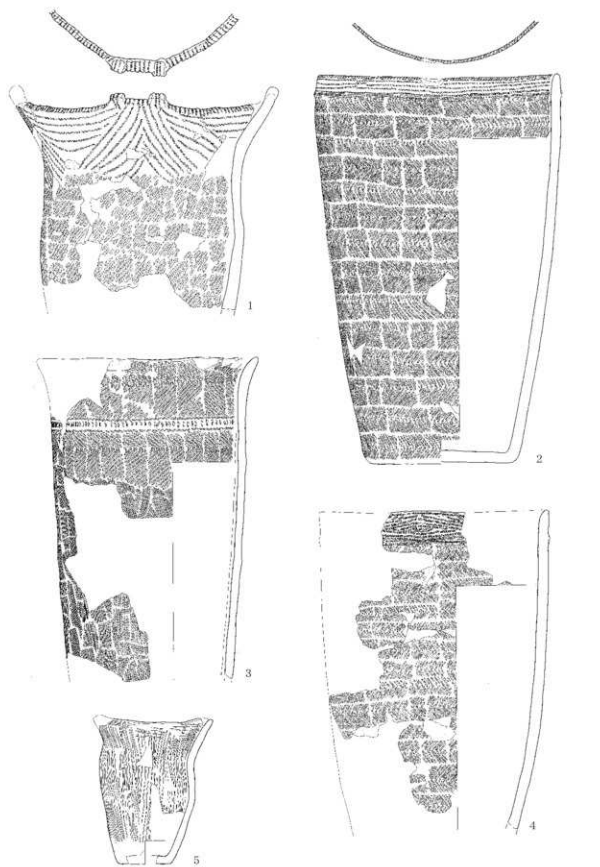


图188 盛り土区域 出土遺物8

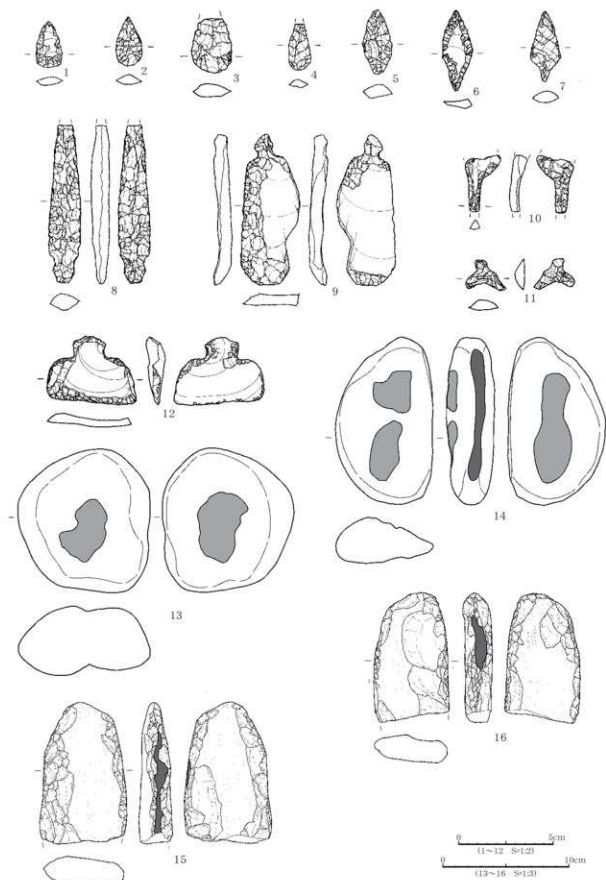


図189 盛り土区域 出土遺物9

第3章 遺構外の出土遺物

第1節 土器

発掘調査で出土した縄文土器は段ボール箱で約615箱分、総重量約5,300kgである。

縄文土器は、下記のとおり分類した。残存率が1/4以下の土器は、推定口径を記載していない。

詳細な分類は避け、出土した各土器形式について特徴の概略を記載する。

第Ⅰ群 縄文早期の土器

図194-3は、貝殻条痕文が施文されるもので、胴部破片であるが器形は底部が窄まる尖底になると思われる。

第Ⅱ群 縄文前期の土器

1類 円筒下層a式に比定される土器

第27号竪穴住居跡の図84-3・4、第27号土坑の図124-6、第31号土坑の図126-1のように、その多くは口唇部に刺突や指頭圧痕がみられ、口縁部が結節回転文、胴部が斜縄文が施文される。また、遺構外の図194-4は、口唇部と口縁部に貝殻の腹縁による刺突が施されている。

2類 円筒下層b式に比定される土器

第26号竪穴住居跡の図76-3、図77-6のように、口縁部は結節回転文、頸部は1～2条の隆帯に刺突や原体側圧がみられ、胴部は単軸絡状体第1類や斜縄文が施文される。また、図157-2や図175-5のように口縁部や胴部に単軸絡条体第6類を施文するものを数例みられる。

3類 円筒下層c式に比定される土器

第24号竪穴住居跡に多くみられるもので、口縁部の文様帯の幅が広く、原体側圧による鋸歯状や山形あるいは菱形などがみられる。中には第30号竪穴住居跡の図87-1・3や第32号竪穴住居跡の図92-6のように弧状に原体側圧を施すものもみられる。頸部は原体側圧が多く、微隆帯に刻目や刺突なども少数だが存在する。胴部の文様は結束第1種や単軸絡状体第1類などが一般的にみられる。また、図88-4のように胴部文様がの上半と下半で原体が異なるものもみられる。

4類 円筒下層d1式に比定される土器

第24号竪穴住居跡の図54-1～3、図55-3、図56-1～3のように、口縁部の文様帯の幅は狭く、口唇部に原体側圧や斜縄文などがみられる。頸部は微隆帯に原体側圧や結節回転文のほか、単軸絡条体第1類の側圧などがあり、胴部は単軸絡状体第1A類や結節回転文などが多く施文される。また、第13号竪穴住居跡の図30-1、図31-3のように2対の透かし孔がみられるもの多い。

5類 円筒下層d2式に比定される土器

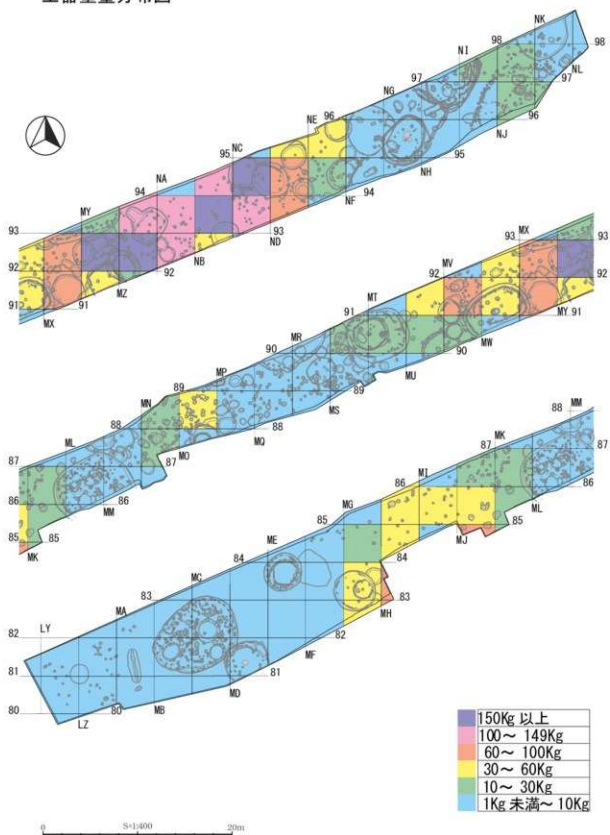
第13号竪穴住居跡の図32-2、第24号竪穴住居跡の図66-3、第43号竪穴住居跡の図107-3、図183-1のように頸部がくびれて外反するものや図32-23や図67-2のようにくびれて窄まる器形がみられる。口縁部には粘土の貼り付けがみられ、刺突や原体側圧などが施されている。胴部文様は単軸絡条体第1A類や結束第1種が多くみられる。

6類 大木2～6式に相当する土器

第Ⅲ類 縄文時代中期の土器

1類 円筒上層a式に比定される土器

土器重量分布図



第11号竪穴住居跡の図5-1・3、図6-5、図7-2のように口縁部が折り返し気味に段がつくものや頸部から外反するものが多くみられる。一般に波状口縁が多くみられ、口縁部に粘土紐を貼付けて鋸歯状の原体側圧が施したり、第22号土坑の図122-1のように円形の粘土を貼付けているものがある。胴部には一般的に斜縄文や結束第1種などを施文しているが、図6-3、図7-1、図8-5、図9-6などは縦位の結節回転文がみられるものである。また、第40号竪穴住居跡の図101-1や図122-7のように胴部文様が糸線文(糸痕)のもの数例みられる。

- 2類 円筒上層b式に比定される土器
(大木7式に相当する土器も含む)
- 3類 円筒上層c式に比定される土器
- 4類 円筒上層d式に比定される土器
- 5類 円筒上層e式に比定される土器
(大木8～9に相当する土器も含む)
- 6類 榎林式・最花式に比定される土器
- 7類 大木10式に併行する土器

第IV群 縄文時代後期の土器 (今回の調査では出土していない)

第V群 縄文時代晩期の土器 (今回の調査では出土していない)

無文土器

第26号竪穴住居跡の確認面から1点と遺構外から6点出土している。

図194-2は底部が一部欠損しているが、三足土器の可能性のあるものである。内外面の調整は丁寧にみがかれており、その器形などから前期後半と考えられる。第26号竪穴住居跡の図81-7は頸部に隆帯がみられるが、施文などされていない。図194-1はやや厚い器厚で、図81-7のように隆帯もみられず、上下に走る成形痕が確認でき、いずれも円筒下層b～c式と思われる。図194-5は厚ぼったい椀形、図194-7も器厚の厚い湯飲み形、図194-7・8の口縁部に黒変部分か確認される。図81-8は、図81-7と同一の第26号竪穴住居跡から出土おり、一見、無文土器の様にみえるが、部分的に、縄文の施文がみられる。なんらかの理由で、成形時に器表面の乾燥が進み施文ができない状態であったか、あるいは、当初から施文しない土器を製作したのかも知れない。その他に小型土器の中には無文のものも多くみられる。

台付土器

図193-4・5は、施文から円筒下層d式、第24号竪穴住居跡の図69-7は底部にやや高い高台が付くもので、第24号竪穴住居跡の覆土から図68-5と図193-6は、高台部分のみの出土であるが、本遺跡の出土例からみれば、台付土器は円筒下層c～d式項に出現する土器の形態と考えられる。

赤色顔料付着土器

遺構外から出土した図197-20は、やや厚ぼったい椀形で、内部に赤色顔料と思われる赤変部分が確認できる。外面の一部に縄文が施文されている。

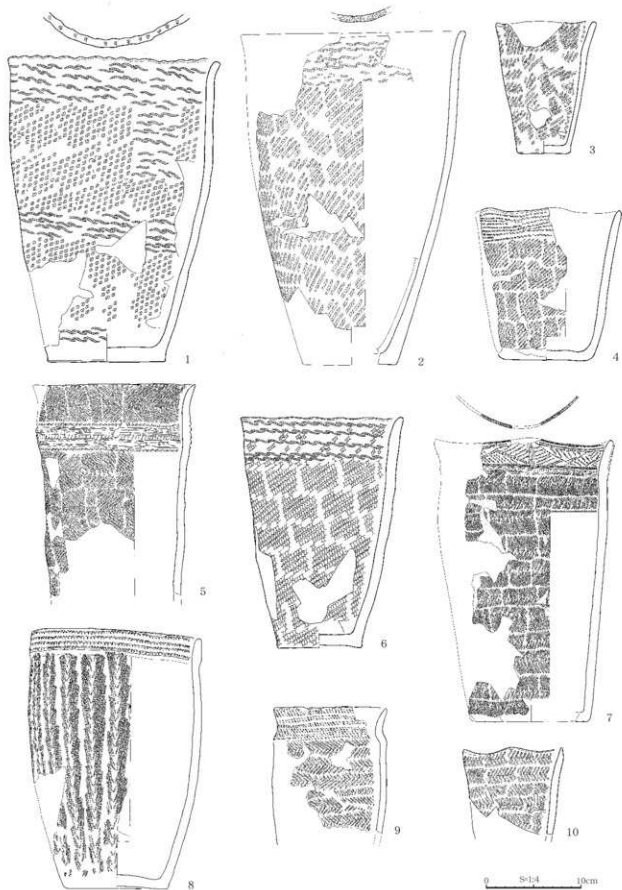


图190 遺構外出土遺物1



图191 遺構外出土遺物2

0 5 10 cm



图192 遺構外出土遺物3

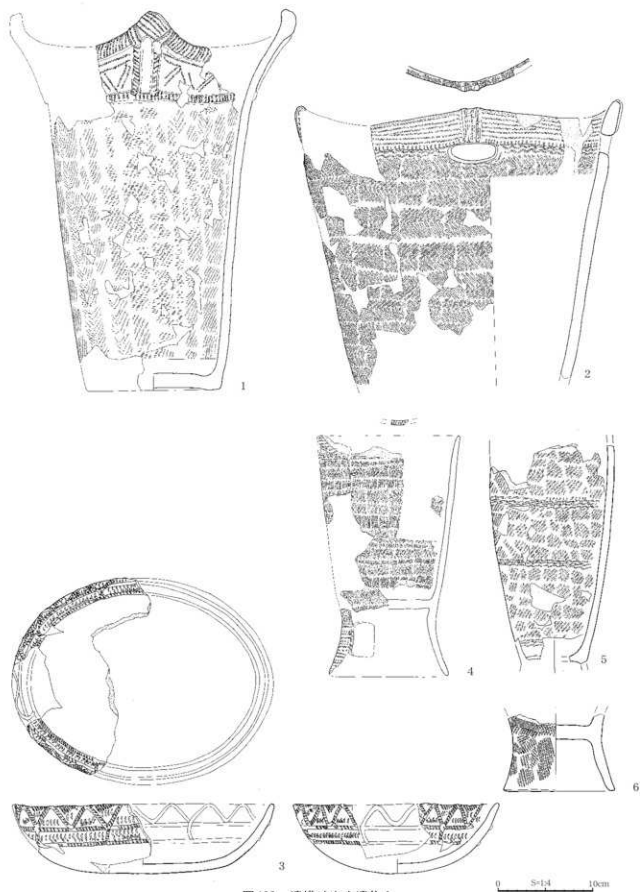


图193 遺構外出土遺物4

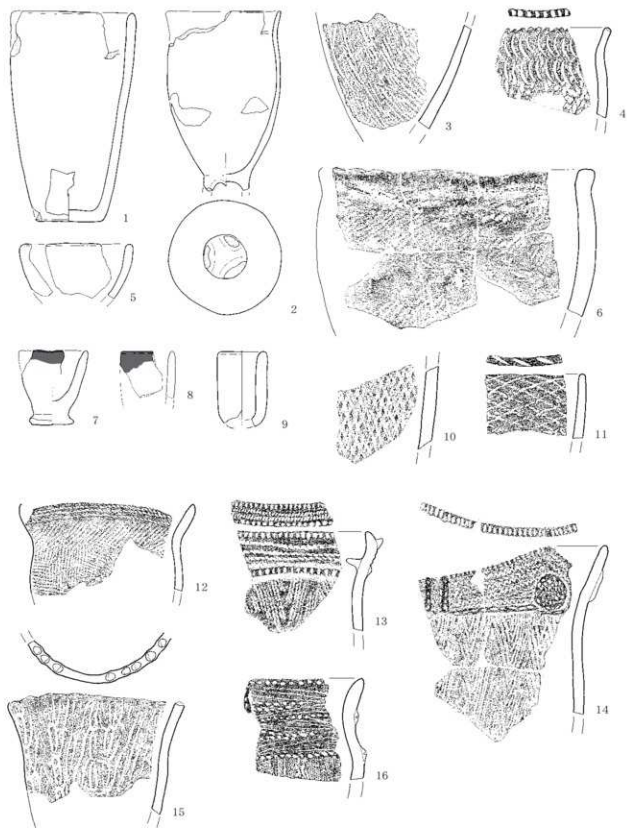


図194 遺構外出土遺物5

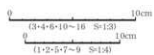




图 195 遺構外出土遺物 6

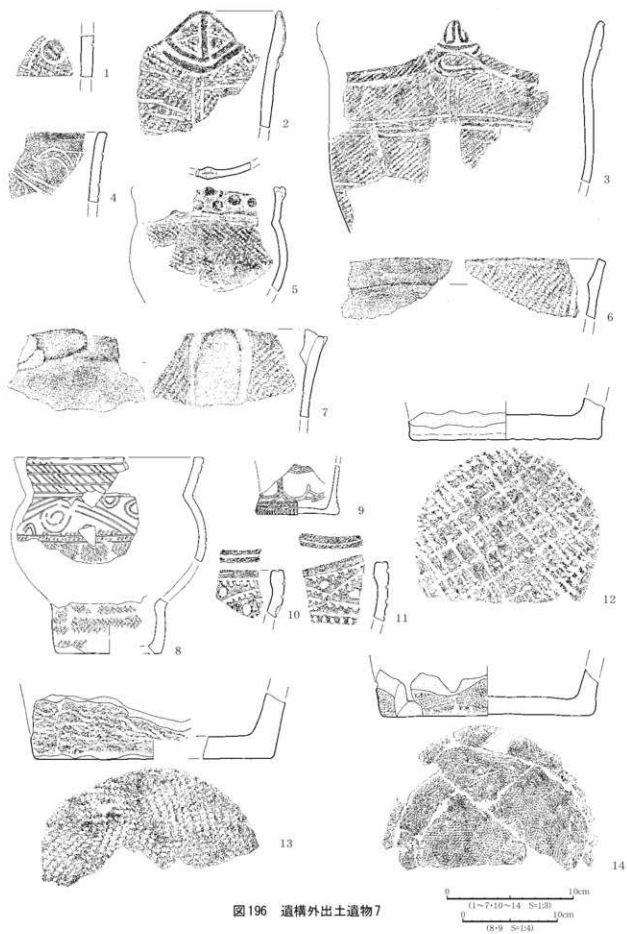


図196 遺構外出土遺物7

0 10cm
 (1~7・10~14 S:1/3)
 0 10cm
 (8・9 S:1/4)

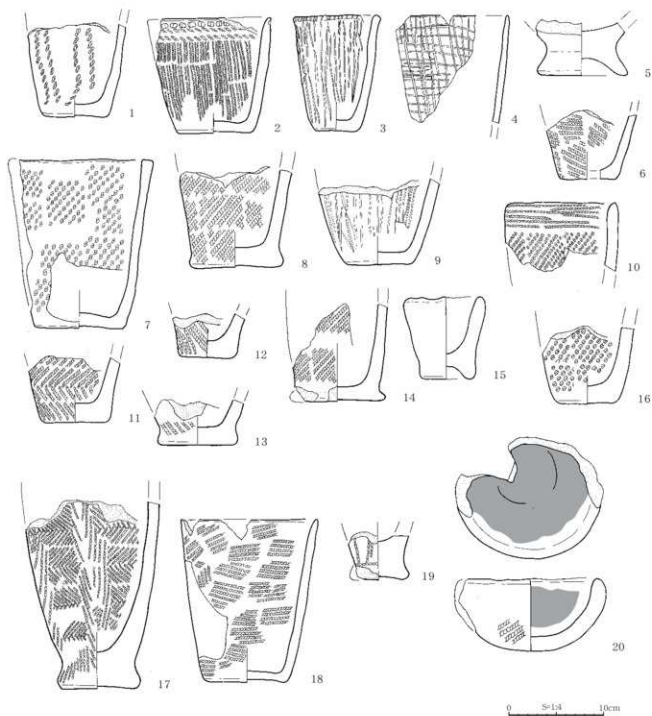


图197 小型土器

内部に仕切りをもつ土器 (図198-4・5)

仕切りをもつ土器は、2点出土し、どちらも調査区中央の捨て場区域からである。

4は、ND-95のⅢ層下位から出土し、口唇部に円形刺突がみられ、口縁部から底部まで結束第1種の回転文が施文されている。内部は丁寧にミガキ調整が施されている。

5は、NA-92のⅢ層下位から出土し、頸部に隆帯を持ち、口縁部が結束第1種、隆帯に単軸絡条体第1類、胴部上半が斜縄文、胴部下半は単軸絡条体第1種の回転文が施文され、内面はミガキ調整がされている。

いずれも横断面が楕円形になるように製作された土器で、内部が仕切り板で二分されている。側面部の内面と仕切りは同じように丁寧にミガキ調整が施され、側面と仕切り板の胎土、繊維の混入の度合い、色調なども大きな違いは認められない。ただし、土器の内面は、黒変の度合いが左右微妙に違っているのが注目される。

製作技法として考えられるのは、最初から底部を8の字形や楕円形につくりながら仕切を積み上げていく方法と、未完成(未乾燥)の土器を2個を用い合わせて仕切り土器とする方法が考えられる。

西張平遺跡から出土した2点の土器を底部や仕切の壊れ具合から見る限り、2個体を接合して成形された可能性が高いと推察できる。

用途については、土器ということ前提とすると煮沸や貯蔵以外の用途については不明であり、出土点数からみても実用的というより特殊なものと思える。

器形と施文からいずれも円筒下層b~c式土器と考えられる。

内部に仕切りを持つ土器の名称は、様々であるが、ゴッソー遺跡や大日向遺跡出土の土器は、1個体の土器を用いて仕切りを付けているが、尾上山(3)遺跡や矢倉遺跡では、2個体を合わせることで仕切りとしている。それから考えると、双子土器と呼ぶのが正しいのかも知れない。

内部に仕切りをもつ土器の出土している遺跡(番号は図198・199の仕切り付土器集成の図版と一致)

- 1 青森県弘前市尾上山(3)遺跡(青森県教育委員会:1991)前期 ミニチュア土器
- 2 青森県青森市内丸山(2)遺跡(青森県教育委員会:1993)中期? ミニチュア双口土器
- 3 岩手県洋野町(旧種市町)ゴッソー遺跡(岩手県文化振興事業団:2001)前期
- 4 青森県七戸町矢倉遺跡(七戸町教育委員会:2002)前期
- 5 岩手県軽米町大日向Ⅱ遺跡(岩手県文化振興事業団:1998)前期
- 6 福島県新地町三貫地貝塚(福島県立博物:1988)後期
- 7 富山県朝日町境A遺跡(富山県教育委員会:1991)後期 双口台付土器
- 8 秋田県北秋田市(旧森吉町)日廻岱B遺跡(秋田県教育委員会:2005)後期
- 9 青森県青森市内丸山(2)遺跡(未報告資料)中期 北盛り土(三丸展示室:実測図なし)

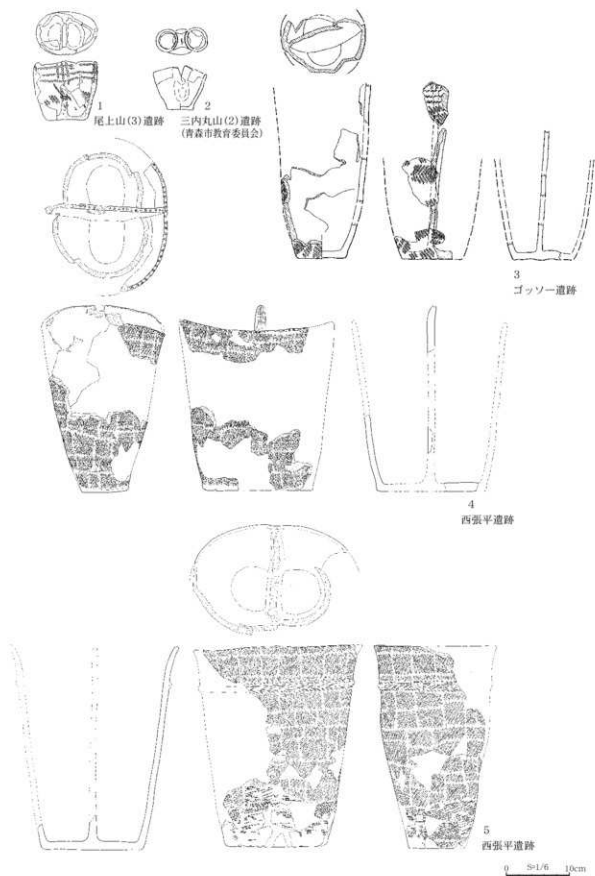


図198 仕切り付土器集成1

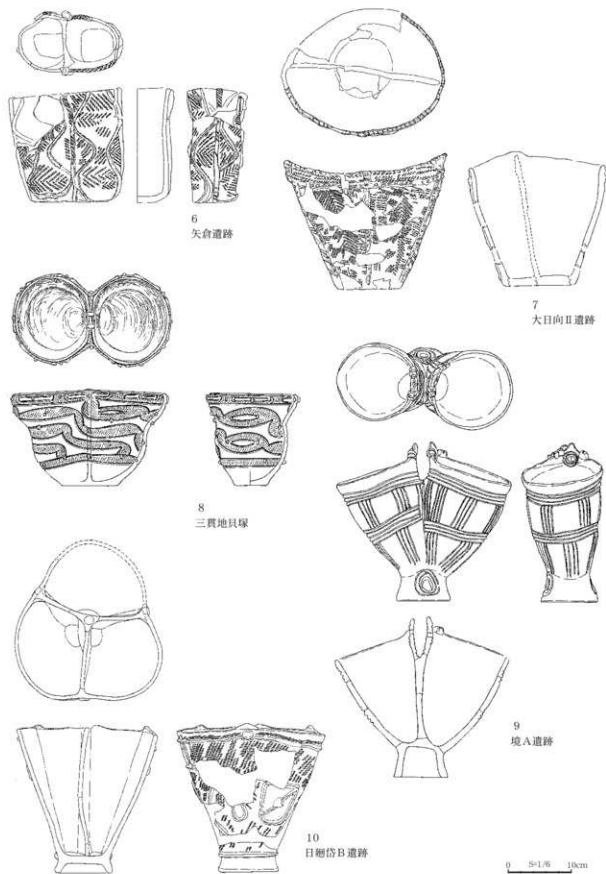


図199 仕切り付土器集成2

第2節 石器

出土した石器は、段ボール箱で約115箱、剥片石器の総数は2,225点（遺構内635点、遺構外1590点）で、礫石器の総数は828点（遺構内306点、遺構外522点）である。

剥片石器と礫石器に分け、器種、形態、使用痕の状態によって細分した。

第1群 剥片石器

1類 石鏃

遺構内から130点、遺構外から298点の計428点出土している。基部形態には以下のものがある。石鏃は、遺構内の覆土から一緒に出土した土器型式に比定すると、前期中葉から後葉には尖基、円基鏃が多く、前期後葉から中期前葉にかけて有茎凸基鏃が増加する傾向にある。

A種 無茎

- 1 凹基 抉りの深いものと浅いものがある。
- 2 平基

B種 有茎

- 1 凹基
- 2 凸基

C種 円基

D種 尖基

2類 石槍

遺構内から10点、遺構外から10点の計20点出土している。基部の形態には以下の2種が認められる。

A種 円基

B種 基部につまみ様の抉りがあるもの。

3類 石匙

遺構内から46点、遺構外から191点の計237点出土している。大きく以下の2種類に分けられる。石匙は遺構内からの出土量が少ないせいもあるが、縦型と横型で石鏃のような種類による遺構ごとの出土量の偏りはみられない。遺構外からの出土が多いのも傾向の一つである。

A種 縦型

B種 横型

4類 石筥

遺構内から19点、遺構外から25点の計44点出土している。形態で以下の3種類に分けられる。

A種 楕円形

B種 撥形

C種 上方から下方へ広がるもの

5類 石錐

遺構内から23点、遺構外から36点の計59点出土している。大きく以下の2種類に分けられる。

A種 つまみ部を有するもの

B種 つまみ部が無く棒状のもの

6類 楔形石器

平面形態が方形で、打点が対に複数存在し、打点付近に階段状に剥離がみられるものである。遺構内から27点、遺構外から30点の計57点出土している。

7類 異形石器

用途が不確定な石器である。遺構外からのみ2点出土している。

8類 不定形石器

二次調整のある剥片で、上記以外の剥片石器である。遺構内から379点、遺構外から991点の計1370点出土している。

9類 微小剥離のある剥片

8類で観察される二次調整とは異なる微細な剥離が連続して見られる剥片である。遺構内から543点、遺構外から1215点の1758点出土している。

10類 剥片・石核

調整加工、微小剥離が観察されない剥片を剥片とし、剥片石器を製作するための素材を取った後の剥片を石核とした。

第Ⅱ群 礫石器

11類 磨製石斧

遺構内から17点、遺構外から38点の計55点出土している。

12類 敲磨器類

遺構内から236点、遺構外から392点の計628点出土している。使用痕と形態から以下の5種類に分けられる。敲磨器類に使用された石材は安山岩が最多である。

A種 磨り

B種 敲き・凹み

C種 磨り、敲き・凹みの複合

D種 半円状扁平打製石器（挟入扁平磨製石器を含む）

E種 北海道式石冠

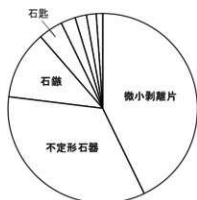
北海道式石冠は遺構外から7点出土している。なお、敲きと凹みは厳密には区別されず、敲きが強く施された状態が凹み痕として確認できるものと判断している。

13類 石皿・台石類

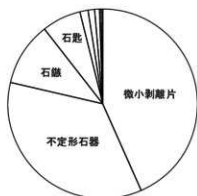
遺構内から47点、遺構外から34点の計81点出土している。

14類 砥石

遺構内から1点、遺構外から5点出土している。図201-8は有溝砥石で断面V字状の溝が2本みられる。石材はデイサイトである。

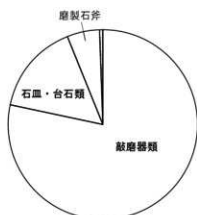


遺構内 635 点

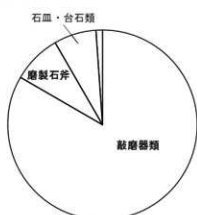


遺構外 1,590 点

剥片石器器種組成

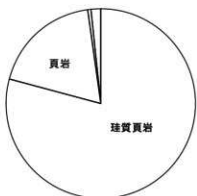


遺構内 306 点



遺構外 522 点

礫石器器種組成



剥片石器 2,225 点



礫石器 828 点

石材組成

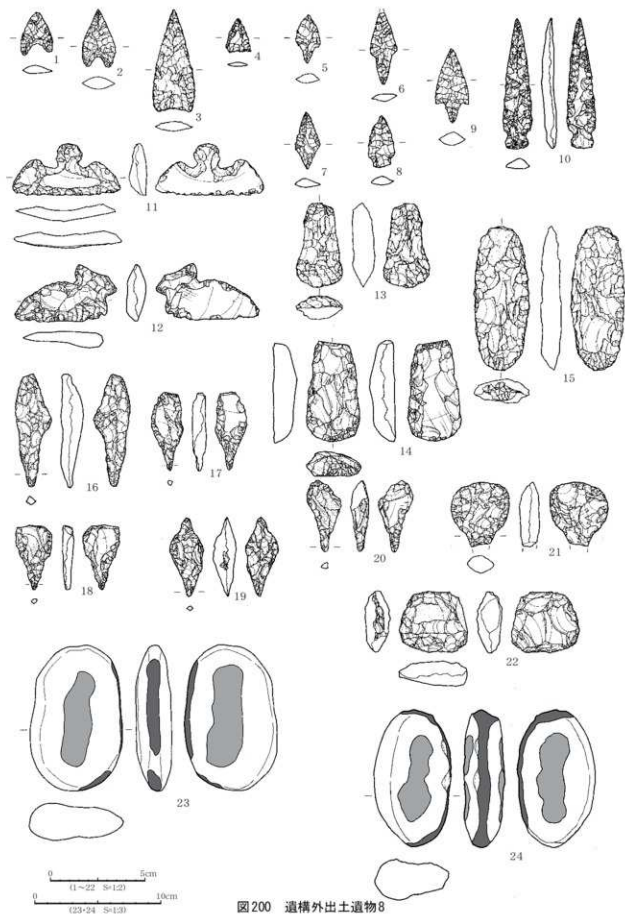


图200 遺構外出土遺物8

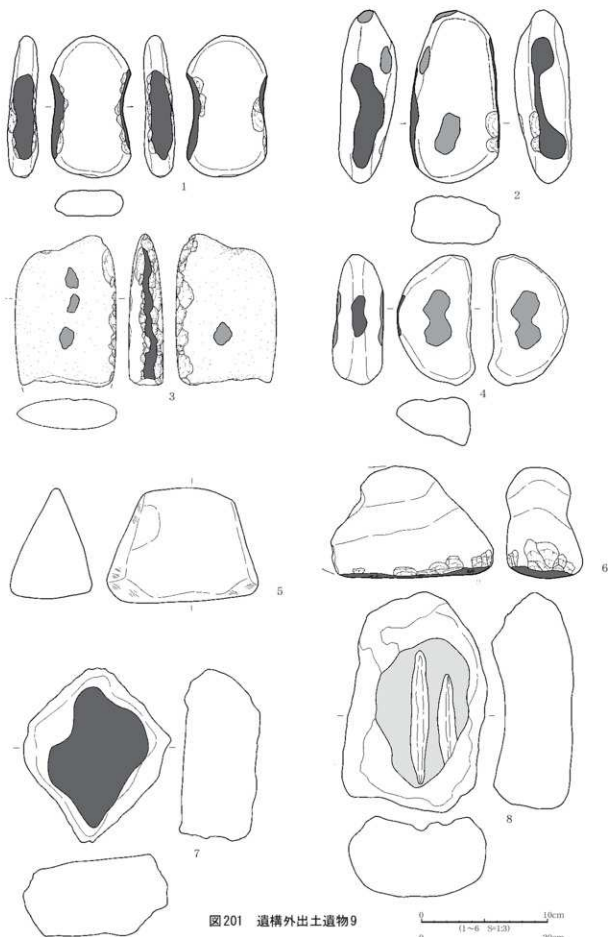


图201 遺構外出土遺物9

第3節 土製品

縄文時代の土製品が59点出土している。ほとんどが胎土に海綿骨針を多少なりとも含んでいるのが確認でき、海生粘土を用いて製作していると思われる。

1 土偶 (図202-1~8)

土偶は遺構内から5点、遺構外から3点出土している。いずれも板状土偶の破片と考えられ、調整技法から分類する。

I類 沈線と刺突によるもの(円筒下層d式期?)

3・4・7・8は、いずれも胴部破片で、縦位の沈線や刻目、刺突などによって施文されており、4・7・8は粘土の貼り付けにより胸やへそを表現している。

II類 渦巻き状に側面圧痕するもの(円筒上層a式期)

1はその形状から土偶の脚部と思われる、かなり大型のものである。2の部位は不明。5は顔面をモチーフに窪んだ部分が目、側圧と刻目によって眉を表現していると思われる。

III類 無文のもの(円筒上層a式期?)

6は腕部と思われるが、無文のため表裏の区別はつかない。

2 円盤状土製品 (図203・図204)

円盤状土製品は遺構内22点、遺構外15点の計37点出土している。いずれも土器片の周縁を円形に整形したもので、形態はほぼ円形である。側縁の加工は一部、あるいは全周を研磨調整しているものが22点、打ち欠きのみで整形しているものが15点である。再利用していると思われる土器は、円筒下層a式から円筒上層a式までの土器片で、29のみ大木式土器を再利用している。

大きさは直径が最小2.0cm、最大7.6cm、平均は4.0cmで、約6割が3.0~5.0cmの間に集中する。重量は、最小2.8g、最大71.4g、平均は20.5gで、約6割が10~30gの間に集中する傾向がみられる。出土した円盤状土製品を孔の状態によって以下の通り分類してみる。

I類 ほぼ中央に貫通孔がみられるもの(図203-1~6)

6点が該当し、すべて胴部破片再利用である。2~6は遺物のほぼ中心に8mm前後の貫通孔がみられる。1は完形ではないため断定は出来ないが、恐らく同様のものと考えられる。また、両面穿孔の痕跡が顕著にみられる。2には貫通孔の上部に貫通していない孔があるが、これは土器の補修孔と考えられる。

II類 穿孔途中と思われるもの(図203-7~9)

3点が該当し、すべて胴部破片再利用である。遺物の中心に0.3~0.6mmの穿孔痕が表裏両面に確認できる。

III類 貫通孔などの加工がみられないもの(図203-10~26、図204-27~37)

28点が該当し、25点が胴部破片、2点が底部破片、1点が口縁部破片再利用である。

3 その他の土製品 (図205-1~14)

その他の土製品は、遺構内2点、遺構外12点の計14点が出土している。

1はミニチュア土器で、外面をナデによる調整がおこなわれ、施文はみられない。内面は、一部黒変しているのが確認できる。2はおはじき状の土製品で、表面に刻線がみられ、その形状から円盤状土製品と非常に類似しているが、土器片を再利用したものではないため、別扱いとした。3、4は鐺

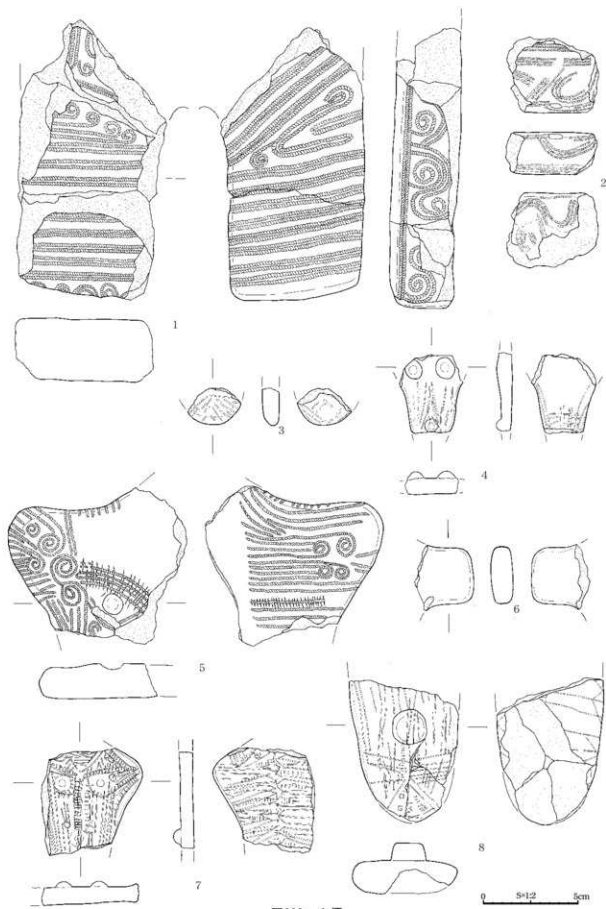


图202 土偶

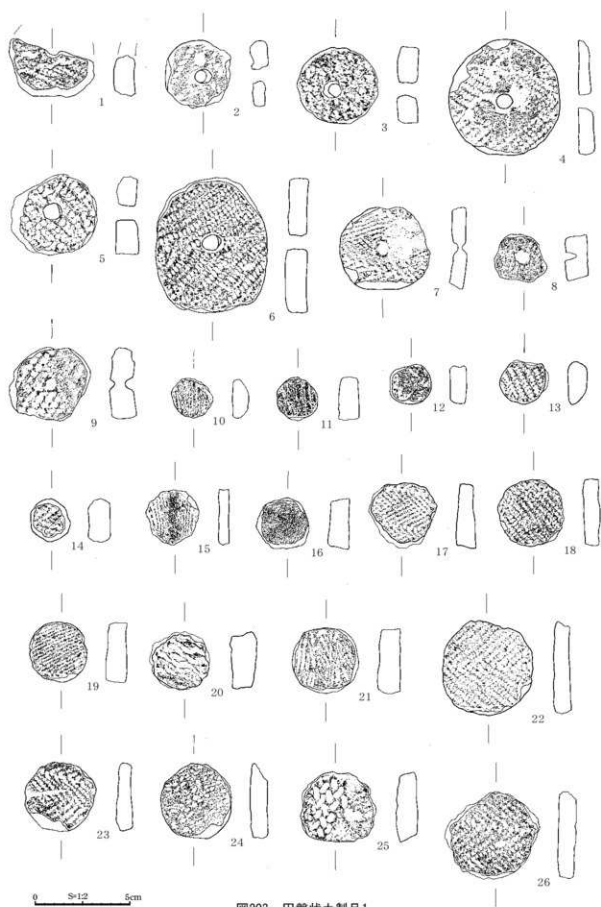


図203 円盤状土製品1

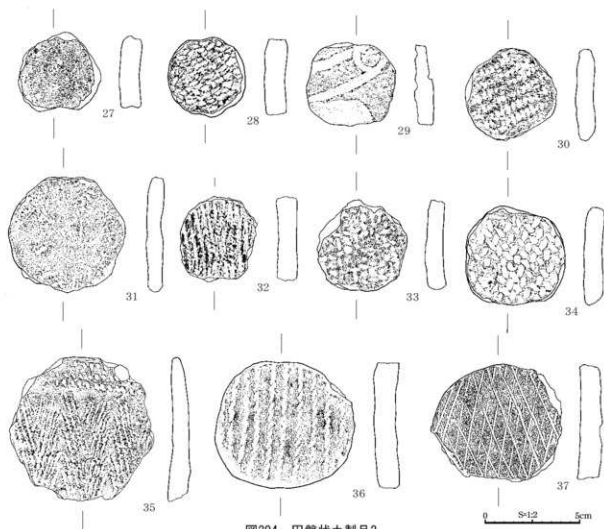


図204 円盤状土製品2

型土製品と思われる。3は側面に焼成前の貫通孔がみられる。4は上部に貫通孔がみられ、砲弾状に膨らむ器形である。5はその形態から腕輪状土製品で、表面に刺突痕がほぼ等間隔で並び、焼成は不良である。6は耳栓と思われ、形状は鼓状、中央部分が少しくびれている。7はスタンプ状土製品と考えられるもので、柄の部分が欠損している。底面はなめらかで施文などはされていない。8は筒状の不明土製品で、残存状態から中央が空洞状の筒形と推定される。9はリング状の土製品で、刺突や施文が見当たらないこと、調整が雑なことから、装飾品の可能性は低い。12は不明土製品である。上下部が平坦で、台や重石として使われていた可能性が考えられる。10、11、13、14はいずれも焼成粘土塊と思われ、11の裏面には竹管による圧痕が確認でき、13は裏面に指頭圧痕のような窪みがみられる。

(秋元 莉絵)

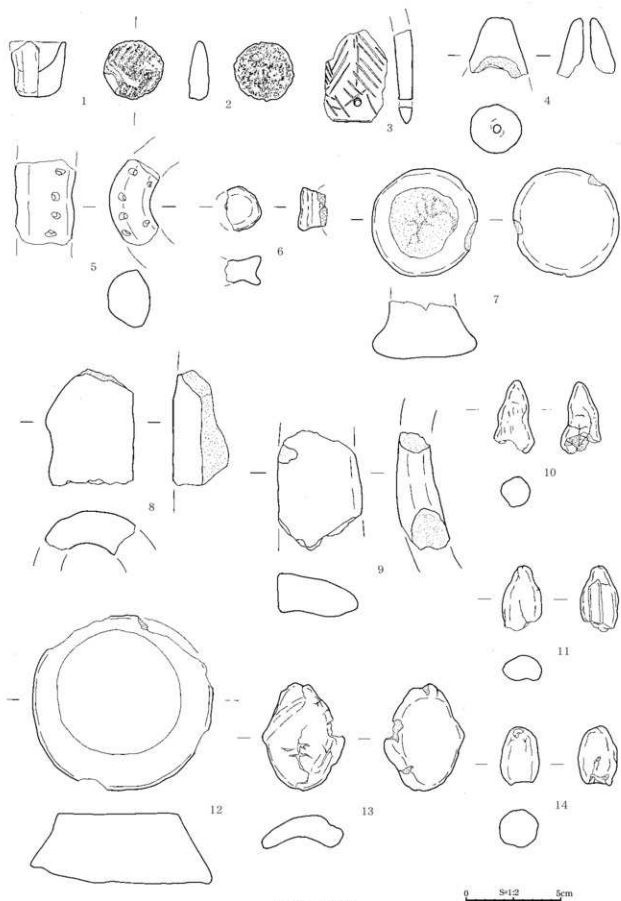


図205 土製品

第4節 石製品

縄文時代の石製品が309点出土している。以下器種ごとに記述する。

1 石製垂飾品（耳飾り他）

石製耳飾りは、遺構外から2点出土している。いずれも環状で、外側中央を巡るように1本の溝がつくられるものである。図206-1のほうが図206-2よりも一回り大きい。いずれも凝灰岩製である。

2 石棒

石棒は、遺構内5点、遺構外5点の計10点である。すべて両端が欠損しているため頭部加工の有無などは不明である。断面形が円形のもので扁平なものに分けられる。図示した3点はすべて断面形が扁平で、図206-15は三角形、図206-14と図206-16は楕円形状である。図206-15は三角柱状の石の側縁に敲打がみられる。石質は3点とも安山岩である。他に流紋岩、デイサイト、粗粒玄武岩製のものがある。

3 軽石製品

軽石、軽石製品は257点確認され、以下の4種類に分類される。

- A類 石冠状の頭部を有するもの（4点 遺構内2点 遺構外2点）
- B類 孔のあけられるもの（9点 遺構内6点 遺構外3点）
- C類 平滑面を有するもの（50点 遺構内17点 遺構外33点）
- D類 上記以外のもの（194点 遺構内98点 遺構外96点）

A類は、すべて上部に環状に抉りを入れ、石冠状の頭部をつくりだし、底面を平滑にしている。図207-4は他に比べ頭部が小さい。いずれも頭部は中心ではなく偏った部分につくられる。

B類は、ほとんどが円盤状に成形しており、孔が貫通しているものと貫通していないものがある。孔は中央に施されるものが多い。図207-7は中央に貫通孔があるが、その脇に表裏2か所ずつ計4か所の貫通していない孔が認められる。図207-12、図207-5はいずれも両側から孔を穿っているが、貫通していない。図207-12は他の製品に比べ大型である。図207-6は円盤状に整形し、片面に未貫通孔が施される。図207-13は半月状で全体を平たく加工しており、片側に貫通していない孔が認められる。

C類は、平滑面を有するものである。ほとんどのものが1面の平滑面を有する。

D類は、上記以外のもので、擦るまたは擦られて整形されるなどの加工が施されているものや、未加工のものが含まれる。図209-3は楕円形の鉢形に整形している。図209-5はボーリングのピンのような形状に整形しているものである。図208-21のように数面の滑面が確認されるものもある。

4 凝灰岩質石製品

凝灰岩質石製品は凝灰岩や泥岩質の石に加工を施したものである。器面に擦痕の認められるものが多いが、石質が軟らかいため当時の整形痕・使用痕ではない可能性もある。

図212-1は径6 cm、深さ1 cmの円形の凹みがつくりだされる。図212-2は欠損しているが、形

態から岩版の可能性がある。図212-12は四角く板状に整形したものに未貫通孔が施されている。図213-14は、先の尖った道具で周囲から放射状に円形に整形をしたものである。図213-1は側縁部に打ち欠いた痕跡がみられる。図212-4の中央にある孔は人為的なものではなく欠損部である。図212-10は円く凹ませた部分がみられる。

5 その他の石製品

他の石製品として、石の一部や全体を研磨したもの、抉りのみられるもの、穿孔のなされるものなどがある。図206-9、図206-7、図206-6は、灰白色のチャートに研磨が施される。図206-9は幅1.5cm弱の浅い溝を研磨によってつくり出している。図206-5は、おそらく鈎針のような形態の珪質頁岩全体を研磨しており、表面は滑らかで光沢がある。図206-4は流紋岩製で片面が研磨され擦痕が残る。図206-3は砂岩製で、全体が研磨されており、溝状に凹ませたり、抉りが施されている。図206-10は、楕円形の安山岩の全体が研磨され、非常に滑らかになっている。図206-13は、扁平な安山岩の表面に擦痕が施され、擦痕は直線的な辺の露部分と反対側の側面に多く見られる。

図206-11は、アルコーズ砂岩の両端を打ち欠いて楕円形に整形しているものである。

図206-12は半月形の薄い粘板岩の1か所に径3mm程度の未貫通孔が施される。

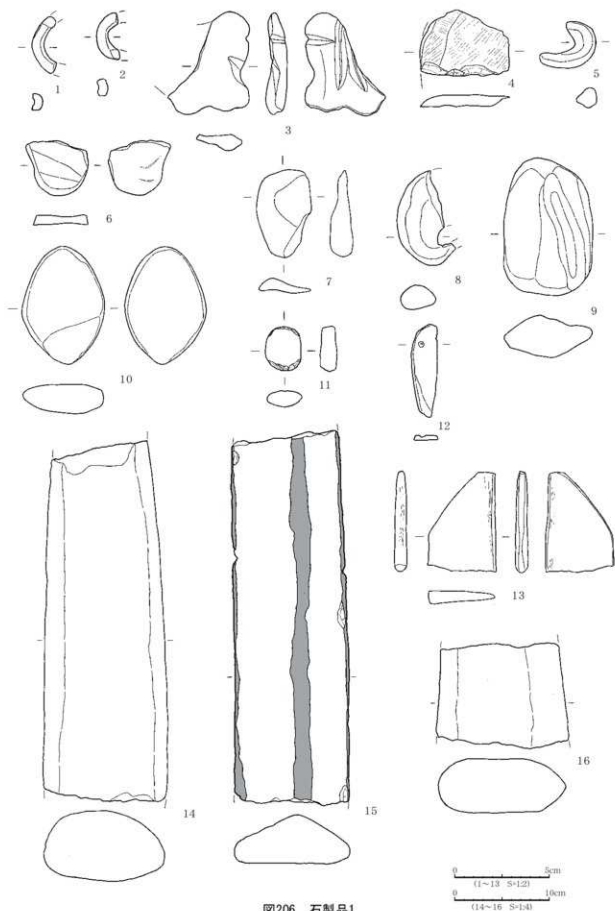


图206 石製品1

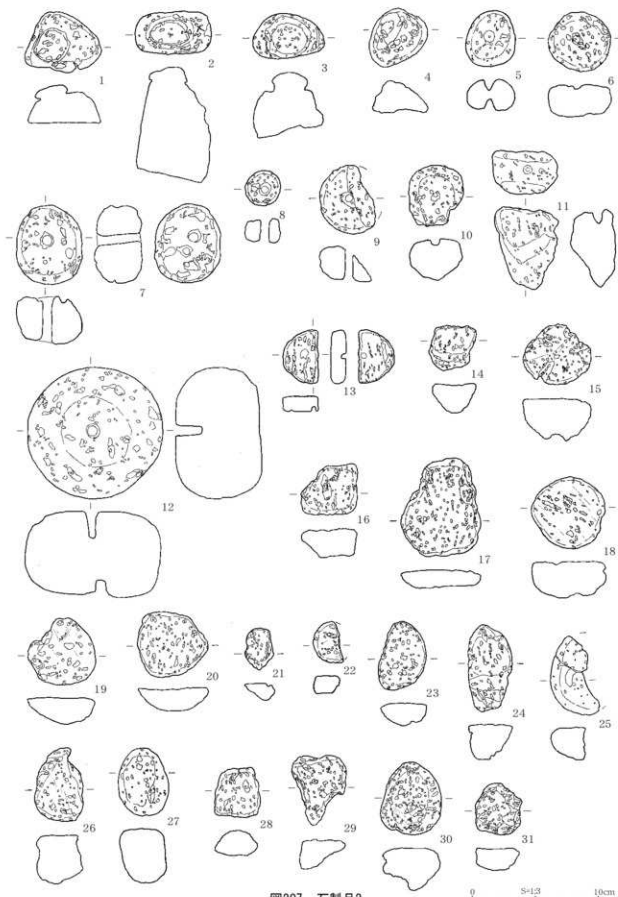


図207 石製品2

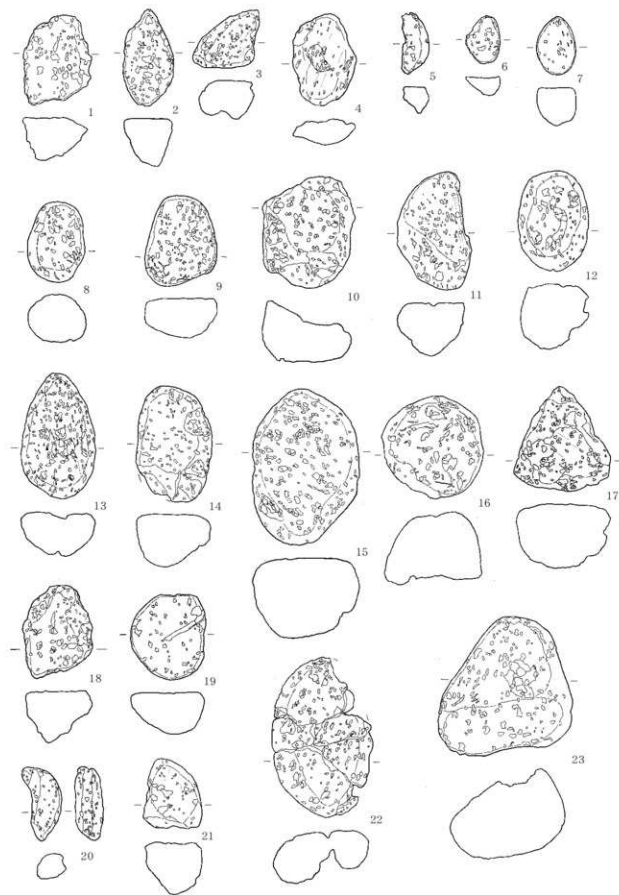


图208 石製品3

0 5-13 10cm

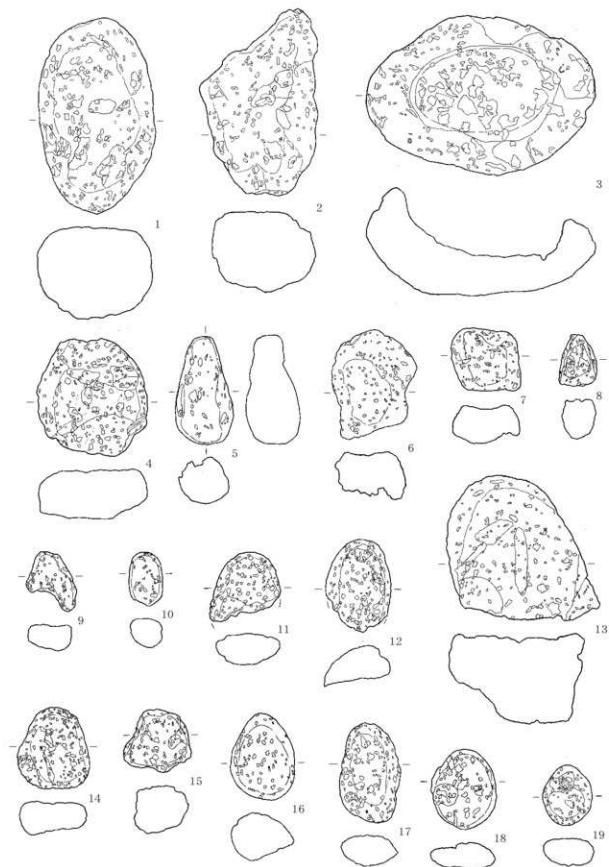


図209 石製品4

0 S=1.2 10cm

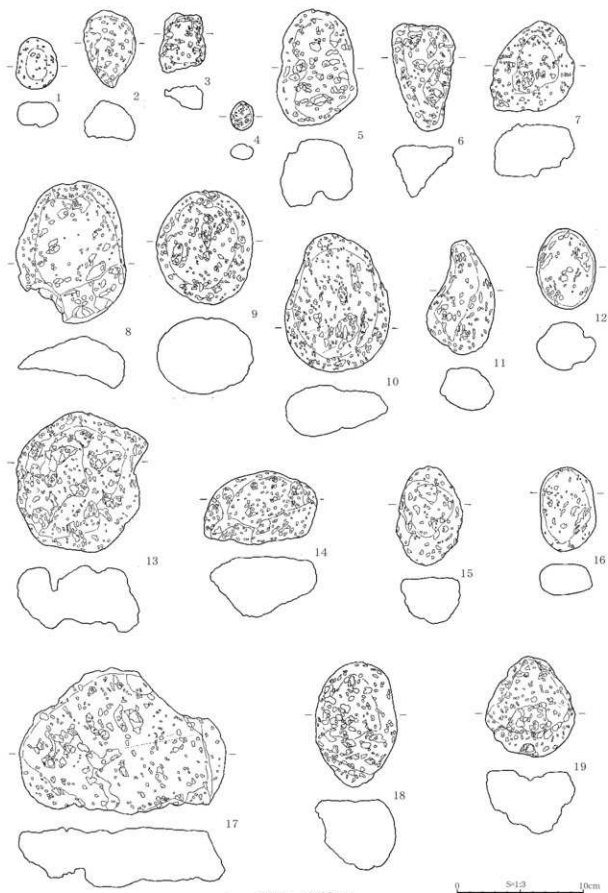


图210 石製品5

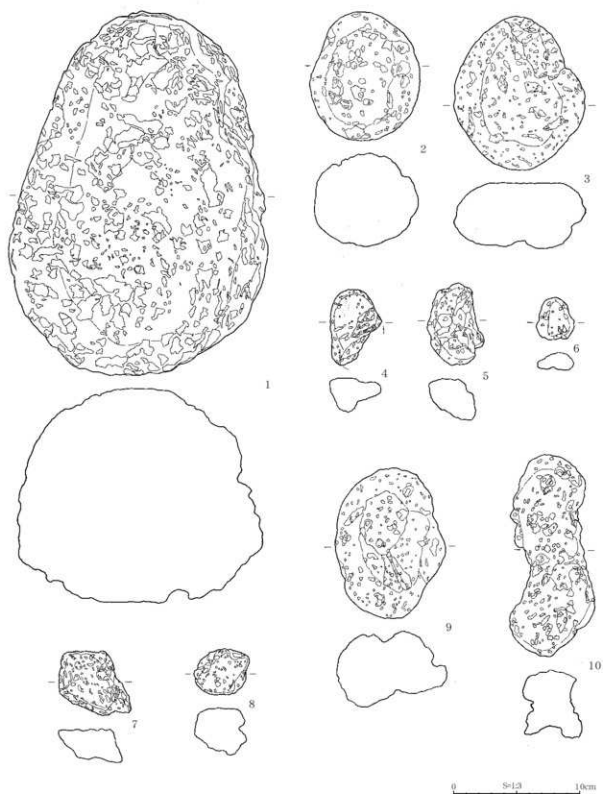


図211 石製品6

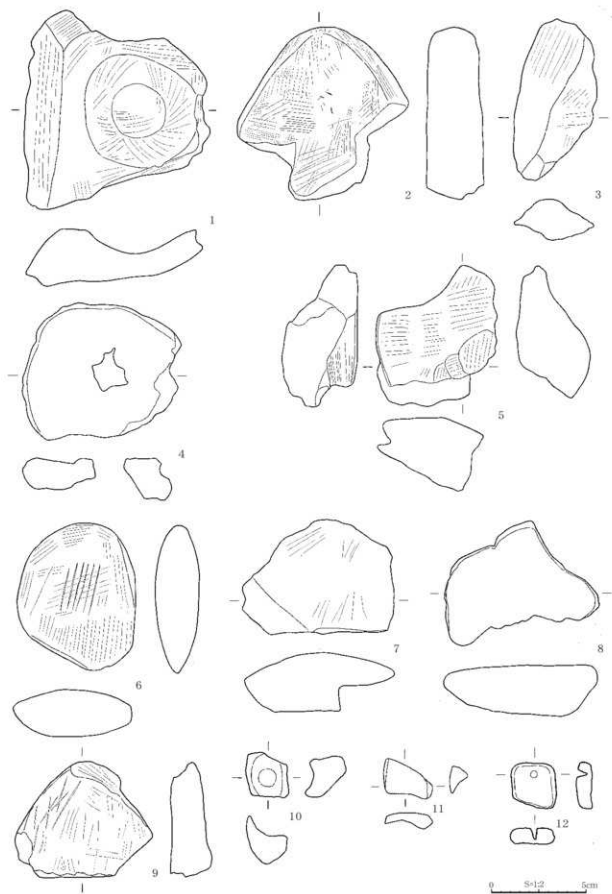


图212 石製品7

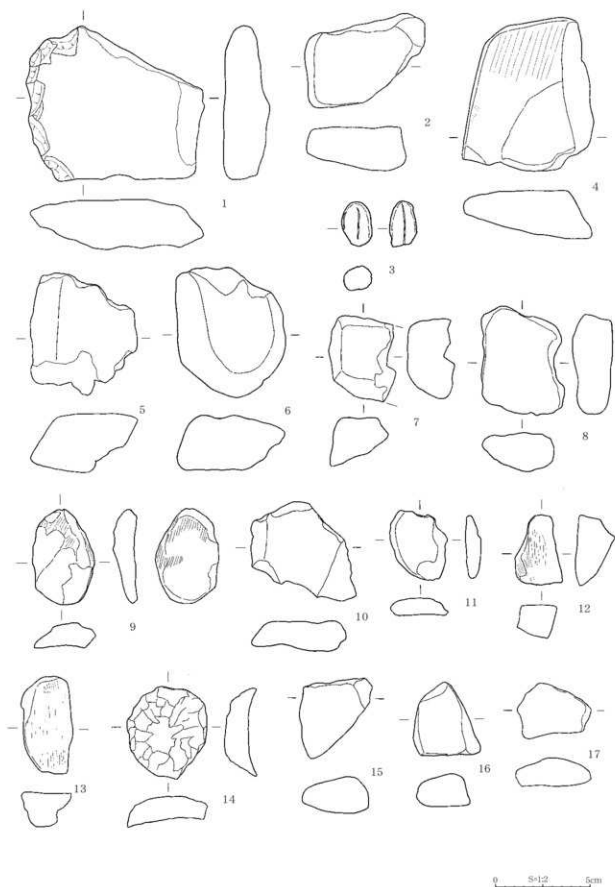


図213 石製品8

第4章 理化学的検証

第1節 放射線炭素年代測定結果

1 西張平道跡 放射線炭素年代測定

(株)地球科学研究所

放射性炭素年代測定の依頼を受けまし・試料について、別表の結果を得まし・のでご報告申し上げます。

報告内容の説明

未補正14C年代 (y BP) : (同位体分別未補正) 14C年代 "measured radiocarbon age"
試料の 14D/12D 比から、単純に現在 (AD1950年) から何年前 (BP) を計算し・年代。

14C年代 (y BP) : (同位体分別補正) 14C年代 "conventional radiocarbon age"
試料の炭素安定同位体比 (13D/12D) を測定して試料の炭素の同位体分別を知り 14D/12D の測定値に補正値を加え・上で、算出し・年代。
試料のδ13D値を-25(‰)に基準化することによって得られる年代値である。
(Stuiver, M. and Polach, H.A. (1977) Discussion Reporting of 14C data. Radiocarbon, 19 を参照のこと)
暦年代を得る際にはこの年代値をもちいる。

δ13D (permil) : 試料の測定 14D/12D 比を補正する・ための 13D/12D 比。
この安定同位体比は、下式のように標準物質 (・・C) の同位体比からの千分偏差 (‰) で表現する。

$$\delta 13D (\text{‰}) = \frac{(13D/12D)[\text{試料}] - (13D/12D)[\text{標準}]}{(13D/12D)[\text{標準}]} \times 1000$$

ここで、13D/12D [標準] = 0.0112372 である。

暦年代 : 過去の宇宙線強度の変動による大気中14D濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。具体的には年代既知の樹木年輪の14Dの測定、サンゴのU-7n年代と14C年代の比較により、補正曲線を作成し、暦年代を算出する。最新のデータベース ("INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration" Stuiver et al, 1998, Radiocarbon 40 (3)) により約19000 C・までの換算が可能となつ・。

*但し、10000y BP以前のデータはまだ不完全であり今後も改善される可能性が高いので、補正前のデータの保管を推奨します。

"The calendar calibrations were calculated using the newest calibration data as published in Radiocarbon, Vol. 40, No. 3, 1998 using the cubic spline fit mathematics as published by Talma and Vogel, Radiocarbon, Vol. 35, No. 2, pg 317-322, 1993: A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates. Results are reported both as cal BC and cal BP. Note that calibration for samples beyond about 10,000 years is still very subjective. The calibration data beyond about 13,000 years is a "best fit" compilation of modeled data and, although an improvement on the accuracy of the radiocarbon data, should be considered illustrative. It is very likely that calibration data beyond 10,000 years will change in the future. Because of this, it is very important to quote the original BP dates and these references in your publications so that future refinements can be applied to your results."

測定方法などに関するデータ

測定方法 AMS : 加速器質量分析

Radiometric : 液体シンチレーションカウンタによるβ-線計数法

処理・調製・その他 : 試料の前処理、調製などの情報

前処理
acid-alkali-acid : 酸 - アルカリ - 酸洗浄
acid washes : 酸洗浄
acid etch : 酸によるエッチング
none : 未処理

調製・その他

Bulk-Low Carbon Material : 低濃度有機物処理
Bone Collagen Extraction : 骨、歯などのコラーゲン抽出
Cellulose Extraction : 木材のセルロース抽出
Extended Counting : Radiometric による測定の際、測定時間を延長する

分析機関 BETA ANALYTIC INC.

4985 SW 74 Court, Miami, FL, U.S.A 33155

C14年代測定結果

試料データ	未補正14C年代(y BP) (measured radiocarbon age)	δ 13C(permil)	14C年代(y BP) (Conventional radiocarbon age)
Beta- 186374	4810 \pm 60	-25.4	4800 \pm 60
試料名 (24022) NISHIHARI-01			
測定方法、期間 AMS-Standard			
試料種、前処理など charred material acid/alkali/acid			
Beta- 199693	4510 \pm 40	-25.2	4510 \pm 40
試料名 (26560) NISHIHARI-02			
測定方法、期間 AMS-Standard			
試料種、前処理など charred material acid/alkali/acid			
Beta- 199694	4650 \pm 40	-25.4	4640 \pm 40
試料名 (26561) NISHIHARI-03			
測定方法、期間 AMS-Standard			
試料種、前処理など charred material acid/alkali/acid			
Beta- 199695	4560 \pm 40	-24.2	4570 \pm 40
試料名 (26562) NISHIHARI-04			
測定方法、期間 AMS-Standard			
試料種、前処理など charred material acid/alkali/acid			

年代値はRCYBP(1950 ADを*年とする)で表記。*ダ*・*ファ*・*スタ*・*ダ*は国際的な慣例としてNBS Oxalic AcidのC14濃度の***を使用し、半減期は*ビ*の5568年を使用した。エリ*は*シグ*(68%確率)である。

試料名	試料番号	出土地点	試料の種類	重量	備考
Beta-186374	24022 NISHIHARI-01	A区トレンチ01 IIIb層	炭化物	0.2g	標高139.0m
Beta-199693	26560 NISHIHARI-02	SI-16埋設炉② 埋設炉覆土	炭化種子	0.4g	標高143.8m
Beta-199694	26561 NISHIHARI-03	SI-24 覆土	炭化種子	0.3g	標高144.9m
Beta-199695	26562 NISHIHARI-04	SK-28 床面	炭化材	2.5g	標高143.8m

CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS

(Variables: C13C12--25.4, lab, multi=1)

Laboratory number: Beta-186374

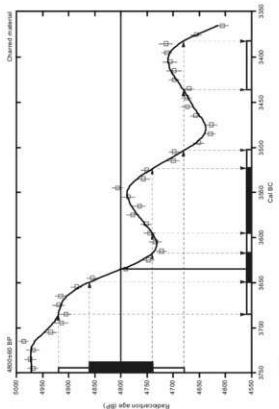
Conventional radiocarbon age: 4800±60 BP

2 Sigma calibrated results: Cal BC 3680 to 3800 (Cal BP 5640 to 5440) and (95% probability) Cal BC 3440 to 3380 (Cal BP 5390 to 5330)

Intercept data

Intercept of radiocarbon age with calibration curve: Cal BC 3640 (Cal BP 5580)

1 Sigma calibrated results: Cal BC 3650 to 3620 (Cal BP 5600 to 5570) and (68% probability) Cal BC 3600 to 3520 (Cal BP 5540 to 5470)



References:

BetaLab v2.0

Calibration Database

Stuiver, M., van der Pligk, H., 1998, Radiocarbon 40(1), pp.61-68

INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Mook, W.G., Stuiver, M., et al., 1998, Radiocarbon 40(5), p.1041-1063

Marine data

A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates

Turney, S. E., Vogel, J. C., 1998, Radiocarbon 40(2), pp.117-122

Beta Analytic Inc.

4805 SW 19 Court, Miami, Florida 33155 • Tel: (305) 887-7447 • Fax: (305) 887-9994 • E-Mail: beta@betaanalytic.com

CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS

(Variables: C13C12--25.2, lab, multi=1)

Laboratory number: Beta-199693

Conventional radiocarbon age: 4510±40 BP

2 Sigma calibrated results: Cal BC 3060 to 3080 (Cal BP 5310 to 5030) and (95% probability) Cal BC 3060 to 3040 (Cal BP 5010 to 4990)

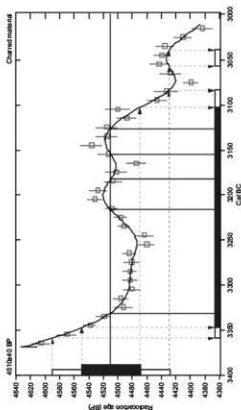
Intercept data

Intercept of radiocarbon age with calibration curve:

Cal BC 3330 (Cal BP 5280) and
Cal BC 3220 (Cal BP 5170) and
Cal BC 3180 (Cal BP 5130) and
Cal BC 3160 (Cal BP 5100) and
Cal BC 3130 (Cal BP 5080)

1 Sigma calibrated result:

Cal BC 3350 to 3100 (Cal BP 5300 to 5050) (68% probability)



References:

BetaLab v2.0

Calibration Database

Stuiver, M., van der Pligk, H., 1998, Radiocarbon 40(2), pp.61-68

INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Mook, W.G., Stuiver, M., et al., 1998, Radiocarbon 40(5), p.1041-1063

A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates

Turney, S. E., Vogel, J. C., 1998, Radiocarbon 40(2), pp.117-122

Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory

4805 SW 19 Court, Miami, Florida 33155 • Tel: (305) 887-7447 • Fax: (305) 887-9994 • E-Mail: beta@betaanalytic.com

CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS

(Variables: C13C12~25.4, lab, multi-1)

Laboratory number: Beta-199694

Conventional radiocarbon age: 4640±40 BP

2 Sigma calibrated result: Cal BC 3529 to 3350 (Cal BP 5476 to 5300)

(95% probability)

Intercept: data

Intercepts of radiocarbon age with calibration curve:

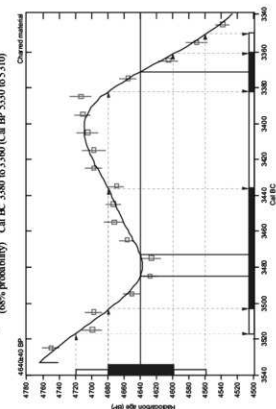
Cal BC 3480 (Cal BP 5440) and

Cal BC 3470 (Cal BP 5420) and

Cal BC 3370 (Cal BP 5320)

1 Sigma calibrated result: Cal BC 3500 to 3440 (Cal BP 5450 to 5390) and

(68% probability) Cal BC 3380 to 3350 (Cal BP 5330 to 5310)



References:

IntCal 09

INTCAL09

Calibration Database

Stuiver, M., van der Plicht, H., 1998, Radiocarbon 40(3), p.418

INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Stuiver, M. et al., 1998, Radiocarbon 40(3), p.1041-1083

Mook, W. G. et al., 1998, Radiocarbon 40(3), p.1041-1083

A Simple and Accurate Approach to Calibrating C14 Dates

Taylor, A. S., Fogel, J. C., 1981, Radiocarbon 23(2), p.117-122

4803.987 Lab. Cont. Data, Format: p1317-61; 010166-53-07-4; en; 010166-0104-7; labId; beta-199694-beta-199694

Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory

CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS

(Variables: C13C12~24.2, lab, multi-1)

Laboratory number: Beta-199695

Conventional radiocarbon age: 4570±40 BP

2 Sigma calibrated result: Cal BC 3490 to 3460 (Cal BP 5440 to 5410) and

(95% probability) Cal BC 3370 to 3310 (Cal BP 5320 to 5260) and

Cal BC 3230 to 3110 (Cal BP 5180 to 5060)

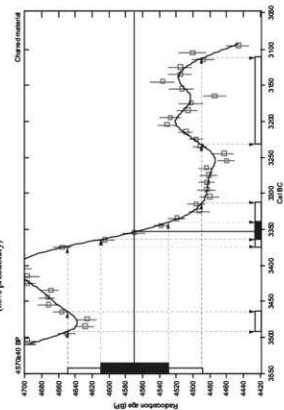
Intercept: data

Intercepts of radiocarbon age with calibration curve:

Cal BC 3350 (Cal BP 5300)

Cal BC 3360 to 3340 (Cal BP 5310 to 5290)

(68% probability)



References:

IntCal 09

INTCAL09

Calibration Database

Stuiver, M., van der Plicht, H., 1998, Radiocarbon 40(3), p.418

INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Stuiver, M. et al., 1998, Radiocarbon 40(3), p.1041-1083

Mook, W. G. et al., 1998, Radiocarbon 40(3), p.1041-1083

A Simple and Accurate Approach to Calibrating C14 Dates

Taylor, A. S., Fogel, J. C., 1981, Radiocarbon 23(2), p.117-122

4803.987 Lab. Cont. Data, Format: p1317-61; 010166-53-07-4; en; 010166-0104-7; labId; beta-199694-beta-199694

Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory

2 西張平遺跡 放射線炭素年代測定

株式会社 加速器分析研究所

1) 前処理の工程は次のとおりである。

1. メス、ピンセットを用いて適量を採取した。この際、付着していた土をできるだけ除去した。炭化物については、内部より採取した。
2. 1Nの塩酸を用いて、80℃で数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈した。
3. 0.001～1Nの水酸化ナトリウム水溶液を用いて数時間処理した。その後、超純水で中性になるまで希釈した。
4. 1Nの塩酸を用いて、80℃で数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈した。なお、酸・アルカリ処理後の希釈の際には遠心分離法を用いた。
5. 試料を80℃で乾燥させた。
6. 試料を1gの酸化銅と共に、外径9mm、長さ30cmの石英管に入れ、真空下で封じ切った。
7. 6を500℃30分、850℃2時間で加熱し、試料中の炭素を二酸化炭素にした。
8. 真空ライン中で冷媒を用いて、二酸化炭素を精製した。
9. 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイトにした。得られたグラファイトを、内径1mmのアルミニウム製の容器にハンドプレス機で詰め、ターゲットとした。

2) 測定機器は、134試料装填可能なイオン源が設置された、3MV小型タンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用した。

AMS測定時には、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバッググラウンド試料の測定も行なう。また、測定では加速器により測定と同時に $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定も行なうため、この値を用いて $\delta^{13}\text{C}$ を算出する。

3) 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用しています。

4) BP年代値は、1950年からさかのぼること何年前かを表しています。

5) 付記した誤差は、次のように算出しています。

複数回(通常は4回)の測定値について χ^2 検定を行い、通常報告する誤差は測定値の統計誤差から求めた値を用い、測定値が1つの母集団とみなせない場合には標準誤差を用いています。

6) $\delta^{13}\text{C}$ の値は、通常は質量分析計を用いて測定しますが、AMS測定の場合に同時に測定される $\delta^{13}\text{C}$ の値を用いることもあります。

$\delta^{13}\text{C}$ 補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載しておきます。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差(‰:パーミル)で表したものです。

$$\delta^{14}\text{C} = [({}^{14}\text{As} - {}^{14}\text{Ar}) / {}^{14}\text{Ar}] \times 1000 \quad (1)$$

$$\delta^{13}\text{C} = [({}^{13}\text{As} - {}^{13}\text{ApDB}) / {}^{13}\text{ApDB}] \times 1000 \quad (2)$$

ここで、 ^{14}As : 試料炭素の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 濃度： $(^{14}\text{C}/^{12}\text{C})_s$ または $(^{14}\text{C}/^{13}\text{C})_s$

^{14}Ar : 標準現代炭素の ^{14}C 濃度： $(^{14}\text{C}/^{12}\text{C})_R$ または $(^{14}\text{C}/^{13}\text{C})_R$

$\delta^{13}\text{C}$ は、質量分析計を用いて試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{As} = ^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、PDB (白亜紀のペレムナイト (矢石) 類の化石) の値を基準として、それからのずれを計算します。

但し、IAA では加速器により測定中に同時に $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ も測定していますので、標準試料の測定値との比較から算出した $\delta^{13}\text{C}$ を用いることもあります。この場合には表中に〔加速器〕と注記します。

また、 $\Delta^{14}\text{C}$ は、試料炭素が $\delta^{13}\text{C} = -25.0$ (%) であるとしたときの ^{14}C 濃度 (^{14}As) に換算した上で計算した値です。(1) 式の ^{14}C 濃度を、 $\delta^{13}\text{C}$ の測定値をもとに次式のように換算します。

$$^{14}\text{A}_N = ^{14}\text{A}_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C}/1000))^2 \quad (^{14}\text{As} \text{として} ^{14}\text{C}/^{12}\text{C} \text{を使用するとき})$$

または

$$= ^{14}\text{A}_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C}/1000)) \quad (^{14}\text{As} \text{として} ^{14}\text{C}/^{13}\text{C} \text{を使用するとき})$$

$$\Delta^{14}\text{C} = [(^{14}\text{A}_N - ^{14}\text{A}_R) / ^{14}\text{A}_R] \times 1000 \text{ (‰)}$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気中の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行なった年代値は実際の年代との差が大きくなります。多くの場合、同位体補正をしない $\delta^{14}\text{C}$ に相当するBP年代値が比較的良好でその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致します。

^{14}C 濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC (percent Modern Carbon) がよく使われており、 $\Delta^{14}\text{C}$ との関係は次のようになります。

$$\Delta^{14}\text{C} = (\text{pMC}/100 - 1) \times 1000 \text{ (‰)}$$

$$\text{pMC} = \Delta^{14}\text{C}/10 + 100 \text{ (‰)}$$

国際的な取り決めにより、この $\Delta^{14}\text{C}$ あるいはpMCにより、放射性炭素年代 (Conventional Radiocarbon Age: yrBP) が次のように計算されます。

$$T = -8033 \times \ln[(\Delta^{14}\text{C}/1000) + 1]$$

$$= -8033 \times \ln(\text{pMC}/100)$$

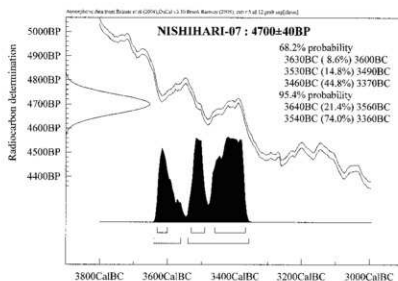
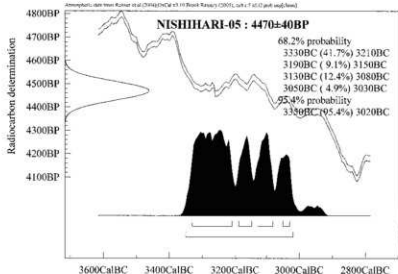
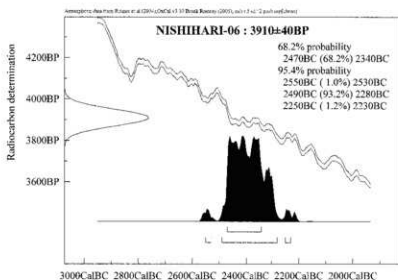
7) 暦年較正はOxCal Ver3.10を用いています。

IAA

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-51677 #1099-1	試料採取場所：青森市五戸町 倉石又重字西張平 91 試料形態：炭化物 試料名(番号)：NISHIHARI-06	Libby Age(yrBP) : 3,910± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$, (加速器) = -22.43± 0.94 $\Delta^{14}\text{C}(\text{‰})$ = -385.6± 2.9 pMC(%) = 61.44± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$ = -382.4± 2.7 pMC(%) = 61.76± 0.27 Age (yrBP) : 3,870± 40
IAAA-51678 #1099-2	試料採取場所：青森市五戸町 倉石又重字西張平 92 試料形態：炭化物 試料名(番号)：NISHIHARI-05	Libby Age(yrBP) : 4,470± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$, (加速器) = -30.41± 0.92 $\Delta^{14}\text{C}(\text{‰})$ = -427.1± 2.9 pMC(%) = 57.29± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$ = -433.5± 2.7 pMC(%) = 56.65± 0.27 Age (yrBP) : 4,560± 40
IAAA-51679 #1099-3	試料採取場所：青森市五戸町 倉石又重字西張平 93 試料形態：炭化物 試料名(番号)：NISHIHARI-07	Libby Age(yrBP) : 4,700± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$, (加速器) = -26.99± 0.94 $\Delta^{14}\text{C}(\text{‰})$ = -443.0± 2.8 pMC(%) = 55.70± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$ = -445.3± 2.5 pMC(%) = 55.47± 0.25 Age (yrBP) : 4,730± 40

試料名	試料番号	出土地点	試料の種類	補正年代	重量	備考
IAAA-51677	NISHIHARI-06	SI-18石囲炉2 覆土	炭化物	3910±40BP	0.4g	標高143.4m
IAAA-51678	NISHIHARI-05	SI-11Pit12 9層	炭化物	4470±40BP	1.1g	標高141.6m
IAAA-51679	NISHIHARI-07	SI-40石囲炉 炉内部	炭化物	4700±40BP	0.1g	標高141.5m

【参考値：暦年補正 Radiocarbon determination】



第2節 西張平遺跡出土人骨

国際医療福祉大学リハビリテーション学部 奈良貴史

2004年青森県五戸町西張平遺跡の発掘調査により縄文時代と思われる人骨が2体検出されたが、これはその人類学的調査報告である。

SI-31人骨

出土状態

人骨の遺存状況は悪く、頭骨と長管骨の輪郭がわかる程度であるが、四肢骨の左右は識別できない状態なので、正確な埋葬方法は不明である。確認できる限りでは、頭位方向は東で、顔面を北に向けた横臥の伸展葬と思われる。

遺存状態

人骨は極めて脆く、糊状を呈していたので、人骨と思われる範囲を土ごとに取り上げ、研究室で乾燥させたのち、土を除去しながら脆弱な部分にはセメダインCをアセトンで溶いたもので強固にした。その結果、頭骨の右半分の一部がかろうじて形状をとどめていた。四肢骨においては碎片化が著しく、部位の同定できたものは腓骨の骨幹部の破片だけである。また、一緒に取り上げた骨には種の同定にいたらなかったが獣骨も含まれていた。

年齢

右下顎の第三大臼歯が既に萌出終了していることから18歳以上の個体である(写真1-1)。さらに第三大臼歯の咬頭が消失する程度に咬耗が進行しているので、壮年期後半から熟年程度と思われる。

性別

破片が小さいため断定はできないが、腓骨の骨幹部が頑強なことから男性的である。

形態学的特徴・その他

右側頭骨外耳道後壁に直径3mmほどの外耳骨腫が認められる(写真1-2)。その程度は百々(1972)のTraceに片山(1988)のSmallに相当すると思われる。外耳道骨腫は貝塚から出土する人骨に多く見られることや現在では“surfer's ear”としてサーフィンや水泳の競技者に多いことから、冷水の外耳道に対する反復刺激が原因と考えられ、縄文時代の場合、北海道・東北地方の貝塚から出土する人骨に高頻度に認められることから海女などの生業と結び付けられることが多かった。しかし、一方で海岸から遠く離れた山間部から出土した人骨にも見られることから、遺伝的要因が関与している可能性も指摘され、いずれも確認されていない。西張平遺跡は海岸線から25kmあまり離れており、慣習的に海女などの潜水による漁労・採集作業は想定しにくい。ただ、能登半島における海女の調査では、年齢ともに大きくなる傾向にあるという報告もあるので(野垣 1939)、SI-31人骨の場合、外耳道を

塞ぐほどの大きなものでないことから、ある一定の時期まで海岸部で生活し、婚姻などで当地にきた可能性も指摘できるかと思われる。遺伝的要因に関しては、西張平遺跡で外耳道骨腫が確認できるのはこの一例だけなので検討できない。いずれにしても、縄文時代の内陸部の遺跡から出土した人骨に外耳道骨腫が見られるということは貴重な例である。細片化が著しく正確な歯種の同定が困難であるが、上顎の右歯列において切歯部から大白歯部にかけて欠損がなく歯冠が観察されることから、少なくとも上顎の右側には抜歯された痕跡は認められない。確認された腭骨の骨幹部には縄文時代人に高頻度で見られる外側縁に鉛直方向に走る、槓状腭骨を呈する。骨幹の最大径は22mmにもおよび小金井(1928)の指摘する縄文時代人に見られることがある巨大腭骨に相当すると思われる。

SK-38人骨

出土状態

人骨の遺存状況は極めて悪く、上下の歯列と一部(写真2-2)の長官骨の輪郭がわかる程度なので、正確な埋葬方法は不明である。上下の歯列の方向から顔を上に向けた頭位方向が北の仰臥で、膝の関節が強く折り曲がった状態から屈葬だと思われる。

遺存状態

人骨は極めて脆く、糊状を呈していたので、人骨と思われる範囲を土ごと取り上げ、研究室で乾燥させたのち、土を除去したが、砕片化が著しく、部位の同定できたものはない。

年齢

上下の歯列の状況から見て乳歯から永久歯への生え変わりの時期ではなく、永久歯だけになった年齢段階、12歳には達していたと思われる。それ以上の詳細は不明である。

性別

性別を判断できる部位が遺存していないため、不明である。

まとめ

西張平遺跡から出土した2体の人骨は、いずれも遺存状態が悪く、多少の肉眼的観察が可能な程度であった。しかしながらSI-31人骨には縄文時代人に見られることの多い特徴である外耳道骨腫と腭骨の槓状腭骨が観察された。

文献

- 池田 次郎 1985 海と山の縄文人—形態の地域差と時代差— 日本史の黎明 六興出版 29-59
 小金井良精 1928 扁平尺骨と巨大腭骨 人類学研究 9-11
 片山 一道 1998 縄文人の外耳道骨腫:その出現率の地域差と要因 櫻原考古学研究所論集13 591-609
 百々 幸雄 1972 北海道の古人骨にみられる外耳道骨腫 人類学雑誌 80 11-22
 野垣徳次郎 1939 海女に見られたる聴器障害について —その2—耳鼻咽喉科臨床 34 574-8-589



写真 1-1 SI-31 人骨右下顎齒列



写真 1-2 SI-31 人骨右側頭骨外耳道骨腫



写真2-1 SI-31人骨右上顎歯列



写真2-2 SK-38人骨出土状況（上下顎歯列）

第3節 西張平遺跡出土の火山灰について

弘前大学・理工学部・地球環境学科 柴 正敏

西張平遺跡より採集された、火山灰サンプル(34試料)について、以下の観察・分析を行った。これら試料について、超音波洗浄器を用いて水洗し、粘土鉱物など数マイクロメートル以下の粒子を除去した後、偏光顕微鏡を用いて、火山ガラスの有無、火山ガラスが存在する場合にはその形態、構成鉱物の種類を観察・記載した。その結果を表1に示した。火山ガラスは、その形態、屈折率、化学組成、共存鉱物などにより給源火山を推定することができる(町田・新井, 2003)。火山ガラスの化学組成を決定する方法として、近年、電子プローブマイクロアナライザー(以下EPMA)がもちいられるようになってきた。本報告では、3試料(試料14, 23及び34)についてEPMA分析を行った。使用したEPMAは弘前大学・機器分析センター所属の日本電子製JXA-8800RL、使用条件は加速電圧15 kV、試料電流 3×10^{-9} アンペアである。補正計算はZAF法に従った。

鉱物粒子の変質度や円磨度、さらにこれら試料に多種のテフラガラスが含まれることから、表1に示した試料No.4,6及び26を除く31試料は、テフラの再堆積物と考えられる。

褐色ガラス及び石英の存在により(表1)、試料No.14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25及び27の13試料には、十和田aテフラ起源のガラスが含まれる。試料No.14及び23に含まれるガラスのEPMA分析値を表2に示した。

軽石の発泡度、粒径及び層序より、試料No.6及び7は十和田bテフラ起源と推定される。29試料に、十和田中振、十和田南部及び十和田二の倉の各テフラ起源のガラスが含まれている(表1参照)。試料No.34を構成する十和田中振及び十和田南部テフラ起源ガラスのEPMA分析値を表2に示した。

表2には、試料No.14に認められる十和田二の倉テフラ起源のガラス組成を示した。Hayakawa(1985)によれば、十和田二の倉テフラは、K, J, I及びHの4ユニットに分けられ、最も初期に噴出したKユニットが最大の噴出量をもつ。表2に示した高木(2005)のデータは、このKユニットのガラスデータである。

試料No.3, 31, 32, 33及び34にはホルンブレンドが認められることより、基盤に存在する十和田八戸テフラの混入が示唆される。

(参考文献)

- Hayakawa, Y. (1985), Pyroclastic geology of Towada volcano, Bulletin of Earthquake Research Institute, vol. 60, 507-592.
 町田 洋・新井房夫(2003), 新編火山灰アトラス - 日本列島とその周辺 -, 東京大学出版会, pp.336.
 柴 正敏・重松直樹・佐々木 実(2000), 青森県内に分布する広域テフラに含まれる火山ガラスの化学組成(1).
 弘前大学理工学部研究報告, 第1巻, 第1号, 11-19.
 柴 正敏・中道哲郎・佐々木 実(2001), 十和田火山, 降下軽石の化学組成変化 - 宇樽部の一露頭を例として -,
 弘前大学理工学部研究報告, 第4巻, 第1号, 11-17.
 柴 正敏・佐々木 実(2006), 十和田火山噴出物のガラス組成変化, 月刊地球, 第28巻, 第5号, 322-325.
 高木幸典, (2005), 十和田カルデラ起源テフラの岩石学的研究. - カルデラ形成期以後の火山ガラス化学組成を中心に -, 弘前大学修士論文, pp.104.

表1 西張平道跡火山灰試料

試料No.	採取地点	単位	カラス及矽化物	カラスの組成	特記事項
1	区2トロンチ01	基本層IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
2	区2トロンチ01	基本層IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
3	区2トロンチ01	基本層IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Nb, To-Nk, To-H	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
4	区2トロンチ01	基本層IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Nk	斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
5	区2トロンチ04	基本層IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
6	区2トロンチ04	IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	斜石板子 (8mm~18mm), スコリア粒子
7	区2トロンチ01	IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (8mm~29mm)
8	第2号土坑	確認層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
9	第3号土坑	確認層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
10	第4号土坑	確認層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
11	第5号土坑	確認層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
12	第6号土坑	確認層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
13	第7号土坑	確認層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
14*	MF-90	火山灰確認層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
15	MF-90	火山灰確認層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
16	MF-90	火山灰確認層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
17	MF-90	火山灰確認層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
18	MF-90	火山灰確認層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
19	MF-90	火山灰確認層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
20	MF-90	火山灰確認層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
21	第11土坑	IV層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
22	NF-94	IV層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
23*	魚1	覆土	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
24	魚1	覆土	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
25	第34号穴付近の砂層部B	覆土	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
26	NN-98	基本層IV層	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
27	第29号穴付近	IV層	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-Ni	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm), 切片を含む
28	第31号穴付近	IV層	カラス (qm), 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
29	PI-29	覆土	カラス (qm), 斜長石, 石英, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (~5mm), 繊維状斜石を含む
30	第18号穴付近の砂層部B	覆土	カラス (qm), 斜長石, 輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
31	MF-83	覆土	カラス (qm, bw), 褐色ガラス, 斜長石, ホルンブレンド, 斜方輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-H	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
32	MF-83	覆土	カラス (qm, bw), 斜長石, ホルンブレンド, 斜方輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-H	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)
33	第11号穴付近	9層	カラス (qm, bw), 斜長石, ホルンブレンド, 斜方輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-H	再集塊, 斜石板子 (1mm~5mm)
34*	第18号穴付近	覆土	カラス (qm, bw), 斜長石, ホルンブレンド, 斜方輝石, 普通輝石, 鉄鉱	To-Cu, To-Nb, To-Nk, To-H	再集塊, 斜石板子, スコリア粒子 (1mm~5mm)

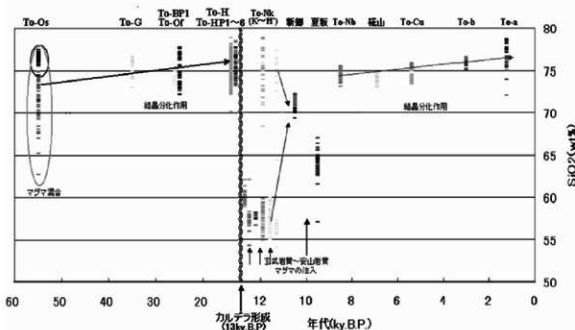
qm: 軽石部, bw: パルポール部, To: 十和田山系, To-Cu: 十和田中層部, To-Nb: 十和田前部, To-Nk: 十和田二の層子部, To-H: 十和田八甲子層

*: EPMA分析を行った試料を表す。

表2 西張平遺跡、火山ガラスのEPMA データ

十和田aテフラ										n	Total	EPMA	
試料番号	最小	最大	平均	標準偏差	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO*	MnO				MgO
試料番号14	最小	75.99	0.24	12.04	1.30	0.00	0.16	1.30	4.13	1.35			
MU-90	最大	78.54	0.38	13.80	2.02	0.18	0.54	2.04	4.92	1.66			
火山灰確認面	平均	77.26	0.29	12.71	1.61	0.10	0.37	1.71	4.46	1.49	5	100.58	WDS
	標準偏差	1.15	0.07	0.66	0.27	0.09	0.15	0.34	0.31	0.14			
試料番号23	最小	76.19	0.23	12.41	1.73	0.00	0.32	1.75	3.92	1.24			
品1	最大	77.13	0.52	13.33	2.14	0.21	0.70	2.12	4.78	1.55	18	99.79	WDS
覆土	平均	76.61	0.38	12.92	1.90	0.08	0.42	1.99	4.29	1.42			
	標準偏差	0.27	0.06	0.25	0.13	0.06	0.08	0.11	0.21	0.08			
青木・新井(2000)		77.75	0.36	12.73	1.62	0.09	0.38	1.81	3.90	1.37	19	98.41	WDS
十和田中撮テフラ										n	Total	EPMA	
試料番号	最小	最大	平均	標準偏差	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO*	MnO				MgO
試料番号34	最小	75.11	0.27	12.83	1.75	0.00	0.35	2.00	4.13	1.12			
第18号	最大	76.09	0.58	13.92	2.91	0.17	0.72	2.47	4.85	1.36			
壱穴住居跡	平均	75.49	0.44	13.26	2.29	0.09	0.52	2.27	4.40	1.26	5	99.62	WDS
覆土	標準偏差	0.43	0.12	0.45	0.41	0.07	0.16	0.20	0.28	0.10			
青木・新井(2000)		75.36	0.43	13.65	2.35	0.11	0.52	2.35	4.01	1.22	11	98.38	WDS
十和田南部テフラ										n	Total	EPMA	
試料番号	最小	最大	平均	標準偏差	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO*	MnO				MgO
試料番号34	最小	73.89	0.41	12.92	2.35	0.01	0.51	2.41	4.09	1.14			
第18号	最大	74.82	0.62	15.12	3.73	0.22	0.84	3.91	4.66	1.49			
壱穴住居跡	平均	74.24	0.46	13.71	2.50	0.11	0.58	2.71	4.39	1.30	14	99.83	WDS
覆土	標準偏差	0.37	0.06	0.37	0.13	0.06	0.07	0.15	0.20	0.10			
青木・新井(2000)		74.98	0.47	13.41	2.75	0.06	0.06	2.70	3.81	1.23	5	101.98	WDS
十和田二の倉テフラ										n	Total	EPMA	
試料番号	最小	最大	平均	標準偏差	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO*	MnO				MgO
試料番号14	最小	55.36	0.89	15.32	6.97	0.00	1.84	6.51	2.47	0.29			
MU-90	最大	61.52	1.23	20.53	11.21	0.19	4.05	9.76	3.92	0.72			
火山灰確認面	平均	58.42	1.15	17.10	8.62	0.12	2.91	7.84	3.31	0.54	5	102.29	WDS
	標準偏差	2.41	0.15	2.04	1.68	0.08	0.92	1.23	0.53	0.17			
高木(2005)		59.98	0.93	16.69	7.28	0.14	2.50	8.39	3.53	0.57	20	89.4	WDS
To-Nk(F-K)													

測定値は無水で100%になるように再計算したFeO*は全鉄をFeOとして計算したことを表す。
nは分析点の数、WDSは波長分散型のEPMAを意味する。



十和田奥瀬テフラから十和田aテフラに至る、ガラス組成の時系列 (柴、佐々木、2006)

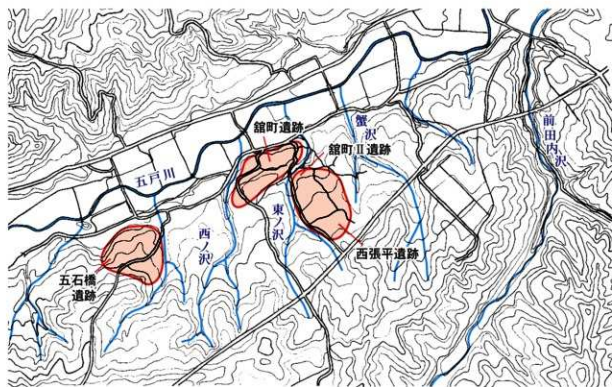
第5章 まとめ

第1節 遺跡周辺の地形

地形図からみた西張平遺跡は、五戸川と浅水川に挟まれた東西に延びる新郷丘陵に位置し、さらに五戸川に流れる東ノ沢と蟹沢に両側に挟まれ、北側に緩やかな傾斜がみられる場所に立地している。

調査区周辺には、大規模な長茅畑やニンニク畑が広がり、縄文時代前期の土器片を中心に数多くの遺物を表面採集できる。それらから、本遺跡の範囲は、遺跡台帳に登録されている範囲より南西側に幾分拡がると思われる。北側では縄文時代前期のほかに後期の土器片も数点ではあるが表面採集することができ、現に配石を伴った縄文時代後期の土器棺墓も発掘調査が行なわれている。(館町Ⅱ遺跡は、平成15年に刊行された『青森県遺跡詳細分布調査報告書』XVによりに遺跡の範囲変更が行なわれ、西張平遺跡内に組み込まれている。) 遺跡の東側と西側は、沢地の斜面を削平して埋め立て畑としているため詳細は不明である。

北西側の東ノ沢を隔てて館町遺跡(又重城跡)に隣接し、さらに南西よりの細沢を2本隔てた西側に縄文晩期の五石橋遺跡と続いている。これらの遺跡は河岸段丘上の標高120～150mの緩斜面上に位置し、地形からみた限り、西張平遺跡周辺に未登録の遺跡が存在する可能性は否定できない。



西張平遺跡周辺の地形 (S=1/25,000)

第2節 遺構の配置

発掘調査において、農道部分の下部は十和田b降下火山灰のプライマリーな堆積がみられ、極めて遺構や遺物の遺存状態が良く、縄文時代前期から中期の捨て場区域や盛り土区域が検出されている。

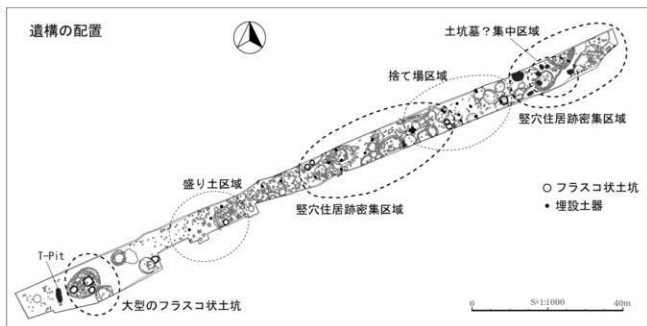
だが、調査区周辺の畑地は長芋やにんにくを中心とする大規模な耕作が行われているため、トラクター(耕作機械による溝跡)によって地表からおよそ1.5mの深さまで縦横に攪乱されており、掘り込みの浅い遺構はほとんど残存していない可能性が高い。

検出した遺構の配置は、縄文時代前期中葉から中期前葉にかけて、竪穴住居跡の密集する区域、大型のフラスコ状土坑がみられる区域、土坑墓？がつくられる区域、埋設土器や溝状土坑(落し穴)がつくられる区域というように、調査区内の配置にまとまりがみられる。さらに、竪穴住居跡にも軸方向の同一性などが認められ、集落内での施設配置に規則性があったことが考えられる。

しかし、発掘調査した面積は、西張平遺跡の遺跡範囲(およそ16万㎡)に比べあまりにも規模的に小さく、今回の線的な調査のみで遺跡の全容は捉えることはできない。だが、調査面積に対する検出遺構数と出土遺物量からみれば、青森市三内丸山遺跡や八戸市(旧南郷村)畑内遺跡に匹敵するような縄文時代前期中葉から中期前葉にかけての大集落の可能性が高い。

また、縄文時代前期末葉に多くの埋設土器がつくられるが、土坑墓との関連について不明である。

集石遺構はその構造上から縄文時代前期中葉から後葉にかけての石蒸し焼き施設と考えられるが、類例が少なく今後の資料の増加が望まれる。



第3節 竪穴住居跡

調査で検出された39軒の竪穴住居跡の時期は、いずれも縄文時代前期中葉から前期前葉にかけて構築あるいは廃棄されたものである。

竪穴住居跡の多くが、拡張や建替えなどの重複を確認でき、特に調査区の東側は切り合いが激しく、本来見られるはずの中振浮石層(中央部から西側では中振浮石が1mほど堆積している)と南部浮石層が欠落している区域が認められるほど重複している。また、建替えの中には、一回り縮小されて構築されているものもあり、構築する際に中振浮石層のみられない部分を掘り込むことで流れ込む浮石を排除し手間を省いた可能性が考えられる。その際、掘り込んだ堆積土の中から出土した土器などが捨て場や盛り土として形成されたと推定される。

その竪穴住居跡の配置については、第2節で触れているが、前期中葉ころから小型の竪穴住居跡が点在して構築され、末葉にかけて東側を中心に拡がり、その後前期前葉にやや大型の住居跡が同一の軸方向をもってつくられていく傾向が読み取れる。

また、調査した竪穴住居跡は、調査区の幅が狭いため半数以上の住居跡が調査区域外に拡がり、その規模が推定できるものは全体の4割にも満たない。規模の計測できた竪穴住居跡の長径は2～8.5m、短径が2～6.4m、床面積は2.7～14.2㎡で、建物の軸方向は北東をとる傾向が窺われる。

竪穴住居跡の形態であるが、小型のものは比較的円形が多くで、大型化するにつれて隅丸長方形や楕円形が見られ、規格的には、床面積が6～8㎡の住居跡が多くみられる。

検出した炉には、地床炉、土器埋設炉、石囲炉などがあり、時期的に変化している。

柱穴は、主となる柱が2～6本の他、壁柱穴のものもみられ、柱穴が不明な住居も認められる。炉も柱穴もみられないものは、住居としての機能が低いものと考えられる。

各時期の竪穴住居跡の特徴を簡単に記載する。

・前期中葉 (円筒下層 a～b 式期)

規格的に小型で円形のものも多く、この形態は前期後葉までみられる。

周溝や壁柱穴があるものもないものがある。

主柱穴は2～4本あるいはみられない。炉は地床炉あるいはつくられない。

軸方向は北東をとるものが多い。

・前期後葉 (円筒 c 式期)

規格的にやや大型で、楕円形や長方形のものが構築され、第30号竪穴住居跡のように出入り口をもつ竪穴住居跡もみられる。

周溝や壁柱穴があるものもないものがある。

主柱穴は2～4本あるいはみられない。炉は地床炉あるいはつくられない。

軸方向は北東と北西に二分する。

・前期末葉 (円筒下層 d 式期)

規格的にやや大型で円形を基本とし、楕円形の竪穴住居跡もつくられる。

壁柱穴がしっかり作られ、主柱穴は4～6本あるいはみられない。

炉は地床炉あるいは土器埋設炉がつけられる。

軸方向は北東である。

・中期前葉（円筒上層 a 期）

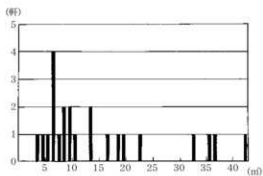
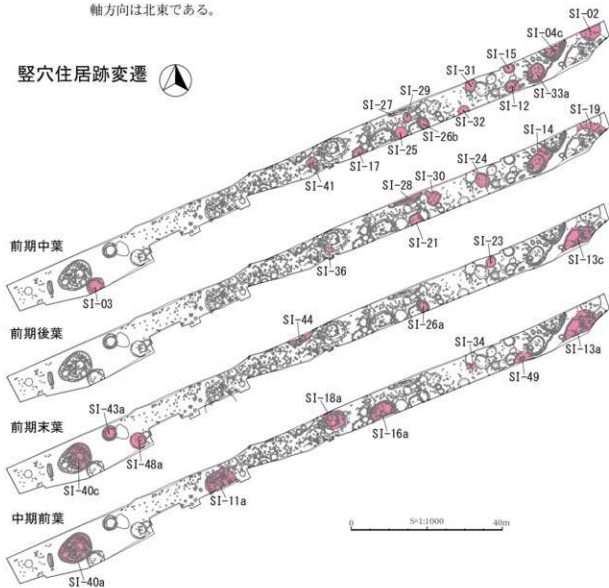
規模的にやや大型で楕円形あるいは円形の竪穴住居跡もつくられる。

壁柱穴と周溝がつくられ、支柱穴は4～6本である。

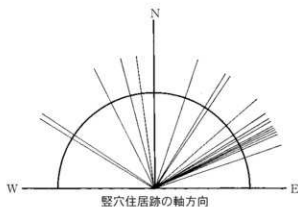
炉は地床炉あるいは土器埋設炉や石囲い炉がつくられる。

軸方向は北東である。

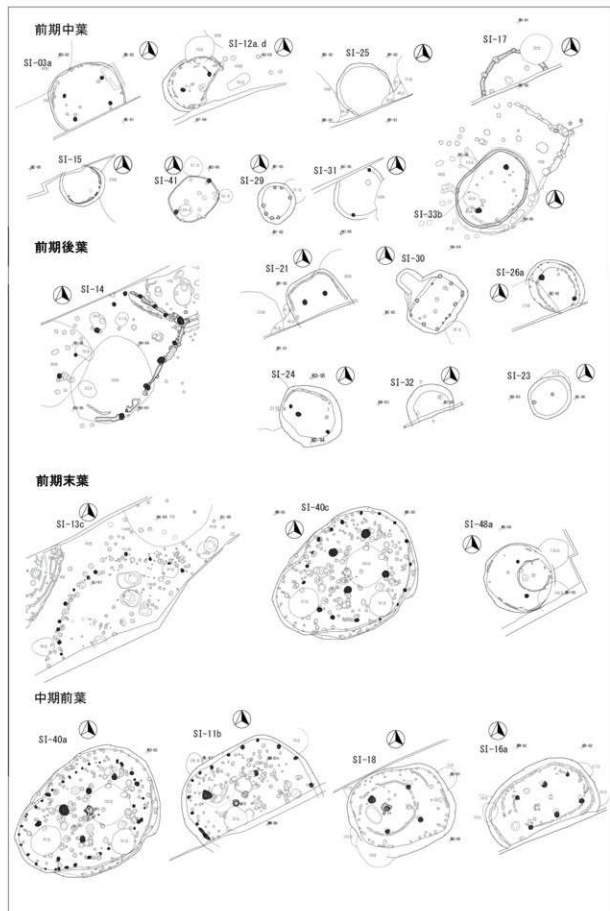
竪穴住居跡変遷



竪穴住居跡の床面積



竪穴住居跡の軸方向



第4節 縄文時代の土坑墓

調査において3体の人骨が竪穴住居跡と土坑(第416集『西張平遺跡』(遺構編)を参照)から出土している。遺構の形態や埋葬方法などがそれぞれ異なるため、時期別に記載する。

・縄文時代前期中葉(円筒下層a～b式期)

第31号竪穴住居跡から出土した人骨は、竪穴住居跡か竪穴遺構の掘り込みを利用または再利用したと思われる、堆積土状況から重複している可能性は低い。その出土状況は、頭蓋骨と寛骨にまたがって糊状の範囲が確認でき、寛骨、脛骨と検出されている。床面には、灰白色の粘土の範囲と部分的に遺骸を囲むように円筒下層a式の土器片が敷かれている。埋葬方法は、体を伸ばした伸展葬と推定でき、頭位方位はほぼ東方向である。

第38号土坑からの人骨は、円形または楕円形の土坑の底面から頭蓋骨と頸骨、寛骨、大腿骨、脛骨が検出されている。埋葬方法は、膝を折り曲げられている屈葬で、大腿部には、円筒下層b式期と思われる深鉢土器の大きな破片を被せていたと推定される。頭位方位は北方向である。

・縄文時代中期中葉(円筒上層d式期)

第55号土坑から出土した人骨は、隅が丸い長方形の土坑底面から頭蓋骨、南壁よりに脊柱と思われる灰白色の糊状範囲が確認されている。頭蓋骨の直下に枕とも考えられる打ち欠いた礫が置かれあり、さらに、その下に小ピットが掘られ、ほぼ完形の円筒上層d式期の土器が埋設されている。埋葬方法は、土坑の規模から屈葬と推定され、埋葬頭位は北東方向である。また、土坑の側面には奥行きが3～8cmほどのピットが13カ所にみられる。また、上部に配石を伴っていた可能性がある。埋葬遺構の形態や人骨の埋葬方法の相違は、時間的な違いと考えられ、それぞれ1基のみ検出されていることから断言はできないが、遺跡内に同様の土坑墓が存在する可能性は高いと考えられる。



第31号竪穴住居跡出土人骨

第5節 出土遺物

本遺跡で出土した遺物は、段ボール箱で約750個分である。ほとんどが縄文時代前期から中期にかけての土器や石器である。この中には前期末葉～中期初頭と思われる土偶も数点出土しているほか、円盤状土製品などの土製品や軽石製の石製品などもみられる。竪穴住居跡や土坑から出土した獣骨や魚骨などを含めて、簡単にまとめてみる。

土器 出土した土器の重量は約5,300kgで、遺構内が約1,600kg、遺構外が約3,700kgあり、遺構外のうち約70%が捨て場区域から出土した土器で占められている。

土器形式は、円筒下層a式から円筒上層a式までの前期中葉から中期前葉の土器が主体を占め、円筒上層b～e式、大木系の土器など僅かにみられる程度である。その割合は円筒下層a式が10%、円筒下層b式が17%、円筒下層c式が36%、円筒下層d1が10%、円筒下層d2が5%、円筒上層a式が20%、その他が2%である。

土器外面の施文される縄文原体の特徴として、縄文前期中葉における結節回転文はRのものが多く、その流れは単軸絡条体第1類にも引き継がれていく傾向がみられる。

無文土器が数点出土しているが、いずれも繊維も含んでおり、頸部に隆帯があるなどの特徴から、円筒下層b式からc式と考えられる。

およそ800点に及ぶ完形土器の中で、土器内部に仕切りをもつ土器が2個体出土した。その器形や施文から円筒下層bからc式と考えられるが、円筒土器文化圏の中でも、出土例等は少なく、用途などについては不明である。

土器の底部文様は、網代痕以外は、側面と共通する施文がみられるものもあり、網代の多くは、カヤなどの細い棒状なものを燃った紐で編み込んでいる。

円筒下層a式・b式の多くは八戸市南郷区(旧南郷村)畑内遺跡では口唇部に施文しているものが50%以上みられる。大日向Ⅱ遺跡では約24%、本遺跡では、掲載した円筒下層a式・b式土器のおよそ30%が口唇部に施文がみられる。これらは、地域差によるものなのかは不明である。

石器 出土した石器の重量は約1,172kgで、遺構内の剥片石器が約27kg、礫石器が約720kg、遺構外の剥片石器が約65kg、礫石器が約360kgである。

剥片石器の器種は、石鏃、石槍、石匙、石筥、石錘、楔形石器、異形石器、不定形石器(微少剥離のある剥片を含む)があり、その割合は遺構内で、不定形石器が78%、石鏃11%、石匙4%である。遺構外では、不定形石器がおよそ8割を占めている。礫石器には磨製石斧、敲磨器類、石皿・台石類、砥石があり、その割合は遺構内で、敲磨器類78%、石皿・台石類16%、磨製石斧6%、遺構外で敲磨器類84%、磨製石斧8%、石皿・台石類7%と、敲磨器類が約8割を占める。

剥片石器の石材は、大部分が珪質頁岩で、黒曜石、めのう、泥岩、玉髄質頁岩、チャートなどがみられるが少数である。礫石器では安山岩が44%で、以下流紋岩、石英安山岩、凝灰岩と続いており、他にもさまざまな石材を使用している。

出土した石鏃は、尖基や円基鏃から有茎凸基鏃に時期とともに変化することが読み取れる。

石匙については、時期とともに縦型から横型への変化は明確にみられない。

敲磨器類の大きさは、平均すると長さ約10cm、幅約7cm、厚さ約4cm、重さ約400gであり、手に持って使用するのに適当な大きさであることから、選別して搬入している可能性が高い。

石器の中で植物加工具とされる蔽磨器類＋石皿が占める割合は30%程度であり、植物資源の利用が大きいとは言いがたい。

土製品 縄文時代前期末葉の円筒下層d式期と思われる土偶が4点と中期前葉の円筒上層a式の土偶が3点出土している。

石製品 軽石や凝灰岩を含んだ製品は他の遺跡と比較してかなり多く出土している。軽石の中で、分銅状のものや穿孔されているものは、軽石の特性から浮きとして使われた可能性が高い。凝灰岩の中には面取りがみられ、岩版状のものもある。

右の写真は以前調査区周辺の畑で耕作により出土した石棒を、地主が奉ったもので、頭部にくびれを作出し、石質は安山岩である。この石棒と同一個体と思われるものが、第40号竪穴住居跡の床面から出土（図206-14）している。

獣骨 第26号竪穴住居跡の覆土中から鹿あるいは猪の骨が、第22号土坑の覆土中から雉やイタチなどの骨が出土している。ほかの竪穴住居跡からも種類が特定できない獣骨が出土している。

魚骨 第18号竪穴住居跡の石囲い炉内の土壌サンプルをフローテーションした結果、サケ科と思われる椎骨片が数点出土している。同じような魚骨は第24号竪穴住居跡や第22号土坑、第112号土坑からも出土している。その椎骨の形状から同じサケ科である大型のイワナやヤマメとも考えられるが、産卵のため、海岸線から25kmほどの内陸に遡上してくるサケを捕まえて食料としていた可能性も捨てきれない。

炭化種子・堅果類 竪穴住居跡の床面や埋土中から、クルミやクリなどの炭化した堅果類が出土している。

漆製品 第40号竪穴住居跡の床面から製品としての器種は不明であるが、漆製品と思われる破片が出土している。図示できなかったため写真(写真-40)のみを掲載している。

琥珀 第18号竪穴住居跡の床面から、原形が分からないほど砕けたコハク片が出土している。被熱や加工されたと思われる痕跡は確認できなかったが、ほとんどの径が5mm以下の破片で、総重量は0.7gである。図示できないため、写真(写真-40)のみ掲載している。

最後に発掘調査並びに報告書作成にご協力いただきました方々に心から感謝申し上げます。

(調査担当者)



調査区周辺に奉られている石棒

《引用・参考文献》

- 青森県 2002『青森県史 別編 三内丸山遺跡』青森県史編纂考古部会
- 青森県教育委員会 1978『熊沢遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第38集
- 青森県教育委員会 1993『富ノ沢(2)遺跡IV』青森県埋蔵文化財調査報告書第147集
- 青森県教育委員会 1996『泉山遺跡III』青森県埋蔵文化財調査報告書第190集
- 青森県教育委員会 1997『八釜久保(2)遺跡他』青森県埋蔵文化財調査報告書第212集
- 青森県教育委員会 1998『三内丸山遺跡IX』青森県埋蔵文化財調査報告書第249集
- 青森県教育委員会 2002『畑内遺跡VII』青森県埋蔵文化財調査報告書第326集
- 青森県教育委員会 2003『獅子神遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第339集
- 青森県教育委員会 2004『笹ノ沢(3)遺跡IV』青森県埋蔵文化財調査報告書第372集
- 青森県教育委員会 2005『特別史跡三内丸山遺跡年報8』
- 青森県教育委員会 2005『近野遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第394集
- 青森県教育委員会 2006『西張平遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第416集
- 青森県立郷土館 1995『木造町田小屋野貝塚』青森県立郷土館調査報告書第35集
- 大沼 克彦 2002『文化としての石器づくり』学生社
- 加藤晋平・鶴丸 俊明 1991『図録・石器入門事典〈先土器〉』柏書房
- 倉石村 1983『倉石村史』上巻・下巻 倉石村史編纂委員会
- 倉石村教育委員会 1997『葉師前遺跡』青森県三戸郡倉石村埋蔵文化財調査報告書第1集
- 倉石村教育委員会 1998『五石橋・館町遺跡』青森県三戸郡倉石村埋蔵文化財調査報告書第3集
- 倉石村教育委員会 1998『館町II遺跡』青森県三戸郡倉石村埋蔵文化財調査報告書第4集
- 五戸町教育委員会 2005『中市館跡V・馬場遺跡・八釜久保(2)遺跡・門前平遺跡』
五戸町埋蔵文化財調査報告書第6集
- 五戸町教育委員会 2006『駒袋(1)遺跡・駒袋(2)遺跡・幸神遺跡』
五戸町埋蔵文化財調査報告書第7集
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1998『大日向II遺跡発掘調査報告書』
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第273集
- 鈴木 道之助 1991『図録・石器入門辞典〈縄文〉』柏書房
- 石器技術会 編 2004『石器づくりの実験考古学』学生社
- 戸沢 充則 編 1994『縄文時代研究事典』東京堂出版
- 町田 勝則 1996『石器の研究法—報告文作成に伴う観察・記録法①—』
『長野県の考古学』(財)長野県埋蔵文化財調査センター
- 宮本 長二郎 1996『日本原始古代の住居建築』中央公論美術出版
- 村越 潔 1993『円筒土器文化』雄山閣出版
- 山内先生没後25年記念論集刊行会 1996『画龍点睛』山内清男先生没後25年記念論集

正誤表 第416集『西張平遺跡』(遺構編)

- P4: 図1 調査対象区域範囲
平成16年度・17年度調査範囲を3mm下に移動
- P40: 第13号a竪穴住居跡
〔壁・床面〕軸方向はN-28°・Eである→軸方向はN-28°・Eであると推定できる
- P50: 第16号c竪穴住居跡
〔位置〕NV~NX-90~91グリッド→MV~MX-90~91グリッド
- P57: 第18号b竪穴住居跡
〔検出状況〕重複するいずれの遺構よりも新しいが、一本住居跡は、第13号土坑より古く、第36号竪穴住居跡と第102号土坑より新しい。
- P65: 第21号竪穴住居跡
〔壁・床面〕軸方向はN-21°・Eである→軸方向はN-26°・Eである
- P68: 第24号竪穴住居跡
〔壁・床面〕軸方向はN-64°・Wである→軸方向はN-56°・Wである
- P71: 第26号a竪穴住居跡
〔壁・床面〕軸方向はN-61°・Wである→軸方向はN-58°・Wである
- P82: 第31号竪穴住居跡
〔小結〕縄文時代前期前葉に廃棄→縄文時代前期中葉に廃棄
- P101: 第40号a竪穴住居跡
〔位置〕NB~ND-81・82グリッド→MB~MD-81・82グリッド
〔壁・床面〕軸方向はN-55°・Eである→軸方向はN-58°・Eである
- P103: 第40号b竪穴住居跡
〔位置〕NB~ND-81・82グリッド→MB~MD-81・82グリッド
- P103: 第40号c竪穴住居跡
〔位置〕NB~ND-81・82グリッド→MB~MD-81・82グリッド
- P104: 第40号d竪穴住居跡
〔位置〕NC-82グリッド→MC-82グリッド
- P116: 第43号b竪穴住居跡
〔位置〕NE-83グリッド→ME-83グリッド
- P122: 第46号竪穴住居跡
〔検出状況〕本住居跡が第101号土坑よりも古く第47号住居跡と一本住居跡が第47号住居跡と第101号土坑よりも古く、第113号土坑・第115号土坑よりも土坑・第115号土坑よりも新しい。
- P124: 第48号a竪穴住居跡
〔検出状況〕本住居跡がいずれの土坑よりも古い。→本住居跡は第109号土坑よりは古く、第105号土坑より新しい。
- P128: 第48号b竪穴住居跡
〔位置〕本住居跡よりも古い。→削除
- P130: 土坑配置図
配置図上段の左下の36土→37土
- P131: 第9号土坑
〔検出状況〕第Ⅲ層上面で→第Ⅱ層上面で
- P131: 第10号土坑
〔検出状況〕第Ⅲ層上面で→第Ⅱ層上面で
- P143: 第27号土坑
(図83) → (図86)
- P143: 第28号土坑
(図83) → (図87)
- P154: 第38号土坑
〔小結〕縄文時代前期前葉に構築→縄文時代前期中葉に構築
- P157: 第45号土坑
(図95) → (図94)
- P193: 第115号土坑
〔出土遺物〕覆土から土器の破片(P1~5)が出土している。→本土坑に伴うと思われる遺物は出土していない
- P226: 図139 土器埋設遺構 土器観察表
1-4の分類欄 II-4 → II-2
- P227: 図140 土器埋設遺構 土器観察表
2-1の分類欄 II-4 → II-3
- P234: 図147 土器埋設遺構 土器観察表
9-2の分類欄 II-2 → II
- P264: 引用参考文献
倉石村 1983『倉石村』→倉石村『倉石村史』
- P338: 報告書抄録
にしたい → にしはりたい

豎穴住居跡 土器觀察表

図面番号	出土位置・単位	口部盛	口縁部	外部文様	胴部		分類	備考
					上半	下半		
図11	SE02層上	片取土	片取土		上半	下半	下層C	P.1
2	SE02層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層C	P.19
3	SE02層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
4	SE02層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
5	SE02層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.2
図31	SE03層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層C	P.10
2	SE03層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層C	
3	SE03層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層C	P.5
図41	SE04層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
2	SE04層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.11
3	SE04層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
4	SE04層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
5	SE04層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.3
6	SE04層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
7	SE04層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
図51	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	
2	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.120
3	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.68
4	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.153
5	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.187
図61	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.183
2	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.4
3	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.67
4	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.70
5	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.163
6	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.172
7	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.244-190
8	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.250
9	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.266
10	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.68+77
11	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.47
12	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.130
13	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.177
14	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.116
15	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.106
16	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.154
17	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.185
18	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.189
19	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.173
20	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.160
21	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.74
22	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.158
23	SE11層上	片取土	片取土	片取土	片取土	片取土	下層D	P.63

國際書目	冊上位置／單位	口部區	口部區	外部文卷		分類	備考
				上部	下部		
6	SI-13 後道					下部	P-405
7	SI-13 後道					下部	P-414
8	SI-13 後道					下部	P-414
9	SI-13 後道					下部	P-414
10	SI-13 後道					下部	P-414
11	SI-13 後道					下部	P-414
12	SI-13 後道					下部	P-414
13	SI-13 後道					下部	P-414
14	SI-13 後道					下部	P-414
15	SI-13 後道					下部	P-414
16	SI-13 後道					下部	P-414
17	SI-13 後道					下部	P-414
18	SI-13 後道					下部	P-414
19	SI-13 後道					下部	P-414
20	SI-13 後道					下部	P-414
21	SI-13 後道					下部	P-414
22	SI-13 後道					下部	P-414
23	SI-13 後道					下部	P-414
24	SI-13 後道					下部	P-414
25	SI-13 後道					下部	P-414
26	SI-13 後道					下部	P-414
27	SI-13 後道					下部	P-414
28	SI-13 後道					下部	P-414
29	SI-13 後道					下部	P-414
30	SI-13 後道					下部	P-414
31	SI-13 後道					下部	P-414
32	SI-13 後道					下部	P-414
33	SI-13 後道					下部	P-414
34	SI-13 後道					下部	P-414
35	SI-13 後道					下部	P-414
36	SI-13 後道					下部	P-414
37	SI-13 後道					下部	P-414
38	SI-13 後道					下部	P-414
39	SI-13 後道					下部	P-414
40	SI-13 後道					下部	P-414
41	SI-13 後道					下部	P-414
42	SI-13 後道					下部	P-414
43	SI-13 後道					下部	P-414
44	SI-13 後道					下部	P-414
45	SI-13 後道					下部	P-414
46	SI-13 後道					下部	P-414
47	SI-13 後道					下部	P-414
48	SI-13 後道					下部	P-414
49	SI-13 後道					下部	P-414
50	SI-13 後道					下部	P-414
51	SI-13 後道					下部	P-414
52	SI-13 後道					下部	P-414
53	SI-13 後道					下部	P-414
54	SI-13 後道					下部	P-414
55	SI-13 後道					下部	P-414
56	SI-13 後道					下部	P-414
57	SI-13 後道					下部	P-414
58	SI-13 後道					下部	P-414
59	SI-13 後道					下部	P-414
60	SI-13 後道					下部	P-414
61	SI-13 後道					下部	P-414
62	SI-13 後道					下部	P-414
63	SI-13 後道					下部	P-414
64	SI-13 後道					下部	P-414
65	SI-13 後道					下部	P-414
66	SI-13 後道					下部	P-414
67	SI-13 後道					下部	P-414
68	SI-13 後道					下部	P-414
69	SI-13 後道					下部	P-414
70	SI-13 後道					下部	P-414
71	SI-13 後道					下部	P-414
72	SI-13 後道					下部	P-414
73	SI-13 後道					下部	P-414
74	SI-13 後道					下部	P-414
75	SI-13 後道					下部	P-414
76	SI-13 後道					下部	P-414
77	SI-13 後道					下部	P-414
78	SI-13 後道					下部	P-414
79	SI-13 後道					下部	P-414
80	SI-13 後道					下部	P-414
81	SI-13 後道					下部	P-414
82	SI-13 後道					下部	P-414
83	SI-13 後道					下部	P-414
84	SI-13 後道					下部	P-414
85	SI-13 後道					下部	P-414
86	SI-13 後道					下部	P-414
87	SI-13 後道					下部	P-414
88	SI-13 後道					下部	P-414
89	SI-13 後道					下部	P-414
90	SI-13 後道					下部	P-414
91	SI-13 後道					下部	P-414
92	SI-13 後道					下部	P-414
93	SI-13 後道					下部	P-414
94	SI-13 後道					下部	P-414
95	SI-13 後道					下部	P-414
96	SI-13 後道					下部	P-414
97	SI-13 後道					下部	P-414
98	SI-13 後道					下部	P-414
99	SI-13 後道					下部	P-414
100	SI-13 後道					下部	P-414

國語書目	山上位章・補位	口號章	外圍文條	別處	上半	下半	分類	備考
2	SS-24 補上	口號文					互換打行	P-52
3	SS-24 補上	口號文					互換打行	P-52
4	SS-24 補上	口號文					互換打行	P-52
0057-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-154
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-154
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-11
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-58
0058-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-109
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-15
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-145
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-222
0059-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-55
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-146
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-78
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-21
0060-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-168
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-101
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-120
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-160
0061-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-164
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-5
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-5
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-6
0062-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-87
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-3
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-81
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-40
0063-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-101
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-54
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-42
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-139
0064-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-19
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-53
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-165
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-161
0065-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-5
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-5
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-5
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-106
0066-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-163
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-150
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-47
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-84
0067-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-36
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-33
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-23
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-90
0068-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-18
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-178
3	SS-24 補上	口號文					下條	P-10
4	SS-24 補上	口號文					下條	P-10
0069-1	SS-24 補上	口號文					下條	P-159
2	SS-24 補上	口號文					下條	P-159

図録番号	山上位置・傾度	口部径	口縁径	外面文様		分類	備考
				口部径	傾度		
0	S5-30 1層					下層C	P-1~27
0	S5-30 1層					下層D	
図126 1	S5-31 1層	電位研削	L:R+R1, 粗車1層 R:粘	溝帯, 粗面(直徑1/5)	上半 L:R(車輪1層), 粘結部 下半	下層D 下層E 下層F 下層G 下層H 下層I 下層J 下層K 下層L 下層M 下層N 下層O 下層P 下層Q 下層R 下層S 下層T 下層U 下層V 下層W 下層X 下層Y 下層Z	P-10 縞筋式7 P-18 P-8 P-1 P-10 P-3 P-3 下層Q 下層R 下層S 下層T 下層U 下層V 下層W 下層X 下層Y 下層Z
2	S5-31 1層	研削	R:粘			下層D	
3	S5-31 1層	研削	R:粘			下層D	
4	S5-31 1層	竹管押圧	R:粘, L:R(車輪1層) R:粘	溝帯-L:R(車輪1層)		下層D	
図127 1	S5-32 1層					下層D	
2	S5-32 1層					下層D	
3	S5-32 1層					下層D	
4	S5-32 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
5	S5-32 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
6	S5-32 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
7	S5-32 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
8	S5-32 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
図128 1	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
2	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
3	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
4	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
5	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
6	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
7	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
8	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
9	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
10	S5-30 1層	L:R(車輪1層)	R:粘			下層D	
図129 1	S5-32 1層					下層D	
2	S5-32 1層					下層D	
3	S5-32 1層					下層D	
4	S5-32 1層					下層D	
5	S5-32 1層					下層D	
6	S5-32 1層					下層D	
7	S5-32 1層					下層D	
8	S5-32 1層					下層D	
9	S5-32 1層					下層D	
10	S5-32 1層					下層D	
図130 1	S5-40 1層					下層D	
2	S5-40 1層					下層D	
3	S5-40 1層					下層D	
4	S5-40 1層					下層D	
5	S5-40 1層					下層D	
6	S5-40 1層					下層D	
7	S5-40 1層					下層D	
8	S5-40 1層					下層D	
9	S5-40 1層					下層D	
10	S5-40 1層					下層D	
図131 1	S5-40 1層					下層D	
2	S5-40 1層					下層D	
3	S5-40 1層					下層D	
4	S5-40 1層					下層D	
5	S5-40 1層					下層D	
6	S5-40 1層					下層D	
7	S5-40 1層					下層D	
8	S5-40 1層					下層D	
9	S5-40 1層					下層D	
10	S5-40 1層					下層D	
図132 1	S5-48 1層					下層D	
2	S5-48 1層					下層D	
3	S5-48 1層					下層D	
4	S5-48 1層					下層D	
5	S5-48 1層					下層D	
6	S5-48 1層					下層D	
7	S5-48 1層					下層D	
8	S5-48 1層					下層D	
9	S5-48 1層					下層D	
10	S5-48 1層					下層D	
図133 1	S5-60 1層					下層D	
2	S5-60 1層					下層D	
3	S5-60 1層					下層D	
4	S5-60 1層					下層D	
5	S5-60 1層					下層D	
6	S5-60 1層					下層D	
7	S5-60 1層					下層D	
8	S5-60 1層					下層D	
9	S5-60 1層					下層D	
10	S5-60 1層					下層D	

團體番号	出土位部・単位	口輪部	口輪部	外面文様		分類	備考
				上半	下半		
3	S5-110 甕土					下輪付	P.9
4	S5-100 甕土	RL 陶文	LR+RL 紅土文様	LR+RL 紅土文様	LR+RL 紅土文様	下輪付	P.9
5	S5-100 甕土	RL 陶文	LR+RL 紅土文様	LR+RL 紅土文様	LR+RL 紅土文様	下輪付	P.2
6	S5-100 甕土	RL 陶文	LR+RL 紅土文様	LR+RL 紅土文様	LR+RL 紅土文様	下輪付	P.2
7	S5-101 甕土					下輪付	P.1
8	S5-102 甕土					下輪付	
9	S5-103 甕土					下輪付	
図139-1	S5-106 甕土					下輪付	
2	S5-107 甕土					下輪付	P.1
3	S5-107 甕土					下輪付	P.2
4	S5-109 甕土					下輪付	P.1
5	S5-109 甕土					下輪付	P.1
7	S5-110 甕土					下輪付	
8	S5-110 甕土					下輪付	
9	S5-111 甕土					下輪付	
10	S5-111 甕土					下輪付	
図140-1	S5-111 甕土					下輪付	P.30 (HSS-01)
2	S5-111 甕土					下輪付	P.33 (HSS-01)
3	S5-111 甕土					下輪付	P.11
4	S5-111 甕土					下輪付	P.12
図141-1	S5-112 甕土					下輪付	P.2・14 (HSS-22)
2	S5-112 甕土					下輪付	P.30・31・42・43 (HSS-22)
3	S5-112 甕土					下輪付	P.33 (HSS-22)
4	S5-112 甕土					下輪付	
5	S5-114 甕土					下輪付	
6	S5-114 甕土					下輪付	
7	S5-115 甕土					下輪付	P.14

PR群、集石1、楳群1 土器観察表

團體番号	出土位部・単位	口輪部	口輪部	外面文様		分類	備考
				上半	下半		
図142-1	M3-803 甕土					下輪付	PR群D9031-032
2	M3-803 甕土					下輪付	PR群D9031-032 P.1
3	M3-803 甕土					下輪付	PR群D9170 P.3
4	M3-808 甕土					下輪付	PR群D9060 P.1
5	M3-809 甕土					下輪付	PR群D9170 P.6
図143-1	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9028
2	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9028
3	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9012
4	M3-901 甕土					下輪付	PR群D9015
5	M3-901 甕土					下輪付	PR群D9070
6	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9090
7	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9061
8	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9089
9	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9091
10	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9091
11	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9091
12	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9091
13	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9015
14	M3-902 甕土					下輪付	PR群D9104

団地番号	出上位置・単位	口縁部	口縁部	外面文様		分類	備考
				上半	下半		
13	NA-952 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	内装部(1)31
14	NP-952 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	内装部(2)32
15	NS-944 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	内装部(1)67
17	NC-952 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	内装部(1)126
19	NC-944 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	内装部(1)140
20	NC-952 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	内装部(1)134
図144-1	SS-011 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-9
2	SS-011 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-7
3	SS-011 裏上	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-3
図146-1	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部
2	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部
3	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部
4	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部
5	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部
6	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部
7	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部
8	NP-952 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	欄部

捨て場区域 土器観察表

団地番号	出上位置・単位	口縁部	口縁部	外面文様		分類	備考
				上半	下半		
図147-1	MY-61 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-57
2	MY-61 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-56
3	NA-953 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-50
4	NA-953 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-78
5	NA-953 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-46
6	NA-953 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-61
7	MS-61 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-29
8	MS-61 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-76
9	MS-61 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-85
図148-1	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-101
2	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-105
3	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-119
4	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-111
5	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-23
6	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-48
7	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-72
8	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-33
9	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-33
10	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-33
11	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-33
図149-1	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-130
2	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-132-1,14
3	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-118
4	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-337
5	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-149
6	MY-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-154
図150-1	NA-63 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-138
2	MZ-62 裏側	口縁部	口縁部	上半	下半	下縁部	P-138

図面番号	出土位置・単位	口筒部	口筒部	外面文様		新透	分類	備考
				口筒部	側壁			
図108	1	LR側正	LR側正	側溝一帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-413
	2	MY 92 直壁中位	LR+LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-415
	3	MX 92 直壁上位	LR+LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-418
	4	MX 91 直壁下位	LR側正	側溝一帯	LR側正	LR側正	下壁	P-439
	5	MY 92 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR側正	LR側正	下壁	P-397
図109	1	MY 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-351
	2	MZ 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-350
	3	MZ 92 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-329
	4	MZ 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-381
	5	MZ 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-382
図109-1	1	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-386
	2	MZ 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-420
	3	MZ 92 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-387
	4	MZ 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-390
	5	MZ 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-391
図109-2	1	MZ 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-392
	2	MZ 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-399
	3	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-403
	4	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-398
	5	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-410
図110	1	LR側正	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-412
	2	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-413
	3	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-414
	4	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-417
	5	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-416
図110-1	1	NA 92 直壁中位	LR+LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-400
	2	NA 93 直壁中位	LR+LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-456
	3	NC 93 直壁中位	LR+LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-446
	4	NC 93 直壁下位	LR+LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-427
	5	NC 93 直壁中位	LR+LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-435
図110-2	1	NA 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-458
	2	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-450
	3	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-457
	4	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-458
	5	NA 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-464
図111	1	NA 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-470
	2	NA 92 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-464
	3	NC 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-464
	4	NC 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-477
	5	NA 92 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-468
図112	1	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-455
	2	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-455
	3	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-471
	4	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-471
	5	NA 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-472
図112-1	1	NA 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-476
	2	NA 92 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-476
	3	NA 93 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-476
	4	NA 93 直壁下位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-476
	5	NA 92 直壁中位	LR側正	側溝帯	LR+LR側正	LR側正	下壁	P-476

國際番号	出上位置・單位	口輪部	口輪部	外周文様	胴部		分類	備考
					上半	下半		
図151-1	NA53 首輪上位	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
2	ND55 首輪中位	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
3	NA94 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
4	NA92 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
図174-1	NA95 首輪中位	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
2	ND94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
3	ND94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
4	ND94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
5	NA91 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
6	MZ 62 首輪上位	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
図175-1	MY91 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
2	MY92 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
3	ND94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
4	ND94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
5	MY92 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
図176-1	ND94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
2	ND94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
3	MY92 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
4	MY91 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
5	NE94 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
6	MY92 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
7	NY94 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	
8	MY90 1層	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	下輪子	

盛り土区域 土器觀察表

國際番号	出上位置・單位	口輪部	口輪部	外周文様	胴部		分類	備考
					上半	下半		
図181-1	MY85 首輪	竹管押圧	竹管押圧	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
2	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
3	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
4	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
5	MY80 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
6	MY80 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
図182-1	MY86 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
2	MY86 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
3	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
4	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
5	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
6	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
図182-1	MY86 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
2	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
3	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
4	ND95 首輪上位	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
図184-1	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
2	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
3	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
4	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
5	MY85 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	
6	MH83 首輪	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	口輪部	上輪子	

図録番号	出土位置・単位	口部盛	口縁盛	外面文様		分類	備考
				上半	下半		
3	区1トロンチノ遺構					土曜付	
4	NY 92 遺構下位	L8 陶文	瓦面遺文・船付	瓦面遺文	瓦面遺文	瓦面遺文	区1トロンチノ遺構
5	MY 92 遺構下位	L8 陶文	L8 陶文	瓦面遺文・瓦面遺文	L8 陶文・瓦面遺文	瓦面遺文	P.138 付付土曜付
6	MT 90 遺構		瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	付付土曜
図1041	MZ 92 瓦層下位		瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	P.408-441 三足土曜付
4	OK1レンヂノ1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
4	MC 91 遺構		瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	
6	AK1トロンチノ遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
7	M 86 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
8	MA 92 遺構		瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	
9	MZ 93 瓦層中位		瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	
10	NP 94 遺構		瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	瓦面(ヘナナ字)	
11	NP 92 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
12	NP 93 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
13	Q1トロンチノ遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
14	NP 97 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
15	NP 93 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
16	MP 86 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
図1051	MP 86 遺構	L8 陶文	瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
2	ME 85 遺構	L8 陶文	瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
3	RC1トロンチノ41層	L8 陶文	瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
4	MT 90 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
5	MT 90 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
6	NY 95 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
7	RC1トロンチノ421層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
8	NA 92 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
9	RC1トロンチノ1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
10	NA 92 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
11	NA 92 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
12	MT 90 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
13	MT 90 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
14	MT 90 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
15	NC 94 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
16	NP 94 V層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
17	MX 91 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
18	MM 90 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
図1061	MP 93 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
2	NP 94 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
3	NP 94 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
4	MT 90 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
5	MS 80 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
6	ME 80 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
7	ME 84 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
8	NU 96 瓦層下位		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
9	MT 90 1層		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
10	MX 91 遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
12	MO 98 瓦層上位		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
13	SK1レンヂノ遺構		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	
14	MIX 92 瓦層中位		瓦面	瓦面	瓦面	瓦面	

竪穴住居跡 石器観察表

図版番号	出土位置	解位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
図7	SI-02	床面	5.1	2.9	1.1	8.1	I-3-A	埴貫頁岩	S-23
8	SI-02	覆土	3.5	3.5	0.8	11.6	I-3	埴貫頁岩	
9	SI-02	覆土	0.65	6.35	1.3	11.15	II-12-D	安山岩	
10	SI-02	覆土	8.2	5.4	2.7	185.7	II-11	緑色粗粒凝灰岩	S-11
11	SI-02	覆土	9.6	8.8	2.6	310.0	II-12-D	安山岩	S-14
図21	SI-02	覆土	13.3	8.5	4.8	509.8	II-12-C	成炭岩	S-8
2	SI-02	覆土	5.5	6.4	2.4	97.4	II-12-B	デイサイト	
3	SI-02	床面	9.9	9.45	5.3	555.9	II-12-C	成炭岩	S-26 焼熱による黒変あり
4	SI-02P03	覆土	24.5	16.25	5.9	4011.4	II-13	安山岩	S-1
5	SI-02	床面	26.5	14.8	15.7	3133.6	II-13	安山岩	S-22
図35	SI-03	覆土	10.0	8.3	2.3	231.9	II-12-D	安山岩	S-1
6	SI-03	覆土	11.0	7.1	3.4	309.2	II-12-D	細粒玄武岩	S-2
7	SI-03	覆土	12.5	7.3	4.3	462.5	II-12-D	安山岩	S-3
8	SI-03	覆土	14.3	8.0	4.1	561.7	II-12-D	デイサイト	S-4
図48	SI-04	覆土	4.3	1.15	0.45	1.7	I-1-C	埴貫頁岩	S-8
9	SI-04	床面	5.95	2.7	0.8	9.9	I-3-A	埴貫頁岩	S-6
10	SI-04	覆土	5.25	3.6	0.6	6.0	I-5-A	埴貫頁岩	
11	SI-04	床面	8.7	7.8	4.1	315.4	II-12-B	安山岩	断面磨き
12	SI-04	床面	13.8	8.4	4.9	768.3	II-12-B	安山岩	S-5
図22-6	SI-11	2層	2.7	1.6	0.5	1.5	I-1-A-11	埴貫頁岩	S-27 アスファルト付着
7	SI-11	3層	1.6	1.4	0.3	0.6	I-1-A-11	埴貫頁岩	
8	SI-11	1層	3.1	1.3	0.4	1.5	I-1-A-11	埴貫頁岩	S-20
9	SI-11	2層	3.6	1.9	0.55	3.1	I-1-A-11	埴貫頁岩	S-108
10	SI-11	4層	2.1	1.6	0.3	0.6	I-1-A-21	埴貫頁岩	S-129
11	SI-11	1層	2.2	1.6	0.3	0.8	I-1-A-21	埴貫頁岩	
12	SI-11	1層	3.6	1.5	0.7	2.9	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-56
13	SI-11	3層	3.45	1.7	1.7	5.2	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-11
14	SI-11	2層	4.0	1.4	0.9	4.0	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-29
15	SI-11	床面	3.35	1.3	0.9	2.4	I-1-B-21	玉髄質頁岩	S-35
16	SI-11	1層	3.2	1.3	0.7	1.6	I-1-B-21	頁岩	S-4
17	SI-11	2層	3.75	1.3	0.75	2.6	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-25
18	SI-11	2層	2.7	1.3	0.65	1.5	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-5
19	SI-11	1層	3.5	1.7	0.65	2.3	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-19
20	SI-11	床面	4.4	1.8	0.6	3.3	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-37
21	SI-11	2層	4.0	1.1	0.5	3.2	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-16
22	SI-11	1層	2.8	1.4	0.6	1.4	I-1-B-21	埴貫頁岩	
23	SI-11	1層	3.4	1.5	0.5	1.6	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-72
24	SI-11	床面	4.3	1.9	0.9	5.1	I-1-B-21	頁岩	S-38 焼けはじけあり
25	SI-11	1層	4.6	1.5	0.8	2.8	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-68
26	SI-11	1層	3.3	1.8	0.7	2.6	I-1-B-11	埴貫頁岩	S-28 アスファルト付着
27	SI-11	2層	2.65	1.5	0.6	1.4	I-1-B-21	玉髄質埴貫頁岩	S-15
28	SI-11	3層	2.5	1.7	0.75	1.7	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-96
29	SI-11	11層	4.95	2.2	0.9	8.3	I-1-B-21	埴貫頁岩	S-135
30	SI-11	1層	4.9	2.3	1.1	13.6	I-2-A	埴貫頁岩	S-90
31	SI-11	3層	8.3	2.5	1.3	18.0	I-3-A	埴貫頁岩	S-75
32	SI-11	8層	6.55	2.6	1.35	10.7	I-3-A	埴貫頁岩	S-138
33	SI-11	2層	4.85	3.7	1.4	16.3	I-3-A	埴貫頁岩	S-111
図23-1	SI-11	2層	5.7	2.6	1.4	19.0	I-4-A	埴貫頁岩	S-119
2	SI-11	1層	7.0	2.05	1.35	17.5	I-4-C	埴貫頁岩	S-60
3	SI-11	覆土	5.4	4.1	1.8	35.2	I-4-B	埴貫頁岩	
4	SI-11	1層	7.1	3.4	1.9	36.7	I-4-C	埴貫頁岩	S-2
5	SI-11	5層	5.0	2.85	1.5	19.5	I-4-C	埴貫頁岩	S-92
6	SI-11	1層	3.8	1.8	0.8	4.4	I-4-B	埴貫頁岩	
7	SI-11	2層	4.6	1.9	1.4	10.9	I-5-B	埴貫頁岩	
8	SI-11	1層	4.3	1.3	1.0	3.8	I-5-B	埴貫頁岩	
9	SI-11	1層	3.7	1.3	0.95	4.3	I-5-B	埴貫頁岩	
10	SI-11	3層	4.0	1.3	0.8	4.1	I-5-B	埴貫頁岩	
11	SI-11	3層	3.7	1.0	0.5	1.7	I-5-B	埴貫頁岩	S-101
12	SI-11	2層	4.7	2.0	0.6	4.5	I-5-A	埴貫頁岩	S-26
13	SI-11	3層	4.6	1.7	0.75	18.2	I-5-A	埴貫頁岩	
14	SI-11	2層	5.5	3.45	1.3	18.6	I-5-A	埴貫頁岩	
15	SI-11	覆土	2.5	3.5	1.2	13.0	I-6	埴貫頁岩	
16	SI-11	3層	3.8	4.7	1.2	27.0	I-6	埴貫頁岩	
17	SI-11	2層	3.6	4.6	2.2	38.4	I-6	埴貫頁岩	S-8
18	SI-11	11層	3.9	1.8	0.9	23.8	I-8	頁岩	S-136
19	SI-11	2層	3.9	2.3	1.2	26.5	I-8	頁岩	S-121
図24-1	SI-11	覆土	4.65	2.7	1.85	31.9	I-8	埴貫頁岩	
2	SI-11	1層	6.1	4.55	2.6	79.8	I-8	チャート	S-69
3	SI-11	3層	3.8	2.1	0.6	20.7	I-8	埴貫頁岩	S-128
4	SI-11	2層	4.05	2.7	1.2	11.7	I-8	埴貫頁岩	S-32
5	SI-11	覆土	4.25	2.5	1.15	9.3	I-8	頁岩	
6	SI-11	2層	4.4	2.3	1.2	9.6	I-8	埴貫頁岩	
7	SI-11	1層	3.5	2.8	0.9	3.9	I-8	埴貫頁岩	S-3
8	SI-11	2層	2.65	2.5	0.7	4.7	I-8	埴貫頁岩	
9	SI-11	1層	3.4	2.9	0.9	6.0	I-8	埴貫頁岩	
10	SI-11	覆土	2.8	2.6	1.3	10.3	I-8	埴貫頁岩	
11	SI-11	3層	3.3	3.2	0.7	6.2	I-8	頁岩	
12	SI-11	1層	10.2	5.8	2.9	152.5	I-8	頁岩	S-55
13	SI-11	1層	7.6	4.8	2.3	61.7	I-8	頁岩	S-46
14	SI-11	3層	6.6	2.3	1.1	9.6	I-8	埴貫頁岩	

図版番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分期	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
15	SE11	1層	6.0	2.65	1.1	13.2	1-8	頁岩	S-74
16	SE11	2層	4.2	2.9	1.1	6.9	1-8	埴貫頁岩	
図25-1	SE11Ph12	8層	4.2	1.8	0.8	2.0	1-8	頁岩	S-1
		2層	4.0	1.5	0.7	2.4	1-8	埴貫頁岩	S-1
2	SE11	1層	3.3	1.0	0.5	1.0	1-8	埴貫頁岩	S-65
4	SE11	覆土	5.2	4.2	1.4	31.9	1-8	埴貫頁岩	
5	SE11	3層	8.8	5.2	2.7	195.5	B-11	埴貫頁岩	S-45
6	SE11	2層	6.75	3.75	1.25	56.1	B-11	頁岩	S-114
7	SE11	1層	9.6	6.65	3.15	266.8	B-12-B	チャート	S-61 両面磨き
8	SE11	3層	7.25	5.9	6.4	454.5	B-12-A	チャート	S-5
9	SE11Ph15	覆土	7.6	8.6	4.0	336.4	B-12-B	チャート	S-1
10	SE11	1層	7.85	6.9	4.8	325.8	B-12-B	チャート	S-1
11	SE11	1層	9.2	8.9	3.8	358.7	B-12-B	安山岩	S-48
12	SE11	3層	17.0	5.4	3.6	446.5	B-12-C	流紋岩	S-39 両面磨き, 側面磨き
13	SE11	3層	10.25	8.1	6.4	785.8	B-12-A	チャート	S-4 両面磨き
14	SE11	2層	12.05	4.7	4.9	447.6	B-12-A	安山岩	S-31
15	SE11	2層	6.9	3.25	1.7	49.1	B-12-A	デイサイト	S-23
16	SE11	1層	5.6	7.5	2.1	121.4	B-12-C	デイサイト	S-52
図26-1	SE11	5層	11.7	6.5	3.0	308.3	B-12-A	流紋岩	S-85 両面磨き
		2層	8.5	4.9	3.7	241.7	B-12-A	安山岩	S-93
2	SE11	1層	4.2	3.1	3.2	65.8	B-12-A	チャート	S-57
4	SE11	1層	10.2	5.55	3.8	372.4	B-12-C	安山岩	S-102
5	SE11Ph12	2層	9.8	5.7	4.6	355.2	B-12-B	流紋岩	S-139 両面, 側面磨き
6	SE11	3層	6.8	6.75	4.3	297.1	B-12-C	デイサイト	S-97
7	SE11	11層	13.5	8.05	4.5	668.7	B-12-C	安山岩	S-137
8	SE11	1層	9.3	9.0	2.4	315.2	B-12-B	安山岩	S-84 両面磨き
9	SE11	2層	10.7	6.9	4.6	473.6	B-12-B	流紋岩	S-9
10	SE11	1層	8.4	5.4	4.6	290.8	B-12-A	チャート	S-50
11	SE11	1層	10.2	9.05	5.9	619.9	B-12-B	流紋岩	S-6
12	SE11	5層	8.6	8.0	4.0	384.8	B-12-D	断片玄武岩	S-94
13	SE11	2層	4.1	4.3	3.0	62.4	B-12-D	安山岩	
14	SE11	2層	6.7	6.45	3.3	225.1	B-12-D	閃緑岩	S-107
図27-1	SE11	5層	7.1	7.85	3.8	365.2	B-12-D	デイサイト	S-76
		2層	9.45	6.05	2.5	196.5	B-12-D	安山岩	S-130
3	SE11	1層	9.15	7.55	1.8	209.6	B-12-D	流紋岩	S-78
4	SE11	6層	10.4	8.5	3.8	444.5	B-12-D	安山岩	S-127
5	SE11	1層	10.95	8.8	3.7	110.0	B-12-D	安山岩	S-12
6	SE11	10層	7.04	6.6	2.5	106.3	B-12-D	デイサイト	S-104
7	SE11	2層	18.45	23.2	4.7	3023.2	B-13	デイサイト	S-12
8	SE11Ph12	7層	17.8	6.5	7.0	3406.2	B-13	安山岩	S-2
9	SE11	1層	15.3	15.2	9.8	2346.2	B-13	安山岩	S-3
図28-8	SE12	覆土	3.0	1.8	0.3	1.2	I-1-A,2)	埴貫頁岩	S-22
		9層	1.8	1.55	0.35	0.7	I-1-A,2)	埴貫頁岩	
10	SE12	床面	3.9	2.1	0.5	3.3	I-1-A,2)	埴貫頁岩	S-17
11	SE12	覆土	3.0	1.6	1.75	2.8	I-1-C	埴貫頁岩	S-23
12	SE12	覆土	2.6	1.5	0.7	2.0	I-1-C	埴貫頁岩	S-24
13	SE12	床面	3.7	6.1	1.3	16.8	I-3-B	埴貫頁岩	S-22
14	SE12	覆土	5.2	3.7	1.7	36.3	1-8	埴貫頁岩	
15	SE12	床面	20.9	24.0	6.9	5490.6	B-13	安山岩	S-18
16	SE12	覆土	3.05	2.3	1.5	13.3	1-6	埴貫頁岩	
17	SE12	覆土	2.8	2.9	1.6	11.2	1-6	埴貫頁岩	
18	SE12	覆土	13.1	6.1	3.5	334.1	B-12-C	流紋岩	S-19
図35-4	SE13	1層	3.3	1.3	0.3	1.1	I-1-D	埴貫頁岩	S-12
		1層	3.9	1.6	0.65	3.8	I-1-B,2)	埴貫頁岩	S-23
6	SE13	1層	4.0	2.4	0.9	5.3	I-4-C	頁岩	
7	SE13	1層	3.4	5.7	1.0	13.9	I-3-B	埴貫頁岩	S-1
8	SE13	1層	4.4	2.6	0.9	8.2	I-4-C	頁岩	
9	SE13	1層	7.4	2.6	1.5	26.1	I-4-C	埴貫頁岩	S-20
10	SE13	1層	7.3	2.9	1.7	25.5	I-4-C	埴貫頁岩	
11	SE13	1層	5.9	3.6	1.9	18.4	I-4-C	埴貫頁岩	
12	SE13	1層	3.9	1.7	0.6	3.4	I-5-A	埴貫頁岩	S-19
13	SE13	1層	3.1	1.5	0.65	2.2	I-5-B	埴貫頁岩	S-30
図36-1	SE13	1層	5.1	3.5	2.1	29.0	1-8	埴貫頁岩	S-54
		2層	4.0	2.4	0.9	5.1	1-8	埴貫頁岩	S-29
3	SE13	1層	5.7	3.8	1.6	31.8	1-8	埴貫頁岩	S-36
4	SE13	1層	4.3	3.0	2.0	24.3	1-8	埴貫頁岩	
5	SE13	1層	4.0	2.4	1.7	8.6	1-8	埴貫頁岩	
6	SE13	1層	4.3	4.9	2.0	33.7	1-8	埴貫頁岩	S-47
7	SE13	1層	2.8	1.5	0.7	2.7	1-8	埴貫頁岩	
8	SE13	1層	5.6	5.1	1.6	41.4	1-8	埴貫頁岩	
9	SE13	床面	5.5	5.6	3.0	88.7	1-8	埴貫頁岩	
10	SE13	1層	4.4	3.3	1.5	21.1	1-8	埴貫頁岩	S-90
11	SE13	1層	13.0	5.1	2.55	285.2	B-11	砂岩	S-66
12	SE13	1層	7.95	5.25	3.5	179.8	B-12-B	チャート	S-4
13	SE13	覆土	8.05	6.55	4.5	307.1	B-12-B	安山岩	S-65
14	SE13	1層	5.3	3.0	1.6	15.2	1-8	頁岩	S-9
15	SE13	1層	11.0	6.55	3.8	325.7	B-12-A	安山岩	S-50
16	SE13	1層	8.1	8.65	3.7	316.6	B-12-B	安山岩	S-10
17	SE13	覆土	10.6	7.5	4.9	527.0	B-12-B	安山岩	S-94 両面磨き
図37-1	SE13	1層	9.8	6.0	5.0	502.1	B-12-B	安山岩	S-38
		1層	9.3	8.2	4.6	392.5	B-12-A	チャート	S-56
3	SE13	1層	8.4	5.8	3.4	232.5	B-12-B	安山岩	S-17 両面磨き

図例番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
4	SE13	1層	10.15	7.4	4.4	335.9	B-12-B	凝灰質砂岩	S-63 両面磨き
5	SE13	1層	6.8	6.05	6.5	204.1	B-12-B	安山岩	S-64 両面磨き
6	SE13	1層	16.1	7.0	6.5	530.8	B-12-A	安山岩	S-59
7	SE13	1層	13.65	11.8	6.3	1476.8	B-12-B	砂岩	S-58
8	SE13	1層	13.4	10.6	7.5	137.15	B-12-B	安山岩	S-46
9	SE13	1層	23.1	15.8	15.2	2900.0	B-13	安山岩	S-69
10	SE13	1層	22.7	22.0	15.6	11000.0	B-13	安山岩	S-73
11	SE13	1層	8.9	7.46	6.5	565.9	B-12-B	安山岩	S-58
図38-1	SE13	1層	6.5	6.5	5.2	281.2	B-12-C	安山岩	S-13 2面磨き
2	SE13	1層	9.4	7.4	4.0	383.7	B-12-D	凝灰岩	S-77
3	SE13	1層	7.5	11.5	1.5	216.3	B-12-D	安山岩	S-34
図39-1	SE14	1層	3.1	2.1	0.5	2.1	I-1A-2)	瑤瑤頁岩	S-15
2	SE14	1層(確認面)	16.7	7.7	4.6	646.3	B-12-B	安山岩	S-11 両面磨き
3	SE14	1層(確認面)	16.6	7.8	3.3	369.0	B-12-B	安山岩	S-10 両面磨き
4	SE14	1層	5.9	7.5	2.1	121.5	B-12-D	安山岩	S-23
5	SE14	1層	6.85	5.5	3.8	172.1	B-12-C	凝灰岩	S-1
6	SE14	1層	11.4	8.5	3.3	371.2	B-12-D	安山岩	S-30
7	SE14	1層	27.5	23.9	13.3	10900	B-13	デイスサイト	S-12
8	SE14	1層	11.5	5.5	2.0	188.4	B-12-D	安山岩	S-14
9	SE14	1層	11.3	6.9	2.7	258.9	B-12-D	安山岩	S-26
図43-12	SE16	1層	3.9	1.7	0.8	3.4	I-1-B-11)	瑤瑤頁岩	S-40
13	SE16	1層	3.5	5.4	0.9	13.3	I-3-B	瑤瑤頁岩	S-3
14	SE16	1層	3.1	3.46	1.0	6.5	I-3-A	瑤瑤頁岩	
15	SE16	1層	4.25	3.8	0.8	8.3	I-3-A	瑤瑤頁岩	S-24
16	SE16	1層	3.4	1.3	0.55	2.0	I-8	瑤瑤頁岩	
図44-1	SE16	1層	2.8	3.1	0.95	9.4	I-6	瑤瑤頁岩	
2	SE16	1層	4.3	2.15	1.1	4.5	I-8	瑤瑤頁岩	
3	SE16	1層	13.5	4.7	3.0	293.6	B-11	砂岩	S-1
4	SE16	1層	12.15	5.0	3.7	323.1	B-12-C	安山岩	S-26
5	SE16	2層	9.7	7.83	7.1	724.3	B-12-B	安山岩	S-49
6	SE16	1層	5.7	5.2	4.1	165.8	B-12-B	安山岩	
7	SE16	2層	7.2	7.0	5.6	385.4	B-12-A	チャート	S-38
8	SE16	1層	10.5	6.1	3.9	380.5	B-12-B	安山岩	S-36 両面磨き
9	SE16	1層	7.9	5.7	4.3	272.8	B-12-B	凝灰岩	S-11 両面磨き
10	SE16	1層	11.0	8.4	4.8	794.6	B-12-B	凝灰岩	S-18
11	SE16	1層	9.3	4.3	6.7	386.5	B-12-B	安山岩	S-32
12	SE16	1層	6.9	2.0	2.2	102.1	B-12-B	凝灰岩	S-41
13	SE16	1層	9.05	6.9	4.6	380.6	B-12-E	安山岩	S-47
図45-1	SE16	1層	8.3	9.8	4.7	428.0	B-12-B	安山岩	S-4 両面磨き
2	SE16	2層	6.3	3.35	2.4	59.0	B-12-B	凝灰岩	
3	SE16	1層	9.9	3.8	1.7	80.2	B-12-D	凝灰岩	S-15
4	SE16	1層	12.6	7.8	4.9	544.0	B-12-D	デイスサイト	S-22
5	SE16	1層	8.3	5.6	2.8	180.6	B-12-D	安山岩	S-7
6	SE16	1層	8.3	8.3	3.1	379.1	B-12-D	粗粒玄武岩	S-51
7	SE16	2層	14.6	6.1	1.5	179.1	B-12-D	凝灰岩	S-39
8	SE16	1層	6.5	7.0	3.4	196.6	B-12-D	安山岩	
9	SE16	1層	16.6	6.4	4.2	671.0	B-12-A	凝灰岩	
10	SE16	1層	14.3	14.9	5.9	805.9	B-13	凝灰岩	S-34
図46-4	SE17	1層	5.7	5.5	2.1	42.5	I-8	瑤瑤頁岩	
5	SE17	1層	2.15	1.0	0.4	0.6	I-8	瑤瑤頁岩	
図49-1	SE18	1層	1.8	1.55	0.3	0.9	I-1A-2)	瑤瑤頁岩	
2	SE18	1層	2.8	1.6	0.6	2.2	I-1-C	瑤瑤頁岩	銅片9
3	SE18	1層	3.15	2.1	0.7	3.3	I-1-B-2)	瑤瑤頁岩	S-65
4	SE18	1層	3.8	2.0	0.6	3.1	I-1-B-1)	瑤瑤頁岩	S-40
5	SE18	1層	3.0	1.8	0.6	2.0	I-1-B-2)	瑤瑤頁岩	S-63
6	SE18	1層	3.0	1.5	0.55	1.8	I-1-B-2)	瑤瑤頁岩	銅片3 アスファルト付着
7	SE18	1層	3.0	1.3	0.4	1.5	I-1-B-2)	瑤瑤頁岩	
8	SE18	1層	3.1	1.9	0.6	2.9	I-3-A	瑤瑤頁岩	小型
9	SE18	1層	7.5	2.8	0.9	9.2	I-3-A	瑤瑤頁岩	S-45
10	SE18	1層	4.25	3.4	1.2	163.3	I-4-A	瑤瑤頁岩	S-64
11	SE18	1層	4.3	1.9	1.0	7.2	I-8	瑤瑤頁岩	S-36
12	SE18	1層	4.0	1.85	0.9	4.4	I-5-A	瑤瑤頁岩	銅片1
13	SE18	1層	4.5	2.7	0.7	9.0	I-8	瑤瑤頁岩	銅片15
14	SE18Pt45	1層	3.35	4.15	1.5	17.8	I-6	瑤瑤頁岩	
15	SE18	1層	5.65	1.05	0.7	8.0	B-11	緑色粗粒凝灰岩	S-55
16	SE18	1層	7.75	5.4	3.9	197.6	B-12-A	石炭	
17	SE18	1層	11.9	5.6	3.2	366.5	B-11	緑色粗粒凝灰岩	S-54
18	SE18Pt9	1層	9.7	8.1	4.2	422.2	B-12-C	安山岩	
19	SE18	1層	6.3	3.5	3.0	99.1	B-12-A	チャート	S-11
20	SE18	1層	6.5	5.45	1.4	91.7	B-11	緑色粗粒凝灰岩	S-67
21	SE18	1層	10.1	6.5	2.1	201.2	B-12-D	凝灰岩	S-12
22	SE18	1層	14.4	9.0	5.5	1007.5	B-12-D	凝灰岩	S-3
23	SE18	1層	10.6	6.6	2.8	198.1	B-12-C	凝灰岩	S-66
図52-7	SE21	1層	1.9	1.5	0.3	1.0	I-1A-2)	瑤瑤頁岩	
8	SE21	1層	2.95	2.1	0.5	2.7	I-1-C	瑤瑤頁岩	
9	SE21	1層	3.7	1.7	0.6	2.5	I-1-B-2)	瑤瑤頁岩	
10	SE21	1層	5.3	5.0	1.2	23.6	I-3-B	瑤瑤頁岩	S-9
11	SE21	1層	5.9	3.9	1.1	15.6	I-3-A	瑤瑤頁岩	S-19
12	SE21	1層	4.4	4.6	1.3	14.5	I-8	瑤瑤頁岩	
13	SE21	1層	3.0	2.6	0.9	6.8	I-8	主軸頁岩	
14	SE21	1層	3.1	2.55	0.8	4.5	I-8	瑤瑤頁岩	
図53-1	SE21	1層	4.7	3.5	1.1	15.8	I-8	瑤瑤頁岩	S-23

図号番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
2	SE21	確認面	4.6	3.5	1.0	12.3	1-8	埴貫瓦葺	
3	SE21	確認面	4.1	3.3	1.4	16.1	1-8	埴貫瓦葺	
4	SE21	確認面	3.4	3.45	1.6	16.1	1-8	埴貫瓦葺	
5	SE21	確認面	3.2	2.2	0.9	5.8	1-8	埴貫瓦葺	
6	SE21	確認面	2.6	2.5	0.9	3.0	1-8	埴貫瓦葺	
7	SE21	確認面	8.0	5.3	3.6	207.7	B-12 D	流紋岩	S-5
8	SE21	覆土	9.9	6.9	2.7	260.1	B-12 D	陶磁器	S-16
9	SE21	覆土	8.1	7.7	6.0	444.6	B-12 B	安山岩	S-27
10	SE23	覆土	3.7	1.6	0.4	2.1	I-1 A-2)	埴貫瓦葺	S-3
14	SE23	1層	8.9	6.2	5.9	472.6	B-12 B	安山岩	S-2
図71-5	SE24	覆土	3.0	1.6	0.55	2.0	1-1 C	埴貫瓦葺	S-11
	SE24	覆土	3.95	1.7	0.5	2.7	1-1 D	埴貫瓦葺	S-54
7	SE24	覆土	2.9	1.25	0.4	1.3	1-1 C	埴貫瓦葺	
8	SE24	覆土	2.6	1.2	0.4	1.2	I-1 B-2)	埴貫瓦葺	
9	SE24	確認面	3.15	1.5	0.6	2.1	1-3 A	埴貫瓦葺	S-7 小型
10	SE24	確認面	5.9	3.4	1.2	16.2	1-3 A	埴貫瓦葺	S-6
11	SE24	覆土	4.5	2.65	0.6	5.4	1-3 A	埴貫瓦葺	S-35
図72-1	SE24	覆土	7.0	3.9	1.2	23.5	1-3 B	埴貫瓦葺	S-60
	SE24	覆土	4.25	2.6	0.9	5.5	1-3 B	埴貫瓦葺	S-23
3	SE24	覆土	2.7	4.1	1.0	1.0	1-3 B	埴貫瓦葺	
4	SE24	覆土	3.4	3.5	1.6	17.7	1-4	埴貫瓦葺	
5	SE24	覆土	2.0	2.0	0.8	3.0	1-6	埴貫瓦葺	S-8
6	SE24	確認面	2.6	5.7	0.6	5.3	1-3 B	埴貫瓦葺	
7	SE24	覆土	4.5	3.2	1.3	16.0	1-8	埴貫瓦葺	
8	SE24	覆土	3.6	1.3	0.5	2.0	1-8	埴貫瓦葺	S-63
9	SE24	覆土	3.9	0.8	0.5	1.7	1-5 B	埴貫瓦葺	
10	SE24	覆土	7.5	1.9	1.3	10.8	1-8	埴貫瓦葺	S-36
11	SE24	覆土	6.8	4.1	1.9	46.1	1-8	埴貫瓦葺	S-13
12	SE24	覆土	6.0	3.85	1.4	28.7	1-8	埴貫瓦葺	S-15
13	SE24	覆土	5.0	2.0	1.4	23.0	B-11	緑色顔料凝灰岩	S-37
14	SE24	覆土	4.3	5.8	2.1	86.1	B-12 D	陶磁器	S-16
15	SE24	覆土	8.9	9.0	3.4	294.9	B-12 B	安山岩	S-40
16	SE24	覆土	9.05	4.46	6.8	373.8	B-12 B	安山岩	S-28
17	SE24	覆土	11.35	2.9	5.75	270.9	B-12 B	安山岩	S-31
18	SE24	覆土	10.4	8.3	1.3	178.5	B-12 D	流紋岩	S-10
19	SE24	覆土	8.9	3.5	3.2	394.0	B-12 B	安山岩	S-40
図73-1	SE24	覆土	11.4	8.65	2.3	285.0	B-12 C	安山岩	S-39
	SE24	覆土+東直	13.3	6.7	3.9	478.5	B-12 B	流紋岩	S-56-58
3	SE24	確認面	11.15	10.4	2.7	500.6	B-12 B	凝灰岩	S-2
4	SE24	覆土	13.05	8.5	2.6	459.2	B-12 B	安山岩	S-22
5	SE24	覆土	9.3	6.6	2.6	213.5	B-12 B	安山岩	S-41 陶磁器
図73-11	SE25	覆土	7.8	5.3	3.3	202.2	B-12 B	流紋岩	S-2
	SE25内凹	覆土	5.4	2.7	1.0	13.7	1-3 A	埴貫瓦葺	網付
図82-4	SE26	確認面	3.0	1.1	0.4	1.2	1-1 C	埴貫瓦葺	S-1
	SE26	確認面	4.0	1.2	0.5	2.1	1-1 C	埴貫瓦葺	S-7
6	SE26	確認面	2.6	1.1	0.5	1.1	1-1 C	埴貫瓦葺	S-15
7	SE26	確認面	3.2	1.6	0.7	3.1	1-1 D	埴貫瓦葺	S-14
8	SE26	確認面	6.2	1.6	0.7	5.3	1-1 C	埴貫瓦葺	S-11
9	SE26	覆土	2.9	1.5	0.4	1.4	I-1 B-2)	埴貫瓦葺	S-17
10	SE26	覆土	5.4	3.3	1.2	12.9	1-3 A	埴貫瓦葺	S-11
11	SE26	覆土	5.4	3.5	1.6	15.2	1-3 A	埴貫瓦葺	S-25
12	SE26	確認面	4.9	1.3	0.7	2.0	1-3 A	埴貫瓦葺	S-13 小型
13	SE26	覆土	6.1	2.3	0.8	9.3	1-3 A	埴貫瓦葺	S-17
14	SE26	覆土	2.9	2.0	0.9	4.0	1-8	埴貫瓦葺	
15	SE26	確認面	4.8	6.2	1.2	20.3	1-3 B	埴貫瓦葺	S-2
16	SE26	覆土	2.1	0.95	0.5	0.6	1-5 B	埴貫瓦葺	
図83-1	SE26	覆土	4.5	5.1	1.2	22.4	1-8	埴貫瓦葺	
	SE26	確認面	10.65	6.75	3.2	313.3	B-12 C	安山岩	S-8
3	SE26	確認面	10.3	7.2	2.6	261.4	B-12 D	デイサイト	S-12
4	SE26	覆土	12.65	6.8	2.3	297.2	B-12 A	流紋岩	
5	SE26	覆土	9.3	7.0	4.3	342.1	B-12 B	安山岩	
6	SE26	覆土	7.2	2.75	5.1	111.3	B-12 B	安山岩	
7	SE26	覆土	11.3	7.3	1.5	229.6	B-12 D	流紋岩	S-10
8	SE26	確認面	11.5	7.3	2.3	259.5	B-12 D	デイサイト	S-6
図85-3	SE28	覆土	4.1	1.15	0.4	1.5	1-1 C	埴貫瓦葺	S-16
	SE28	覆土	3.7	1.65	0.55	2.3	I-1 B-2)	埴貫瓦葺	S-14
4	SE28	覆土	3.6	1.9	0.9	4.1	I-1 B-2)	埴貫瓦葺	S-13
5	SE28	覆土	4.1	2.3	0.6	5.3	1-4 C	埴貫瓦葺	S-19
7	SE28	覆土	5.3	5.1	1.7	34.8	1-8	埴貫瓦葺	
8	SE28	覆土	4.9	1.85	0.45	3.9	1-3 A	埴貫瓦葺	S-9
9	SE28	覆土	10.0	7.1	6.2	533.2	B-12 B	安山岩	S-3
10	SE28	覆土	43.8	31.8	18.2	3110.0	B-13	デイサイト	S-6
11	SE28	覆土	13.55	7.35	4.6	636.4	B-12 C	安山岩	S-12
図86-1	SE28	覆土	8.2	7.8	1.8	122.2	B-12 D	陶磁器	S-24
	SE28	覆土	11.7	7.5	3.6	369.4	B-12 D	安山岩	S-1
図86-9	SE29	覆土	3.9	2.3	0.6	3.7	1-8	埴貫瓦葺	網付
	SE29	覆土	4.45	3.0	1.0	11.6	1-8	埴貫瓦葺	
図91-6	SE30	覆土	2.5	2.1	0.55	2.3	I-1 A-1)	埴貫瓦葺	
図91-7	SE30	覆土	2.9	1.5	0.4	1.2	I-1 A-1)	埴貫瓦葺	
8	SE30	覆土	3.35	2.0	0.5	2.1	I-1 A-2)	埴貫瓦葺	S-11
9	SE30	覆土	2.3	2.1	0.4	1.5	1-8	埴貫瓦葺	
10	SE30	覆土	2.7	0.8	0.4	0.7	1-5 A	埴貫瓦葺	S-8

図面番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
11	SE30	覆土	3.9	1.4	0.6	2.3	I-3-A	埴原頁岩	SK 399から変更
12	SE30	覆土	3.1	2.15	0.7	5.1	I-8	埴原頁岩	
13	SE30	覆土	5.3	2.8	0.7	7.0	I-8	埴原頁岩	
14	SE30	覆土	10.0	5.6	1.1	66.9	II-12-D	安山岩	
15	SE30	覆土	6.0	5.8	2.5	110.3	II-12-D	安山岩	
図92-1	SE30	IV層上面	18.9	9.2	1.4	62.14	II-12-D	流紋岩	S-15
2	SE30	覆土	11.4	6.9	2.6	229.4	II-12-D	凝灰岩	S-4
3	SE30	覆土	4.45	2.15	3.1	35.6	II-12-A	安山岩	
図94-4	SE32	覆土	8.2	4.85	1.6	45.9	I-8	埴原頁岩	
5	SE32	覆土	6.85	5.6	3.1	139.8	II-12-B	凝灰岩	
6	SE32	覆土	9.5	8.1	4.3	438.0	II-12-C	安山岩	S-12
7	SE32	覆土	16.45	9.65	10.5	2068.6	II-13	安山岩	S-5
8	SE32	覆土	26.35	15.7	9.6	81.0	II-13	安山岩	S-4
図96-1	SE33	床下	3.2	1.65	0.4	1.4	I-1A-2)	埴原頁岩	
2	SE33	覆土	3.6	2.4	0.7	6.3	I-8	埴原頁岩	
3	SE33	覆土	11.9	8.2	2.9	413.3	II-12-D	安山岩	S-8
4	SE33	覆土	11.0	7.0	2.2	242.1	II-12-D	流紋岩	S-7
5	SE33	床下	8.5	7.1	2.4	504.0	II-12-D	閃緑岩	S-26
6	SE33	覆土	11.5	6.8	1.7	214.9	II-12-D	テイサイト	S-11
7	SE33	床下	10.0	7.1	2.0	200.0	II-12-D	安山岩	S-31
8	SE33	床下	13.7	7.5	3.7	502.9	II-12-D	安山岩	S-28
9	SE33	覆土	18.7	14.7	6.7	2044.9	II-13	流紋岩	S-9
10	SE33	覆土	18.3	12.25	7.20	2739.8	II-13	安山岩	S-10
11	SE33	覆土	7.0	5.96	2.7	105.1	II-12-D	安山岩	S-14
図98-4	SE36	覆土	4.6	1.75	1.7	7.7	I-1B-2)	埴原頁岩	
5	SE36	覆土	2.6	1.9	0.4	1.8	I-8	埴原頁岩	
図99-5	SE37	覆土	2.8	1.0	0.45	1.7	I-1-D	埴原頁岩	S-3
6	SE37	覆土	4.5	1.7	0.8	3.6	I-1B-2)	埴原頁岩	S-11
7	SE37	覆土	7.85	1.1	1.2	6.9	I-8	埴原頁岩	S-2
8	SE37	覆土	3.0	2.5	0.4	2.9	I-8	埴原頁岩	
9	SE37	覆土	8.5	6.3	2.2	144.0	II-12-D	安山岩	S-14
10	SE37	覆土	9.6	6.85	4.3	384.9	II-12-B	流紋岩	S-15
11	SE37	覆土	5.3	2.25	1.55	16.7	I-8	頁岩	S-10
図102-7	SE40	覆土	3.0	1.6	0.5	1.8	I-1A-2)	埴原頁岩	S-10
8	SE40	覆土	3.0	1.4	0.55	1.7	I-1A-2)	埴原頁岩	S-9
9	SE40	3層	2.8	1.5	0.7	2.1	I-1-D	埴原頁岩	S-7
10	SE40	床面	3.5	1.4	0.5	2.1	I-1-D	埴原頁岩	S-89
11	SE40	覆土	3.4	1.7	0.45	2.1	I-1-D	埴原頁岩	S-11
12	SE40	1層	3.9	1.3	0.5	1.8	I-1B-2)	埴原頁岩	S-2
13	SE40	床面	5.4	3.0	1.9	25.3	I-4-C	埴原頁岩	S-83
14	SE40	6層	6.0	2.85	1.6	24.2	I-4-C	埴原頁岩	S-72
15	SE40	3層	5.3	2.3	1.25	10.7	I-5-A	埴原頁岩	S-5
16	SE40	3層	4.8	1.9	1.3	9.7	I-5-A	埴原頁岩	S-26
17	SE40	覆土	5.0	1.3	1.15	5.9	I-5-B	埴原頁岩	S-1 055から変更
18	SE40	床面	6.2	4.5	1.6	35.8	I-8	埴原頁岩	S-68
図103-1	SE40	5層	3.0	3.3	1.7	17.2	I-6	埴原頁岩	
2	SE40	覆土	6.6	8.8	2.1	81.2	I-8	頁岩	
3	SE40	3層	4.9	2.6	0.9	7.6	I-8	頁岩	S-1
4	SE40	覆土	5.5	5.4	2.3	65.9	I-8	頁岩	
5	SE40	3層	4.3	3.6	1.0	13.0	I-8	埴原頁岩	
6	SE40	覆土	4.5	2.5	0.8	7.2	I-8	埴原頁岩	S-21
7	SE40	床面	8.6	8.3	4.2	355.8	II-12-B	緑色凝灰岩	S-87 磨り切り石質の転用品
8	SE40	粘土下	7.35	7.4	4.3	301.4	II-12-A	安山岩	S-12
9	SE40	覆土	8.6	7.3	3.0	259.0	II-12-A	安山岩	S-12
10	SE40	覆土	10.2	7.95	3.4	302.8	II-12-A	流紋岩	S-14 崩壊跡
図104-1	SE40	床面	15.5	9.0	6.3	1345.3	II-12-B	流紋岩	S-34
2	SE40	確認面	10.9	6.9	5.7	728.2	II-12-B	安山岩	S-1
3	SE40石調砂	確認面	9.7	7.4	2.5	260.6	II-12-B	流紋岩	S-4
4	SE40	床面	11.45	6.95	3.9	489.6	II-12-B	安山岩	S-85 崩壊跡
5	SE40	3層	7.9	4.4	3.4	292.3	II-12-C	粗粒玄武岩	S-6
6	SE40	床面下	10.9	8.05	3.6	414.7	II-12-B	安山岩	S-93
7	SE40E109	覆土	9.85	6.6	4.9	367.3	II-12-B	流紋岩	
8	SE40	6層	8.2	6.2	3.5	254.0	II-12-A	チャート	S-71
9	SE40	床面	9.6	9.15	2.6	431.8	II-12-B	流紋岩	S-69
10	SE40	5層	8.0	4.7	4.3	171.2	II-12-A	チャート	S-29
11	SE40	粘土下	11.7	7.75	2.7	357.1	II-12-D	粗粒玄武岩	S-98
12	SE40	床面	13.2	8.7	2.5	214.9	II-12-D	流紋岩	S-25
図105-6	SE43	覆土	8.35	6.4	3.15	197.3	II-12-D	安山岩	S-14
2	SE40	床面	8.8	6.5	2.7	253.6	II-12-D	粗粒玄武岩	S-65
3	SE40	床面直上	7.5	5.65	2.3	107.1	II-12-D	流紋岩	S-30
4	SE40	1層	8.65	7.0	3.6	297.7	II-12-D	砂岩	S-4
5	SE40	5層	7.7	9.45	2.0	177.6	II-12-D	安山岩	
図105-11	SE41P29	覆土	2.9	1.5	0.6	2.5	I-1B-2)	埴原頁岩	
図106-9	SE42	確認面	2.8	1.9	0.5	1.7	I-1A-2)	埴原頁岩	S-1
10	SE42	確認面	11.25	9.55	3.0	513.1	II-12-B	安山岩	S-7
図108-6	SE43	覆土	2.9	1.3	0.5	1.1	I-1B-2)	埴原頁岩	S-14
7	SE43	覆土	14.0	5.2	3.5	338.1	II-12-B	安山岩	S-24
8	SE43	覆土	14.85	5.55	3.1	394.0	II-12-D	閃緑岩	S-6
9	SE43	1層	3.2	4.2	1.7	22.5	I-8	頁岩	S-1
図109-10	SE44	覆土	2.25	1.5	0.4	0.8	I-1A-1)	凝灰岩	
11	SE44	床面	2.85	1.2	0.5	1.4	I-1B-2)	埴原頁岩	S-13
12	SE44	1層	3.45	1.2	0.7	2.5	I-1B-2)	埴原頁岩	S-10

図録番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
13	SE44	覆土	6.35	2.4	1.1	9.7	I-5-A	珪質頁岩	S-4
14	SE44	横断面	3.85	1.9	0.9	5.3	I-5-A	珪質頁岩	
15	SE44	覆土	2.8	1.4	0.6	1.6	I-8	頁岩	
16	SE44	覆土	3.8	4.0	0.9	5.9	I-8	珪質頁岩	
図111-7	SE47	覆土	1.9	1.0	0.3	0.8	I-1-A-2	珪質頁岩	S-3
8	SE47	覆土	4.1	6.2	1.5	25.3	I-3-B	珪質頁岩	S-1
9	SE46	覆土	10.3	10.2	2.8	342.9	II-12-D	安山岩	S-1
図113-8	SE48	覆土	3.2	1.6	0.4	1.6	I-1-A-2	珪質頁岩	S-14
9	SE48	1層	3.6	1.4	0.7	1.9	I-1-B-2	珪質頁岩	S-5
10	SE48	覆土	4.9	2.1	1.0	6.5	I-3-A	珪質頁岩	S-10
11	SE48	覆土	5.4	3.1	1.1	15.9	I-8	頁岩	S-11
図114-1	SE48	1層	2.75	2.9	0.9	4.0	I-8	珪質頁岩	S-13
2	SE48	覆土	7.5	2.4	1.4	45.5	II-11	緑色凝灰岩	S-12
3	SE48	1層	4.5	2.0	1.2	15.4	II-11	緑色凝灰岩	S-3
4	SE48	覆土	10.05	8.95	3.4	37.0	II-12-B	安山岩	S-15 両面磨き
5	SE48	2層	8.9	4.9	2.4	17.4	II-11	緑色凝灰岩	S-7
6	SE48	覆土	10.4	7.05	1.7	188.5	II-12-D	流紋岩	S-17
7	SE48	床面	12.05	7.4	3.2	394.9	II-12-D	流紋岩	S-21
8	SE48	1層	9.5	7.25	3.0	242.0	II-12-D	粗粒玄武岩	S-22
9	SE48	2層	10.4	9.5	2.9	378.5	II-12-D	安山岩	S-6
10	SE48	覆土	15.45	7.75	2.6	536.3	II-12-D	安山岩	S-19
図115-5	SE49	2層	3.1	1.7	0.5	1.8	I-1-B-2	珪質頁岩	S-26 アスファルト付着
6	SE49	床面	4.4	1.7	1.0	4.8	I-1-B-2	珪質頁岩	S-16
7	SE49	1層	5.0	3.8	1.1	20.6	I-8	珪質頁岩	S-7
8	SE49	覆土	9.6	6.35	3.0	252.2	II-12-B	安山岩	S-15 両面、両側面磨き
9	SE49	床面	9.2	7.4	6.0	540.3	II-12-B	安山岩	S-25 両面磨き
10	SE49	覆土	7.5	5.15	2.65	101.3	II-12-B	安山岩	S-14
11	SE49	1層(横断面)	7.5	3.3	3.3	121.5	II-12-B	安山岩	S-8
12	SE49	床面	16.4	9.2	4.8	730.9	II-12-D	デイズイト	S-12
13	SE49	1層(横断面)	8.25	7.65	2.15	199.1	II-12-D	流紋岩	S-2

土坑 石器観察表

図録番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
図118-5	SK-15	1層	3.6	1.3	0.85	2.6	I-1-B-2	珪質頁岩	S-23
6	SK-15	1層	2.55	1.5	0.4	1.6	I-1-B-2	珪質頁岩	S-19
7	SK-15	覆土	3.8	1.8	1.5	9.4	I-8	頁岩	S-8
8	SK-15	1層	3.9	3.4	1.3	19.8	I-6	珪質頁岩	S-2
9	SK-15	1層	6.6	5.2	3.1	152.4	II-11	緑色凝灰岩	S-15
10	SK-15	底面	4.9	1.55	0.9	12.4	II-11	凝灰岩	S-2
11	SK-15	1層	6.0	6.6	4.8	197.4	II-12-B	安山岩	S-14
12	SK-15	1層	11.7	10.4	4.3	639.5	II-12-B	安山岩	S-23
13	SK-15	1層	10.05	8.8	3.7	343.3	II-12-D	安山岩	S-5
14	SK-15	1層	14.8	8.95	4.65	812.5	II-12-D	安山岩	S-19
15	SK-15	1層	8.95	8.15	1.8	240.4	II-12-D	デイズイト	S-16
図119-13	SK-21	底面	14.2	6.3	4.7	638.7	II-12-A	粗粒砂岩	S-1
図123-5	SK-22	覆土	2.9	1.9	1.1	3.6	I-1-B-2	珪質頁岩	S-1
6	SK-22	7層	6.0	3.0	1.1	14.1	I-3-A	珪質頁岩	S-8
7	SK-22	6層	5.35	2.9	1.7	17.2	I-8	珪質頁岩	S-1
8	SK-22	1層	9.7	4.0	1.4	98.4	II-11	ネールフェルス	S-6
9	SK-22	覆土	7.9	5.85	4.9	313.4	II-12-B	安山岩	S-19
10	SK-22	1層	7.4	7.55	5.1	279.5	II-12-B	安山岩	S-5
11	SK-22	6層	11.8	8.1	7.3	903.9	II-12-C	安山岩	S-7
12	SK-22	覆土	11.5	9.5	2.4	336.6	II-12-D	安山岩	S-2
図124-3	SK-25	覆土	2.2	1.3	0.45	0.8	I-1-A-1	珪質頁岩	S-1
図125-4	SK-29	1層	8.0	8.1	1.1	95.7	II-12-D	デイズイト	S-1
図127-9	SK-35	覆土	9.35	6.5	5.1	518.1	II-12-C	流紋岩	S-1
10	SK-35	覆土	4.5	1.8	0.8	4.9	I-1-B-2	珪質頁岩	S-2
図129-12	SK-36	覆土	2.1	1.5	0.4	0.7	I-1-B-2	珪質頁岩	S-13
13	SK-36	覆土	2.75	2.4	0.7	4.2	I-8	珪質頁岩	S-3
14	SK-36	覆土	6.35	5.4	1.75	49.1	I-8	珪質頁岩	S-6
15	SK-36	覆土	3.4	2.8	1.3	12.6	I-8	珪質頁岩	S-1
図130-1	SK-36	横断面	14.1	7.1	7.6	109.3	II-12-B	流紋岩	S-11
2	SK-36	覆土	9.2	7.9	2.1	268.4	II-12-D	安山岩	S-10
3	SK-36	覆土	10.2	6.6	2.3	193.9	II-12-D	凝灰岩	S-1
4	SK-36	覆土	12.3	8.1	2.5	252.0	II-12-D	流紋岩	S-2
図130-7	SK-37	覆土	10.0	6.9	5.2	337.5	II-12-B	デイズイト	S-3
8	SK-37	覆土	15.7	6.3	4.3	597.2	II-12-C	流紋岩	S-4
図131-7	SK-43	覆土	7.1	3.0	1.4	21.3	I-8	珪質頁岩	S-1
図131-9	SK-45	底面	4.0	1.4	0.7	2.5	I-1-B-2	珪質頁岩	S-2
図131-10	SK-45	底面	13.9	8.7	6.1	1100.0	II-12-B	デイズイト	S-3 両面磨き
図132-6	SK-52	覆土	7.75	6.85	6.1	201.9	II-12-B	安山岩	S-2
図134-9	SK-79	覆土	13.4	9.9	3.2	490.0	II-13	安山岩	S-1
図135-3	SK-81	1層	6.2	11.9	3.9	285.7	II-14	砂岩	S-6
図135-12	SK-85	覆土	2.6	1.5	0.75	2.4	I-1-B-2	珪質頁岩	S-1
図137-6	SK-97	断面直上	4.15	4.5	2.7	67.3	II-12-A	粗粒玄武岩	S-2
図138-10	SK-103	覆土	5.1	4.4	1.2	45.2	II-12-D	デイズイト	S-1
図139-6	SK-109	覆土	7.4	6.7	3.1	229.4	II-12-D	流紋岩	S-1
図140-5	SK-111	覆土	6.65	2.8	1.0	14.1	I-3-A	珪質頁岩	観測2
6	SK-111	覆土	2.9	1.5	0.5	1.8	I-5-A	珪質頁岩	観測12
7	SK-111	覆土	5.4	3.3	1.3	26.6	I-4-C	珪質頁岩	観測1

図版番号	出土位置	解位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
8	SK-111	覆土	3.1	3.1	0.65	4.9	I-8	埴貫瓦葺	
9	SK-111	覆土	8.3	5.7	3.3	284.3	II-11	緑色凝灰岩	S-8
10	SK-111	覆土	8.95	6.55	3.4	291.9	II-12 C	安山岩	S-3

Pit群・集石・礫群1 石器観察表

図版番号	出土位置	解位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
図142-6	Pit群C	覆土	7.1	2.65	1.1	12.4	II-12 A	埴貫瓦葺	
	Pit群C	1層	12.9	6.7	5.3	647.4	II-12 B	安山岩	両面磨き
	Pit群C	覆土	12.1	7.9	6.3	675.3	II-12 B	デイスサイト	S-1
9	Pit群C	覆土	3.8	3.4	3.1	68.9	II-12 D	安山岩	S-1
	Pit群D	覆土	6.1	1.4	0.7		I-5 B	埴貫瓦葺	
図144-5	集石1	確認面	8.7	9.3	9.2	110.4	II-12 A	安山岩	S-94
	集石1	確認面	13.8	9.3	4.5	865.8	II-12 C	安山岩	S-16
	集石1	確認面	14.85	6.2	7.7	951.4	II-12 A	安山岩	S-58
	集石1	確認面	12.8	16.0	7.1	1298.9	II-13	デイスサイト	S-97
図145-1	集石1	確認面	12.5	9.7	10.0	1659.9	II-12 B	安山岩	S-100
	集石1	確認面	17.1	12.5	10.1	2876.6	II-12 B	安山岩	S-95
	集石1	確認面	15.7	12.1	5.0	1319.3	II-12 B	安山岩	S-129
	集石1	確認面	8.3	12.0	3.7	612.9	II-12 B	安山岩	S-46
	集石1	確認面	19.7	15.9	11.7	4794.6	II-13	安山岩	S-43
	集石1	確認面	18.3	16.35	12.3	4750.0	II-13	安山岩	S-116
	集石1	確認面	19.1	10.1	15.1	3279.6	II-13	安山岩	S-74
図146-9	礫群1	笠層	10.1	7.25	5.2	552.6	II-12 B	安山岩	S-7
	礫群1	笠層	5.9	4.95	3.6	146.3	II-12 A	安山岩	S-23
	11	礫群1	16.0	7.75	1.85	188.1	II-12 D	閃緑岩	S-19
	12	礫群1	9.55	10.3	3.1	654.1	II-12 B	安山岩	S-3
	13	礫群1	14.4	9.15	5.1	913.0	II-12 B	凝灰岩	S-12
	14	礫群1	13.8	6.5	3.9	359.9	II-12 D	安山岩	S-36
	15	礫群1	5.4	8.2	3.3	186.9	II-12 D	閃緑岩	S-64

捨て場区域 石器観察表

図版番号	出土位置	解位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考	
			長さ	幅	厚さ					
図177-1	MY-92	笠層	2.5	1.15	0.4	0.8	I-1 A-D	埴貫瓦葺	S-17	
	MZ-92	笠層	2.4	1.9	0.5	1.7	I-1 A-D	埴貫瓦葺	S-37	
2	MY-92	笠層	3.1	1.9	0.5	3.0	I-1 A-D	埴貫瓦葺	S-22	
4	NC-94	穴層上面	4.5	1.9	0.5	3.2	I-1 A-2	埴貫瓦葺	S-27	
5	NA-93	穴層上面	3.2	2.5	0.4	2.4	I-1 A-2	埴貫瓦葺	S-10	
6	NA-94	穴層上面	3.1	1.5	0.3	1.6	I-1 D	埴貫瓦葺	S-9	
7	MY-92	笠層	3.5	1.6	0.5	2.3	I-1 C	埴貫瓦葺	S-4	
8	MZ-93	笠層	3.1	1.2	0.4	1.9	I-1 C	埴貫瓦葺	S-1	
9	ND-94	笠層	4.55	1.5	0.35	1.8	I-1 D	埴貫瓦葺	S-19	
10	MY-92	笠層	6.7	2.5	1.4	20.2		不明	S-15	
11	NC-94	穴層上面	7.1	2.4	1.1	15.2	I-3 A	埴貫瓦葺	S-26	
12	MX-92	笠層	7.3	1.9	1.0	10.9	I-3 A	埴貫瓦葺	S-4	
13	NA-93	笠層	8.1	2.15	1.0	14.6	I-3 A	埴貫瓦葺	S-5	
14	MX-91	笠層	9.1	2.0	1.1	11.7	I-3 A	埴貫瓦葺	S-14	
15	MZ-93	笠層	5.5	2.1	0.7	6.3	I-3 A	埴貫瓦葺	S-11	
16	ND-93	笠層下位	5.2	1.15	0.8	4.1	I-3 A	埴貫瓦葺	S-16	
17	MY-92	笠層	6.15	2.6	0.7	9.4	I-3 A	埴貫瓦葺	S-16	
18	NC-94	笠層	2.8	2.1	0.7	3.3	I-3 A	埴貫瓦葺	S-24	
19	ND-94	笠層	2.5	2.25	0.5	0.7	I-3 B	埴貫瓦葺	S-5	
20	NC-94	笠層	5.8	3.0	0.7	11.3	I-3 B	埴貫瓦葺	S-22	
21	NA-93	穴層上面	3.1	3.05	0.6	2.7	I-3 B	埴貫瓦葺	S-16	
22	MY-92	笠層	4.9	2.7	0.75	7.0	I-3 A	埴貫瓦葺		
23	MZ-93	笠層	3.0	5.2	1.0	8.8	I-3 B	埴貫瓦葺		
24	MX-92	笠層下位	3.1	3.0	0.8	8.5	I-3 B	埴貫瓦葺	S-9	
25	MY-92	笠層	4.8	2.6	1.0	6.9	I-3 A	埴貫瓦葺	S-18	
26	MY-91	笠層	8.5	3.5	2.05	58.6	I-4 A	埴貫瓦葺	S-18	
図178-1	MZ-92	笠層	4.5	2.5	1.0	7.4	I-4 C	埴貫瓦葺		
	2	MZ-93	穴層上面	6.5	2.9	1.4	22.8	I-4 A	瓦葺	S-16
	3	MZ-93	笠層	8.8	3.2	1.55	39.5	I-4 C	埴貫瓦葺	S-8
	4	MW-91	1層	2.9	1.65	0.4	3.8	I-5 A	瓦葺	S-12
	5	ND-94	笠層	3.5	1.8	0.75	3.4	I-5 A	埴貫瓦葺	
	6	MX-92	笠層	3.55	1.2	0.7	2.3	I-5 B	埴貫瓦葺	S-5
	7	MY-92	笠層	3.9	0.9	0.5	1.8	I-5 B	埴貫瓦葺	
	8	NA-93	笠層	3.3	1.2	0.35	0.8	I-5 A	埴貫瓦葺	S-7
	9	MX-92	1層	3.5	1.3	0.65	2.3	I-5 A	埴貫瓦葺	
	10	MZ-92	笠層	3.3	1.6	0.6	2.5	I-5 A	埴貫瓦葺	S-55
	11	MZ-92	笠層	5.1	1.4	0.8	4.9	I-5 B	埴貫瓦葺	S-50
	12	MZ-92	笠層	4.9	3.3	1.0	13.6	I-8	埴貫瓦葺	S-18
	13	MZ-93	笠層	5.5	6.5	4.2	155.9	I-10	瓦葺	
	14	MY-92	笠層	4.8	1.4	0.65	2.9	I-7	埴貫瓦葺	S-9
	15	NA-93	笠層下位	2.7	0.6	0.4	0.7	I-8	埴貫瓦葺	
	16	NA-92	笠層下位	3.8	4.3	1.9	30.9	I-6	瓦葺	
	17	ND-93	笠層下位	5.9	4.1	0.8	15.2	I-8	瓦葺	S-8
18	ND-93	笠層	3.5	2.5	1.0	6.5	I-8	埴貫瓦葺	S-12	
19	MZ-92	笠層	4.8	2.0	0.6	3.6	I-8	瓦葺		
図179-1	NA-92	笠層上位	11.5	4.7	4.2	271.8	II-12 A	安山岩	S-15	

図例番号	出土位置	解位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
2	MZ-93	IV層上面	13.7	7.0	3.9	513.9	B-12-A	安山岩	S-18
3	NE-93	Ⅲ層	10.95	7.5	2.6	268.9	B-12-B	安山岩	S-1
4	NI-93	Ⅲ層	16.8	12.8	8.7	1678.6	B-14	凝灰岩	S-12
5	NC-93	Ⅲ層	18.8	7.5	3.3	560.0	B-12-D	安山岩	S-12
6	NI-93	IV層上面	16.7	8.0	2.6	473.1	B-12-D	凝灰岩	S-1
7	MZ-92	Ⅲ層	16.0	7.5	2.9	510.0	B-12-D	粗粒玄武岩	S-54
図180-1	ND-93	Ⅲ層	1.49	5.6	2.7	220.8	B-12-D	砂岩	S-7
	NA-94	Ⅲ層	13.4	8.3	3.35	490.7	B-12-D	粗粒玄武岩	S-4
3	MZ-92	Ⅲ層	19.1	9.9	3.9	981.0	B-12-D	安山岩	S-52
4	MY-92	Ⅲ層	13.3	8.9	2.3	329.0	B-12-D	デイスサイト	
5	MZ-93	Ⅲ層	9.9	7.1	2.3	208.5	B-12-D	粗粒玄武岩	S-6
6	NA-94	Ⅲ層	14.7	8.5	2.6	203.8	B-12-D	安山岩	S-8
7	NA-94	Ⅲ層	11.1	5.0	1.85	135.1	B-12-D	砂岩	S-7
8	MZ-92	Ⅲ層	9.5	6.1	2.3	160.0	B-12-D	安山岩	S-48

盛り土区域 石器観察表

図例番号	出土位置	解位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
図189-1	MI-85	Ⅲ層(盛土)	2.5	1.4	0.4	1.4	I-1-C	埴原頁岩	S-18
	MI-84	Ⅲ層(盛土)	2.6	1.4	0.5	1.6	I-1-C	埴原頁岩	S-2
3	MI-84	Ⅲ層(盛土)	2.9	2.1	0.7	4.8	I-1-C	埴原頁岩	S-6
4	MI-84	Ⅲ層(盛土)	2.55	1.2	0.4	0.7	I-1-C	埴原頁岩	S-6
5	MI-86	Ⅲ層(盛土)	3.5	1.6	0.7	3.5	I-1-D	埴原頁岩	S-4
6	MI-85	Ⅲ層(盛土)	4.3	1.5	0.5	2.8	I-1-D	埴原頁岩	S-4
7	MI-85	Ⅲ層	3.7	1.7	0.6	2.1	I-1-B-D	埴原頁岩	S-3
8	MI-85	Ⅲ層	8.3	1.7	1.0	13.2	I-2-B	埴原頁岩	S-13
9	MI-85	Ⅲ層(盛土)	8.0	3.1	1.0	30.6	I-3-A	埴原頁岩	S-15
10	MI-85	Ⅲ層	3.0	1.95	0.9	2.2	I-5-A	埴原頁岩	
11	MI-85	Ⅲ層(盛土)	1.5	2.2	0.5	0.6	I-7	形礫石	S-16
12	MI-85	Ⅲ層(盛土)	3.6	4.7	1.0	8.6	I-3-B	埴原頁岩	S-9
13	MI-84	Ⅲ層	11.4	10.4	5.5	805.0	B-12-C	安山岩	S-14
14	MI-86	Ⅲ層	13.1	8.7	3.8	439.7	B-12-B	安山岩	S-1
15	MI-86	Ⅲ層(盛土)	11.2	6.9	2.7	276.9	B-12-D	粗粒玄武岩	S-7
16	NI-85	Ⅲ層(盛土)	10.25	6.0	2.4	205.1	B-12-D	凝灰岩	S-9

遺構外 石器観察表

図例番号	出土位置	解位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
図200-1	MR-90	Ⅲ層	2.25	1.7	0.4	1.1	I-1-A-1)	埴原頁岩	S-2
	NI-95	I層	3.05	1.75	0.65	2.2	I-1-A-1)	埴原頁岩	
3	NC-93	Ⅲ層	5.4	2.2	0.6	5.7	I-1-A-1)	埴原頁岩	SK-02から変更
4	MW-91	Ⅲ層	1.8	1.4	0.2	0.6	I-1-A-2)	埴原頁岩	S-2
5	MN-88	Ⅲ層	2.55	1.3	0.6	1.3	I-1-B-2)	埴原頁岩	S-3
6	AI6トレンチ	I層	3.3	1.5	0.4	1.6	I-1-B-2)	埴原頁岩	
7	MI-88	Ⅲ層	3	1.45	0.5	1.3	I-1-D	埴原頁岩	
8	MZ-92	I層	2.2	1.85	0.5	1.9	I-1-B-2)	埴原頁岩	
9	MY-92	I層	3.9	1.75	0.7	2.9	I-1-B-1)	埴原頁岩	
10	Ⅲ区トレンチ04	Ⅲ層	6.9	1.5	0.8	6.0	I-2-B	埴原頁岩	
11	MV-91	I層	2.8	5.7	1.0	8.6	I-3-B	埴原頁岩	
12	Ⅲ区トレンチ02	I層	3.1	3.45	1.05	11.1	I-3-B	埴原頁岩	
13	Ⅲ区トレンチ05	I層	4.5	2.5	1.25	13.1	I-4-B	埴原頁岩	
14	NI-96	Va層	5.3	2.8	1.3	20.8	I-4-B	頁岩	
15	SK6トレンチ01	I層	7.6	2.9	1.3	28.9	I-4-A	埴原頁岩	
16	SK6トレンチ02	I層	5.9	1.9	1.2	9.8	I-5-A	埴原頁岩	
17	MI-83	Ⅲ層	4.1	1.7	0.75	4.6	I-5-A	埴原頁岩	
18	MW-91	I層	3.4	1.9	0.6	3.8	I-5-A	頁岩	
19	MP-89	Ⅲ層	4.1	1.8	1.2	6.1	I-5-B	埴原頁岩	
20	NC-98	Ⅲ層	6.1	2.7	1.3	15.7	I-5-A	埴原頁岩	
21	NA-93	I層	3.4	3.1	1.1	10.3	I-5-A	形礫石	
22	NI-96	Va層	3.2	3.6	1.3	16.8	I-6	埴原頁岩	
23	NI-95	I層	11.5	7.3	2.9	543.7	B-12-C	安山岩	
24	NI-96	I層	10.8	6.0	3.4	291.9	B-12-C	安山岩	
図201-1	MO-88	Ⅲ層	11.2	6.3	2.4	293.9	B-12-A	粗粒玄武岩	
	MV-91	I層	13.6	7.0	4.3	554.0	B-12-C	台地安山岩	
3	SK6	表層	11.95	8.0	2.7	396.4	B-12-D	台地安山岩	
4	MV-92	Ⅲ層	10.3	5.8	4.0	335.8	B-12-C	安山岩	
5		表土	11.8	7.0	8.9	911.1	B-12-E	砂岩	
6	SK6	表層	8.8	12.2	5.9	911.0	B-12-E	砂岩	
7	NE-95	I層	27.7	23.4	13.0	9000.0	B-13	安山岩	
8	NI-92	I層	35.6	22.0	13.0	12000.0	B-14	デイスサイト	S-1

土偶観察表

図版番号	出土地点	層位	計測値(cm)			重量(g)	備考	
			長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)			
図202-1	SI-11	1層	(1.4)	(7.7)	3.2	242.5		
	2	MR-90	重層	(4.8)	(4.0)	2.2	31.7	
	3	MV-90	1層	(2.0)	(2.8)	0.9	3.0	
	4	MP-89	重層	(4.2)	(3.4)	1.2	8.7	
	5	SI-16	1層	(8.5)	(9.6)	1.8	113.4	C-1
	6	SI-40	覆土	(3.3)	(3.1)	1.1	9.9	P-6
	7	SI-40	5層	(5.3)	(5.3)	1.2	26.3	C-1
	8	SI-16	1層	(6.9)	(5.6)	2.7	47.4	C-2

円盤状土製品観察表

図版番号	出土地点	層位	計測値(cm)			重量(g)	備考		
			長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)				
図203-1	SI-18	覆土	(2.2)	4.3	1.1	15.4	有孔		
	2	SI-11	3層	3.4	3.4	0.9	9.7	有孔、縦格孔、円盤1	
	3	SI-11	3層	4.0	4.3	1.1	23.0	有孔、円盤2	
	4	SI-28	覆土	6.1	5.9	0.8	26.4	有孔、土製品1	
	5	SI-11	3層	4.1	4.5	1.2	22.8	有孔、C-1	
	6	SI-43	覆土	7.1	5.9	1.1	49.9	有孔	
	7	MG-83	重層	4.3	4.8	0.8	21.4	穿孔途中	
	8	SI-11	3層	2.4	2.7	1.2	9.6	穿孔途中	
	9	MI-84	重層	3.8	4.0	1.2	22.7	穿孔途中	
	10	SI-13	床成	2.0	2.1	0.9	2.8		
	11	SI-13	1層	2.2	2.1	1.1	5.8		
	12	SI-11	1層	2.0	2.2	0.9	4.9		
	13	ND-95	重層	2.2	2.5	1.0	4.2		
	14	SI-11	1層	2.2	2.0	1.2	6.0		
	15	MI-84	重層(跡土)	2.8	2.8	0.5	5.0		
	16	SI-40	胎床下	2.6	2.8	1.1	9.0	底面片利用	
	17	SI-40	胎床下	3.5	3.3	0.9	10.6		
	18	SI-48	覆土	3.5	3.4	0.8	10.7		
	19	SI-24	確認面	3.2	3.0	1.1	10.6	P-3	
	20	NA-92	1層	3.0	3.2	1.3	11.1		
	21	MI-84	重層(跡土)	3.4	3.5	1.2	14.4		
	22	ND-94	重層1位	4.8	4.8	0.6	18.3		
	23	MT-90	1層	3.6	3.6	0.9	10.0		
	24	SI-29	覆土	3.9	3.7	0.9	14.9		
	25	NC-93	IV層上面	3.6	4.0	1.1	17.5		
	26	SI-13	1層	4.6	4.9	1.0	20.7		
	図204-27	SI-30	覆土	3.8	4.3	1.1	20.5	P-30	
		28	MZ-92	1層	4.0	4.1	1.2	22.5	
		29	MZ-92	重層	4.3	4.6	1.0	25.4	大木蓋
		30	SI-23	覆土	4.7	4.8	1.0	20.7	
		31	NA-92	1層	6.1	6.2	0.9	26.9	
		32	SI-24	覆土	4.4	4.0	1.1	20.9	
		33	AIXトレンナ03	1層	4.8	4.7	1.0	27.6	
		34	MI-91	重層	5.2	5.2	1.0	35.4	
		35	SI-11	覆土	7.6	7.6	1.0	56.6	口縁部片利用
		36	SI-11	3層	6.6	7.3	1.2	71.4	P-138
		37	NB-94	重層	6.0	7.0	1.2	52.8	底面片利用

その他 土製品観察表

図版番号	出土地点	層位	計測値(cm)			重量(g)	備考	
			長さ (口径)	幅 (器高)	厚さ (底径)			
図205-1	SI-42	覆土	(2.2)	2.2	1.5	5.5	C-1、内部黒変	
	2	ND-95	1層	2.3	2.3	0.7	3.9	
	3	NE-95	重層	(3.7)	(2.5)	0.7	6.6	
	4	MO-88	重層	(2.0)	(1.9)	1.9	6.0	C-1
	5	NB-93	1層	—	1.6	2.5	10.0	
	6	NG-95	1層	1.7	(1.3)	(1.1)	1.5	
	7	ND-94	1層	4.2	4.1	(2.2)	24.4	
	8	MR-86	重層	(4.5)	(3.4)	(1.6)	21.4	
	9	NC-93	IV層上面	—	3.2	1.5	20.8	
	10	ND-93	IV層上面	2.8	1.1	1.1	3.0	
	11	CIXトレンナ05	1層	2.4	1.5	1.0	2.5	裏面に竹管の圧痕?
	12	MV-91	1層	6.9	7.1	2.7	113.2	C-1、上部黒変?
	13	SI-24	覆土	4.2	3.2	1.0	8.9	P-40
	14	CIXトレンナ05	1層	2.2	1.5	1.5	4.0	

石製品観察表

図番番号	器種	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考	
				長さ	幅	厚さ					
図206-1	耳飾	MX-92	1層	3.0	0.6	0.9	16.9		凝灰岩		
	2	耳飾	MX-91	1層	2.5	0.6	0.9	1.3		凝灰岩	S-5
	3	石製品	SI-24	覆土	5.2	4.3	1.0	15.4		砂岩	研磨
	4	石製品	SI-48	1層	3.5	4.7	0.6	12.9		流紋岩	研磨、磨板
	5	石製品	MP-21	掘り方覆土	2.4	3.0	1.0	6.8		珪質頁岩	S-1 研磨
	6	石製品	NC-93	吾剣上蓋	2.9	3.2	0.5	7.3		チャート	研磨
	7	石製品	SI-18	覆土	4.6	2.9	1.2	16.0		チャート	S-24
	8	石製品	MX-92	1層	5.0	2.5	1.7	16.8		凝灰岩	穿孔
	9	石製品	SI-43	床面	7.2	4.7	2.3	112.3		チャート	S-13 研磨
	10	石製品	MM-88	1層	6.8	4.4	1.6	67.3		安山岩	研磨
	11	石製品	SI-18	覆土	2.3	1.9	0.9	5.6		アルゴース砂岩	両端部打ち欠き
	12	石製品	SI-21	確認面	4.4	1.4	0.3	2.8		粘板岩	未貫通孔
	13	石製品	MS-90	皿脚	5.2	3.6	0.7	17.8		安山岩	磨板
	14	石棒	SI-40	床面	40.7	5.4	5.2	4301.4		安山岩	S-84 両端部欠損
	15	石棒	SI-18	右側が覆土	38.2	13.1	7.4	6120.4		安山岩	S-1-4 両端部欠損、側面打ち欠き損
	16	石棒	SI-18	土留埋設砂1層上	11.2	14.1	5.6	1658.1		安山岩	S-1 両端部欠損
図207-1	榍石製品	Pt6トレンチ	1層	6.1	4.8	3.0	19.7	A	榍石	底部平滑	
	2	榍石製品	ND-94	1層	8.6	5.7	3.4	49.4	A	榍石	底部平滑
	3	榍石製品	SI-40	床面	5.3	5.5	3.6	24.6	A	榍石	底部平滑
	4	榍石製品	SI-11	2層	4.7	4.7	2.5	12.8	A	榍石	S-24
	6	榍石製品	SK-29	覆土	4.5	4.3	2.5	17.9	B	榍石	両面未貫通孔
	7	榍石製品	SI-11	2層	4.8	5.0	2.6	15.8	B	榍石	片面未貫通孔
	7	榍石製品	MZ-92	皿脚	6.3	5.2	3.7	31.4	B	榍石	貫通孔、両面未貫通孔
	8	榍石製品	SK-22	覆土	2.8	2.8	1.9	10.7	B	榍石	貫通孔
	9	榍石製品	SI-42	確認面	5.4	4.4	2.8	13.4	B	榍石	貫通孔
	10	榍石製品	SI-13	1層	4.9	4.3	3.3	14.7	B	榍石	両面未貫通孔
	11	榍石製品	SI-44	覆土	6.6	5.2	3.5	20.7	B	榍石	両面未貫通孔
	12	榍石製品	SI-16	1層	10.4	10.6	6.8	241.4	B	榍石	両面未貫通孔
	13	榍石製品	ML-91	1層	4.3	2.8	1.2	5.8	B	榍石	片面未貫通孔
	14	榍石製品	SK-73	覆土	3.6	3.8	2.4	4.4	C	榍石	
	15	榍石製品	SK-81	15層	4.8	5.4	3.4	21.0	C	榍石	
	16	榍石製品	SK-15	確認面	4.0	4.5	2.3	8.0	C	榍石	SI-206から変更
	17	榍石製品	SI-13	1層	7.8	6.3	1.5	21.5	C	榍石	
	18	榍石製品	SI-11	3層	5.7	5.9	2.9	22.9	C	榍石	
	19	榍石製品	NJ-96	Va層	5.3	5.4	2.1	13.1	C	榍石	
	20	榍石製品	MI-85	皿脚	5.2	5.6	1.8	10.7	C	榍石	
	21	榍石製品	SI-24	覆土	3.3	2.3	1.45	3.2	C	榍石	
	22	榍石製品	SI-40	覆土	3.3	2.4	1.4	2.4	C	榍石	
	23	榍石製品	NA-93	皿脚	5.4	3.8	1.8	9.0	C	榍石	
	24	榍石製品	SI-18	覆土	6.9	3.5	3.0	18.7	C	榍石	
	25	榍石製品	SI-40	覆土	6.8	3.9	2.1	6.2	C	榍石	
	26	榍石製品	SI-40	覆土	5.8	3.9	3.9	16.3	C	榍石	
	27	榍石製品	SI-13	1層	5.4	4.0	4.3	22.0	C	榍石	
	28	榍石製品	SK-71	覆土	3.9	3.6	2.1	6.6	C	榍石	
	29	榍石製品	SI-44	6層	5.5	4.3	2.4	8.6	C	榍石	
	30	榍石製品	SI-13	1層	5.8	3.4	3.4	18.7	C	榍石	
31	榍石製品	ND-94	吾剣上蓋	4.1	3.7	1.8	6.2	C	榍石		
図208-1	榍石製品	ME-82	1層	7.2	5.4	3.4	35.3	C	榍石		
	2	榍石製品	MM-87	皿脚	7.7	4.0	3.8	22.5	C	榍石	
	3	榍石製品	MZ-92	1層	4.5	5.3	3.1	13.4	C	榍石	
	4	榍石製品	SI-37	覆土	7.3	6.1	2.5	16.0	C	榍石	
	5	榍石製品	Pt6C/Pt6K3	覆土	3.8	2.7	1.4	6.2	C	榍石	Pt424から変更
	6	榍石製品	MZ-92	皿脚	3.8	2.7	1.4	3.5	C	榍石	
	7	榍石製品	MZ-92	皿脚	4.7	3.1	3.0	12.8	D	榍石	S-28
	8	榍石製品	MX-92	1層	6.4	4.6	3.7	27.1	C	榍石	
	9	榍石製品	NC-94	1層	7.2	5.7	3.1	28.8	C	榍石	
	10	榍石製品	Blkトレンチ	1層	8.9	7.4	4.9	78.8	C	榍石	全体研磨
	11	榍石製品	NJ-96	Va	9.4	5.9	4.2	40.1	C	榍石	
	12	榍石製品	ND-94	皿脚	8.0	5.6	5.2	52.2	C	榍石	
	13	榍石製品	SI-13	1層	10.0	5.9	3.5	42.8	C	榍石	
	14	榍石製品	MI-85	皿脚(砂上)	9.2	6.0	4.2	56.2	C	榍石	
15	榍石製品	SI-21	確認面	12.3	8.5	6.8	106.0	C	榍石		
16	榍石製品	MY-92	1層	8.2	8.4	5.8	92.5	C	榍石		
17	榍石製品	SI-13	1層	8.3	7.7	5.1	74.1	C	榍石		
18	榍石製品	ME-82	1層	5.5	7.3	4.1	36.5	C	榍石		
19	榍石製品	SK-81	12層	6.7	6.0	3.3	42.2	C	榍石	S-3	
20	榍石製品	SI-16	1層	5.9	3.1	2.2	33.1	D	榍石	全体研磨、側面溝状	
21	榍石製品	SI-18	床面	5.6	4.7	4.2	23.0	D	榍石		
22	榍石製品	ND-93	1層	12.7	8.0	4.3	94.4	C	榍石		
23	榍石製品	NA-93	皿脚	12.1	10.6	7.2	140.5	C	榍石		
図209-1	榍石製品	NC-94	1層	15.5	9.3	7.3	304.1	C	榍石		
	2	榍石製品	ND-95	皿脚	14.7	9.3	6.4	149.2	C	榍石	
	3	榍石製品	MW-90	1層	18.1	12.4	8.9	312.8	D	榍石	
	4	榍石製品	MI-85	皿脚(砂上)	9.3	8.7	4.5	96.2	D	榍石	

図版番号	器種	出土位置	層位	寸法(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
				長さ	幅	厚さ				
5	榍石製品	MI 85	皿脚	8.6	4.6	3.7	21.5	D	榍石	
6	榍石製品	SI 11P112	8脚	8.7	6.7	4.0	96.5	D	榍石	
7	榍石製品	MO 88	重銅上面	5.0	5.5	3.1	32.0	D	榍石	S-1
8	榍石製品	SI 27	1脚	4.0	3.0	3.1	5.0	D	榍石	
9	榍石製品	SK 29	1脚	4.7	4.0	2.1	10.8	D	榍石	
10	榍石製品	SK 30	1脚	4.3	2.7	2.3	7.0	D	榍石	
11	榍石製品	MJ 86	重銅(盛上)	5.5	5.7	2.5	13.3	D	榍石	
12	榍石製品	SI 18	覆土	7.4	5.2	3.3	23.5	D	榍石	
13	榍石製品	SI 18	皿面	11.5	12.9	7.1	172.5	D	榍石	
14	榍石製品	SI 42	覆土	6.4	5.7	2.7	20.0	D	榍石	
15	榍石製品	SK 29	1脚	5.0	5.4	3.8	22.4	D	榍石	
16	榍石製品	SI 11	3脚	7.0	5.1	3.8	24.1	D	榍石	
17	榍石製品	MI 85	重銅(盛上)	7.9	4.9	2.7	18.1	D	榍石	
18	榍石製品	SK 22	覆土	6.4	5.2	2.1	13.5	D	榍石	
19	榍石製品	SI 16	1脚	4.8	4.0	2.2	12.0	D	榍石	
図210	榍石製品	SI 13	1脚	4.1	3.3	2.1	7.9	D	榍石	
2	榍石製品	SI 18	覆土	6.6	4.1	3.2	20.6	D	榍石	
3	榍石製品	SK 111	覆土	4.8	3.7	1.9	7.3	D	榍石	
4	榍石製品	SK 111	覆土	2.3	1.8	1.3	2.0	D	榍石	
5	榍石製品	SI 11	2脚	9.3	6.4	5.4	65.9	D	榍石	
6	榍石製品	MI 86	重銅(盛上)	8.5	5.1	4.1	21.7	D	榍石	
7	榍石製品	SI 13	1脚	7.1	6.7	4.2	33.4	D	榍石	
8	榍石製品	SI 24	縁取部	11.2	8.7	4.0	95.1	D	榍石	
9	榍石製品	SI 11	3脚	5.7	5.9	2.9	129.9	D	榍石	S-34
10	榍石製品	MV 91	皿脚	11.0	8.3	4.4	84.8	D	榍石	
11	榍石製品	SI 26	覆土	9.1	5.4	3.4	30.5	D	榍石	
12	榍石製品	C区トレンチ	1脚	6.4	4.6	3.8	35.3	D	榍石	
13	榍石製品	SI 30	覆土	11.1	10.3	5.3	146.4	D	榍石	
14	榍石製品	MV 91	皿脚	5.8	9.0	4.8	44.0	D	榍石	
15	榍石製品	MX 91	皿脚	7.8	5.3	3.7	26.0	D	榍石	
16	榍石製品	NA 93	皿脚	6.7	4.4	2.5	15.5	D	榍石	
17	榍石製品	NA 93	重銅下位	16.2	11.6	5.2	184.0	D	榍石	
18	榍石製品	SI 13	1脚	9.9	6.5	5.6	102.4	D	榍石	
19	榍石製品	SI 13	1脚	8.0	7.1	5.0	43.1	D	榍石	
図211	榍石製品	SI 26	覆土	29.0	20.6	17.0	2350.7	D	榍石	
2	榍石製品	SK 49	覆土	10.2	8.7	7.4	186.3	D	榍石	
3	榍石製品	MI 87	重銅上面	12.2	10.4	5.3	155.1	D	榍石	S-2
4	榍石製品	MI 85	重銅(盛上)	6.0	4.1	2.9	12.1	D	榍石	
5	榍石製品	MF 83	重銅(盛上)	6.5	4.5	3.3	12.8	D	榍石	
6	榍石製品	ND 94	背銅上面	3.4	3.0	1.7	4.1	D	榍石	
7	榍石製品	NA 93	皿脚	5.1	5.7	2.7	10.4	D	榍石	
8	榍石製品	SI 30	覆土	3.0	4.4	3.7	10.4	D	榍石	
9	榍石製品	SI 11	2脚	11.9	8.7	5.9	131.1	D	榍石	S-35
10	榍石製品	SI 11	3脚	15.9	6.7	5.4	88.1	D	榍石	S-39
図212	凝灰岩質石製品	SI 24	覆土	10.3	9.8	3.0	155.6	凝灰岩	樽皿, 円形凹み	
2	凝灰岩質石製品	SI 24	覆土	9.1	8.5	3.0	146.1	凝灰岩	樽皿	
3	凝灰岩質石製品	NB 93	皿・下	8.0	4.2	2.3	30.7	凝灰岩	樽皿	
4	凝灰岩質石製品	SI 24	覆土	7.0	8.3	2.2	79.9	凝灰岩	樽皿	
5	凝灰岩質石製品	MF 83	重銅(盛上)	7.5	6.4	3.9	43.1	凝灰岩	樽皿	
6	凝灰岩質石製品	SI 47	覆土	7.7	6.3	2.3	56.4	凝灰岩	樽皿	
7	凝灰岩質石製品	MZ 91	皿脚	6.1	8.1	3.2	53.8	凝灰岩	樽皿	
8	凝灰岩質石製品	NB 93	皿脚	5.2	8.1	2.9	59.9	凝灰岩	C-1	
9	凝灰岩質石製品	MZ 91	1脚	6.1	7.3	2.2	36.4	凝灰岩	樽皿	
10	凝灰岩質石製品	NC 93	皿脚	2.3	2.2	1.7	5.3	凝灰岩	円形凹み	
11	凝灰岩質石製品	SI 18	覆土	1.8	2.5	1.0	1.9	凝灰岩		
12	凝灰岩質石製品	NP 95	1脚	2.5	2.4	0.9	2.7	凝灰岩	片歯未貫通孔, 榍石18から石製品79へ	
図213	凝灰岩質石製品	SI 16	1脚	8.1	9.2	2.6	93.8	凝灰岩	樽皿	S-17
2	凝灰岩質石製品	NC 94	重銅下位	4.2	6.2	2.6	52.8	凝灰岩		
3	凝灰岩質石製品	MV 91	1脚	2.4	1.4	1.3	3.2	凝灰岩	放射状に沈着, 榍石2から石製品79へ	
4	凝灰岩質石製品	NC 94	重銅下位	8.0	6.8	2.6	88.2	凝灰岩	思慮あり	
5	凝灰岩質石製品	SI 24	覆土	5.9	5.6	3.1	81.3	凝灰岩		
6	凝灰岩質石製品	SI 24	覆土	6.7	5.7	3.5	63.9	凝灰岩		
7	凝灰岩質石製品	SK 36	覆土	4.2	3.3	3.2	31.7	凝灰岩		
8	凝灰岩質石製品	SK 81	覆土	5.3	4.4	2.1	47.9	凝灰岩	S-4	
9	凝灰岩質石製品	NC 94	皿脚	5.0	3.3	1.3	11.7	凝灰岩	S-23	
10	凝灰岩質石製品	AKC	1脚	4.5	5.2	2.3	45.4	凝灰岩		
11	凝灰岩質石製品	SI 18	覆土	3.4	3.0	0.9	10.8	凝灰岩		
12	凝灰岩質石製品	SI 42	覆土	3.6	2.4	2.2	10.1	凝灰岩		
13	凝灰岩質石製品	SI 24	覆土	5.9	5.6	3.1	12.0	凝灰岩	S-5	
14	凝灰岩質石製品	SI 02	覆土	4.8	4.2	1.3	17.0	凝灰岩	放射状に沈着	
15	凝灰岩質石製品	SK 81	覆土	4.0	3.6	1.9	11.8	凝灰岩	S-5	
16	凝灰岩質石製品	SK 81	覆土	3.9	3.4	1.7	7.9	凝灰岩	S-6	
17	凝灰岩質石製品	SI 11	皿脚	2.7	3.8	1.5	12.8	凝結砂岩		

写真図版



第11号竖穴住居跡出土土器



第24号竖穴住居跡出土土器



土偶



仕切り付土器

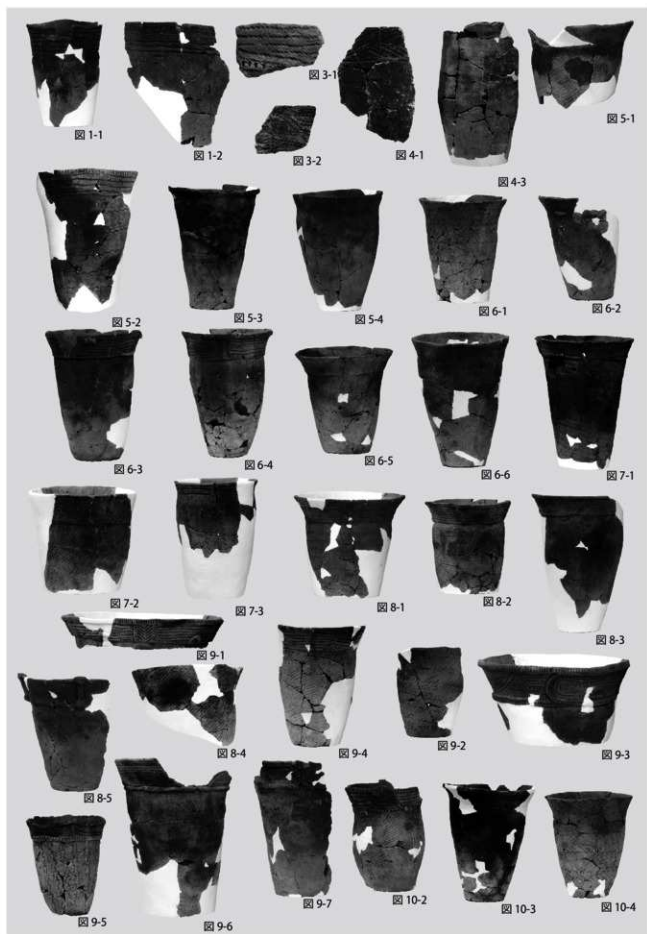


写真1 豎穴住居跡出土土器 1

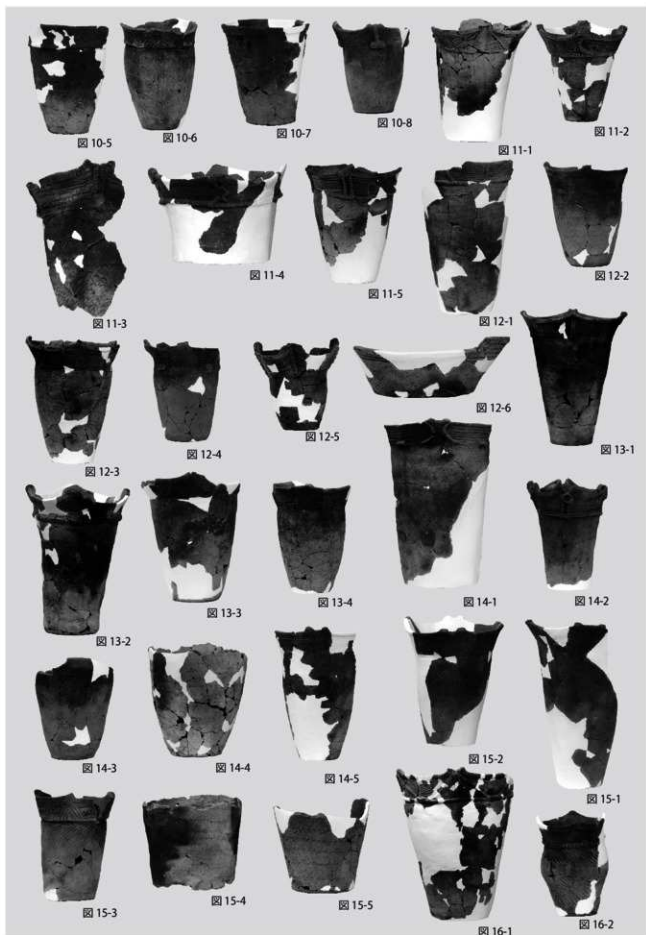


写真2 竖穴住居跡 出土土器2

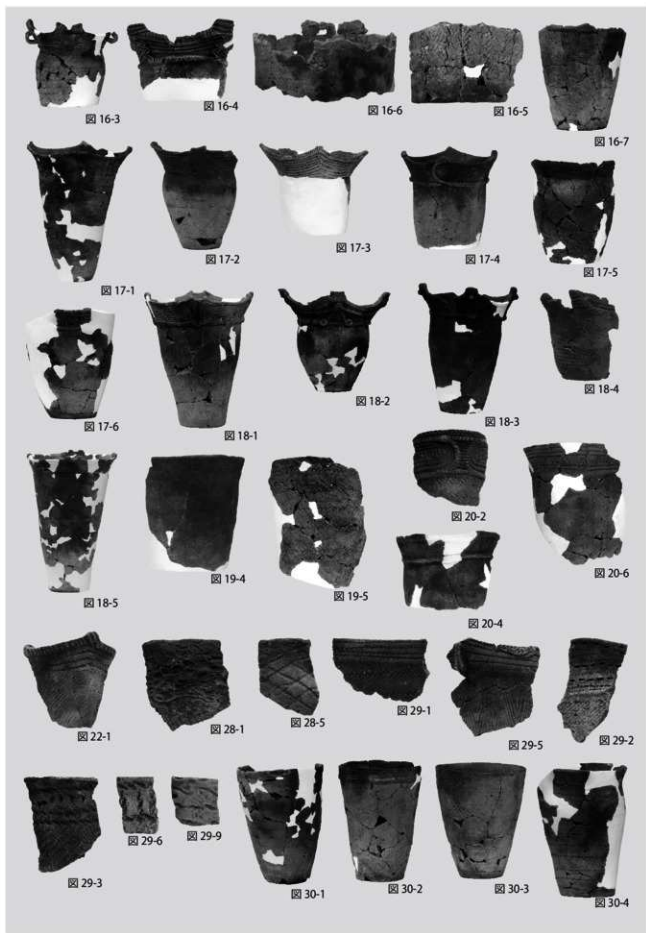


写真3 竪穴住居跡 出土土器3

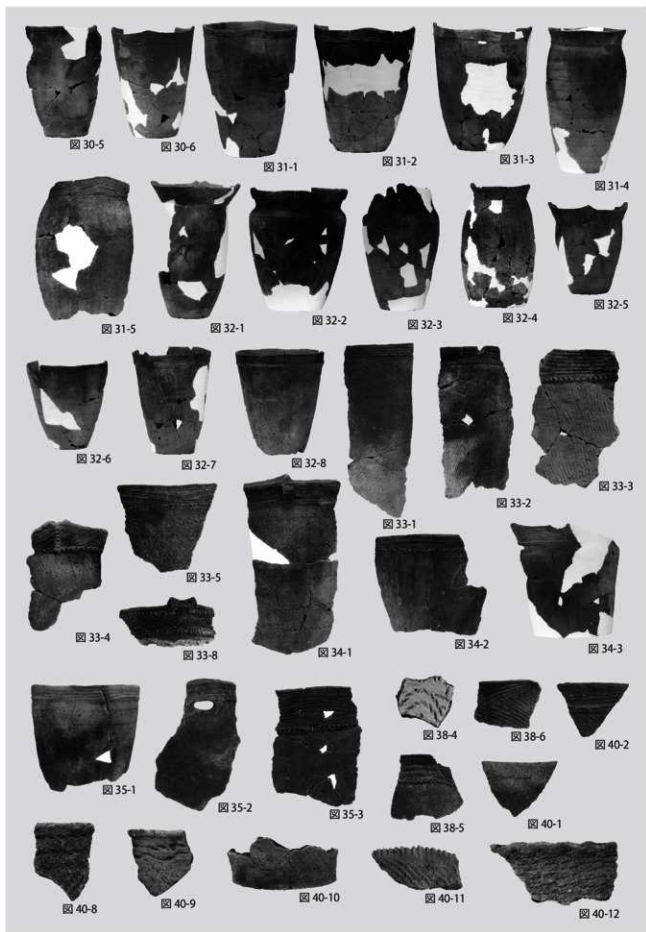


写真4 豎穴住居跡 出土土器4

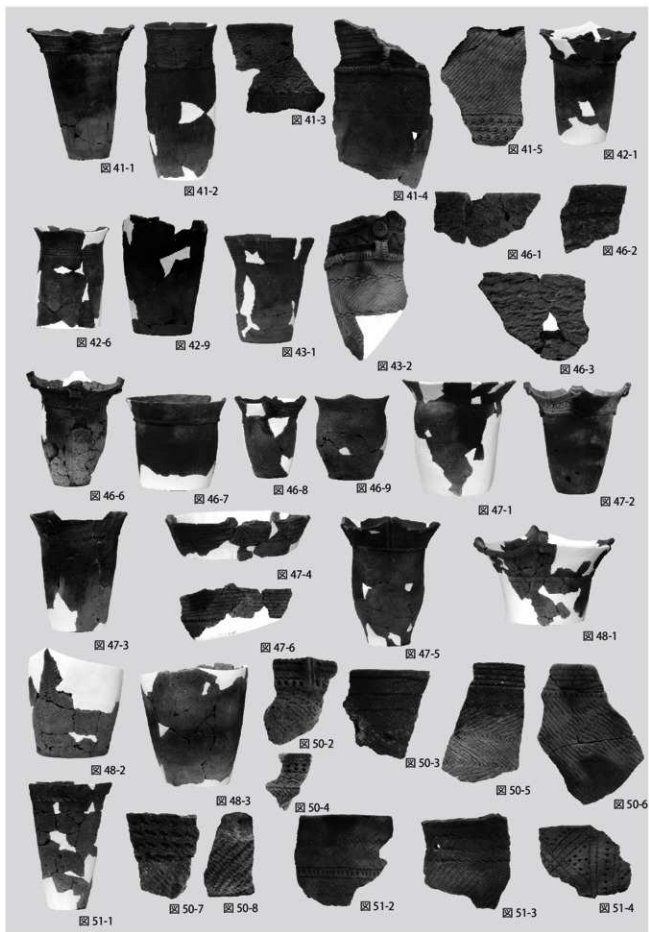


写真5 豎穴住居跡 出土土器5